

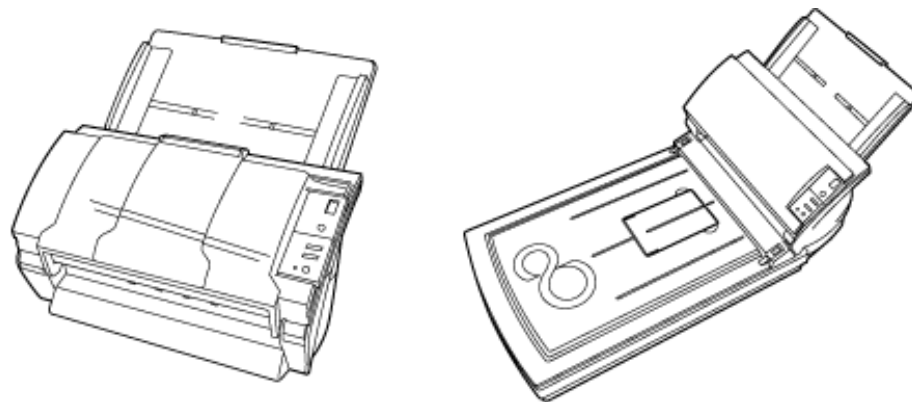


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

fi-5120C / fi-5220Cイメージスキャナオペレーターガイド
P3PC-1322-03Z2

[次ページ](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

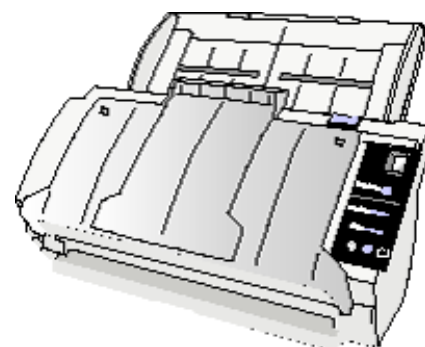
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

はじめに

[前ページ](#)[次ページ](#)

このたびは、fi-5120C/fi-5220Cイメージスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。fi-5120C/fi-5220Cは、両面でカラー画像を読み取ることのできるスキャナ装置です。

▶ [コンテンツ一覧](#)



本マニュアルの内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております。

本マニュアルの内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。

本装置の使用および本マニュアルに記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません。

本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規程をご覧ください。

本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準にもとづくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境での使用を目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従い正しく取り扱ってください。

高調波ガイドラインについて

本製品はJIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当りの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。



いつも地球を見守っている

<http://eco.fujitsu.com/jp>

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)



■ 事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFUライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話0467-70-7290）への問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

■ 水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

口に入れないでください。

本製品の水銀が体内に入ると危険です。

気体や粉末、液体にしないでください。

本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。

廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。

本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

■ 複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

■ 紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。刑法 第148条、第149条、第162条、通貨及証券模造取締法 第1条、第2条等

■ 著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

商標

前ページ

次ページ

商標および登録商標について

Microsoft、WindowsおよびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。ISISおよびQuickScanは、EMC Corporationの米国における登録商標および商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびAcrobatロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。その他、本マニュアル中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本マニュアルでは、次の用語について省略して記述しています。

Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 日本語版 Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

Adobe Acrobat	Adobe® Acrobat ®
---------------	------------------

本マニュアルでは、本製品に添付されているAdobe Acrobatの使用を前提にして説明しております。特に指定がない場合は、本製品に添付されているAdobe Acrobatのことを指します。

また、本製品に添付されている Adobe Acrobat は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。本マニュアルの説明が実際の画面と異なる場合は、「Acrobat のヘルプ」を参照して下さい。

製造・販売元

株式会社 PFU
 〒212-8563
 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地（ソリッドスクエア東館）
 TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright© PFU LIMITED 2006

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

注記および責任事項

[前ページ](#)
[次ページ](#)

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

■ 本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

■ メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。

製品をお求めになった販売店、あるいは [PFUイメージング サービス&サポートセンター](#) に連絡してください。

■ 免責事項

読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像データがお客様の必要とする精度・品質を満たしていること、たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

1. 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
2. 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
3. 消耗品は定期的にお取り替えください。

原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。

装置内部が汚れた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。

読み取り設定（解像度、色数、読み取り面、自動傾き補正、自動白紙除去など）が不適切な場合は、以下のような不具合が発生することがあります。

- 解像度不足で文字が不鮮明となる
- カラー原稿の読み取り画像が白黒となる
- 両面原稿の片面しか読み取れない
- 画像の一部が欠けたり、サイズが縮小される
- 白紙ページが削除されない、または必要ページまで削除される

原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）あるいは消耗品の状態により複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、読み取りデータにページ抜けが発生する場合があります。

原稿の紙質が指定外の場合、あるいは指定内の紙質であっても原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）や装置内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりを発生することがあります。この場合原稿データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。（原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。原稿づまりを防止するため読み取る原稿と同質・同サイズの紙を用いた事前の搬送試験をお勧めします。あるいはフラットベッドスキャナによる読み取りを行ってください。）



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

表記について(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)

■安全にお使いいただくために

本マニュアルには、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をお使いになる前に、本マニュアルを熟読してください。特に、本マニュアルに記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようにお願いします。また、本マニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

■本マニュアルで使用している警告表示について

本マニュアルでは、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

■本マニュアルで使用している記号について

本マニュアルでは、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。

	特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
	三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。
	丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。
	黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な支持内容を表す絵が描かれている場合もあります。
	このアイコンをクリックすると動画が再生します。



注記

Windows XP Service Pack 2 のご使用場合

Internet Explorerのセキュリティ機能が働き、動画が再生されないことがあります。正しく表示させるためには、ブロックされているアクティブコンテンツを許可してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

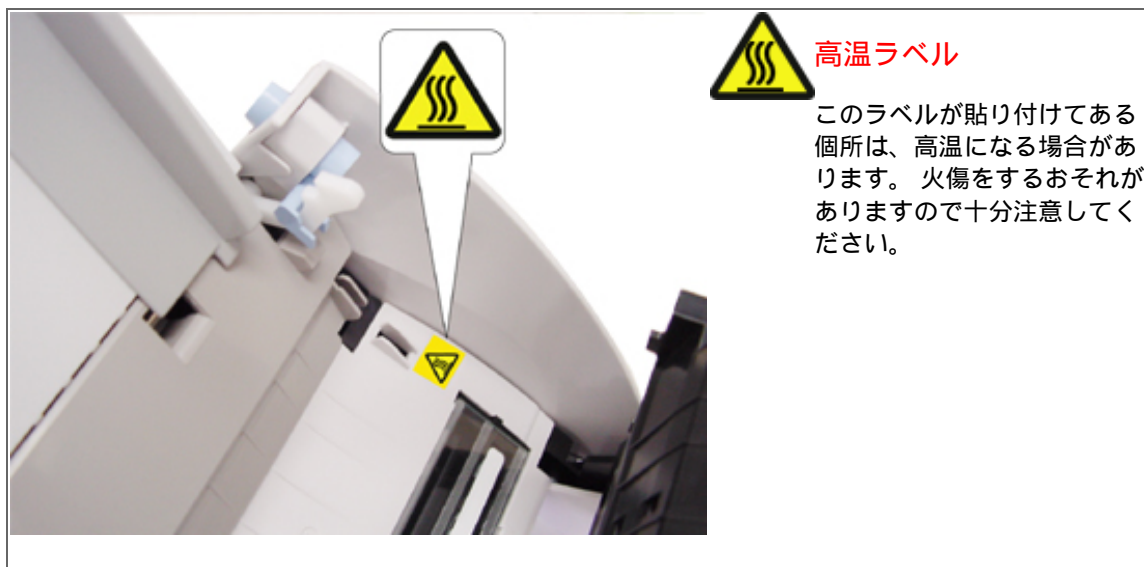
表記について(2)

前ページ

次ページ

◀ | 1 | 2 | ▶

■ 警告ラベルについて



注記

警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合はPFUイメージング サービス & サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、FUJITSU ISISドライバ、イメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll 21、QuickScanTMおよびAdobe Acrobatのものです。

◀ | 1 | 2 | ▶

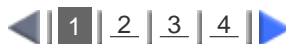
All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

安全上のご注意(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)
**警告****電源ケーブルを傷つけない**

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

**指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する**

指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となる場合があります。製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となる場合があります。

**表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となる場合があります。また、たこ足配線をしないでください。

**濡れた手で電源ケーブルを触らない**

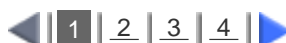
濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となる場合があります。

**電源プラグのほこりは、よく拭き取る**

電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となる場合があります。

**油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない**

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となる場合があります。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

安全上のご注意(2)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)



警告



異臭がしたら使用しない

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターPFUイメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。



機器を破損したら電源を切る

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFUイメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。



内部に水や異物を入れない

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFUイメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない

装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

安全上のご注意(3)

[前ページ](#)

[次ページ](#)


[1](#) | [2](#) | **[3](#)** | [4](#)



注意



装置を不安定なところに置かない


 スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。
 装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



電源プラグを確実に差し込む

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



通気口をふさがない

通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがらないでください。



装置の上に重いものを載せない、上に乗らない

装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となります。



寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない

寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1~2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。



装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く

ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意しておこなってください。

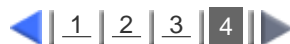
[1](#) | [2](#) | **[3](#)** | [4](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

安全上のご注意(4)

[前ページ](#)
[次ページ](#)
**注意****静電気を避ける**

強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

**エアスプレーを使用しない**

清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。

**歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする**

歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

**長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**

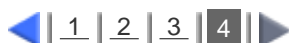
長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

**直射日光の当たる場所に置かない**

直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

**輸送ロックスイッチをロックしてから、本装置を運ぶ (fi-5220Cの場合)**

本装置を運ぶ際には、装置の故障を防ぐために、輸送ロックスイッチをロック状態にしてください。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

修理・お問合せについて(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)



当社では、お客様に安心してイメージスキャナfiシリーズをご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

● 定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。
 メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。
 全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

● 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。
 機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。
 機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

● センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料+部品費 *送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。（A4機のみ）
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸出します。（引取りと併用）

*1) 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2) 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスののみのご利用はできません。ご了承下さい。

キャンセル料 | 持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。

● オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間 = 1時間まで）+部品費+オプション料金+加算料金（技術料金。その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ

受付窓口	PFUイメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00（土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、またはPFUイメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

修理・お問合せについて(2)

前ページ

次ページ



■ 消耗品の購入先

ピックアップなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間

月～金 / 9 : 00 ~ 17 : 30

(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

本製品の修理はお客様自身では行わないでください。

本製品の保証条件については、製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。

保証書には所定事項をご記入の上、大切に保管願います。

本製品の修理部品の最低供給期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第1章 お使いになる前に

[前ページ](#)

[次ページ](#)

この章では、各部の名称とはたらきについて解説します。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

1.1 本体と付属品を確認します

[前ページ](#) [次ページ](#)

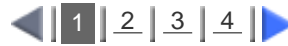
スキャナを開梱したら、梱包品がすべて揃っているかどうかを添付の梱包品チェックリストで確認してください。
万一、足りないものや不良品がありましたら、販売代理店、または [PFUイメージング サービス&サポートセンター](#)まで連絡してください。
なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

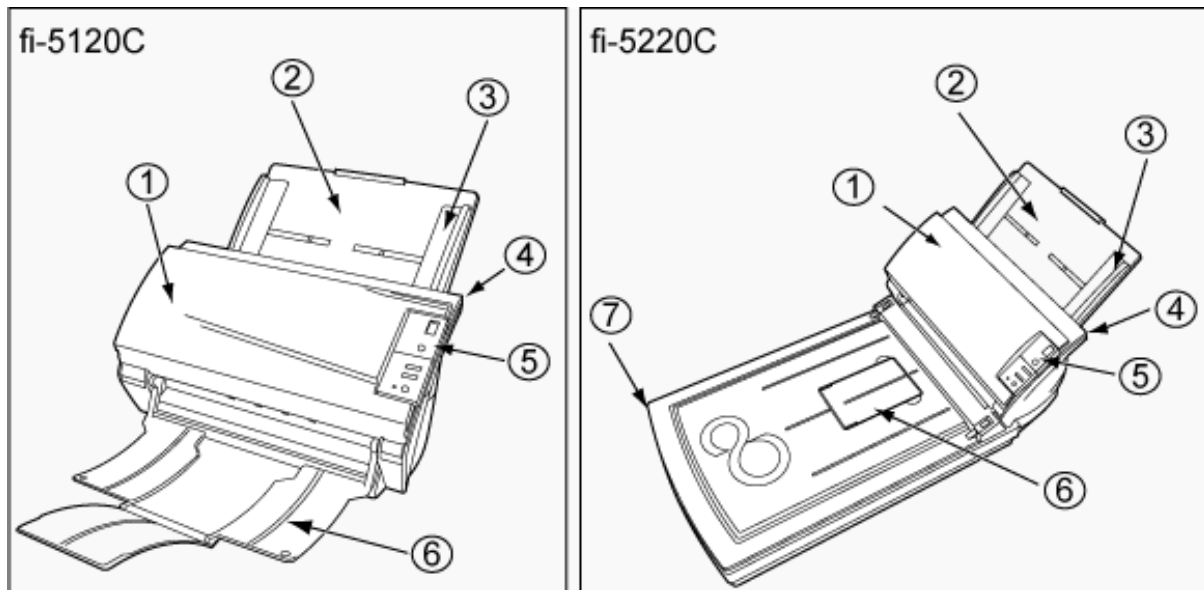
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

1.2 各部の名称と働き(1)

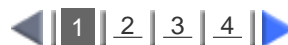
[前ページ](#)
[次ページ](#)


スキャナの各部の名称について説明します。

■ 前面



No.	名称	機能
1	ADF (自動給紙部)	原稿を読み取り位置まで自動的に繰り込みます。
2	ADF給紙シュート	表面を下にして、ここに原稿を置きます。
3	サイドガイド	原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅に合わせてセットします。
4	ADF ボタン	ADFを開くときにはこのボタンを押します。
5	操作パネル	このパネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、LEDから構成されています。
6	スタッカー	ADFで読み取られた原稿はここに積み重なります。
7	フラットベッド	1枚ずつ読み取る場合はここに原稿を置きます。



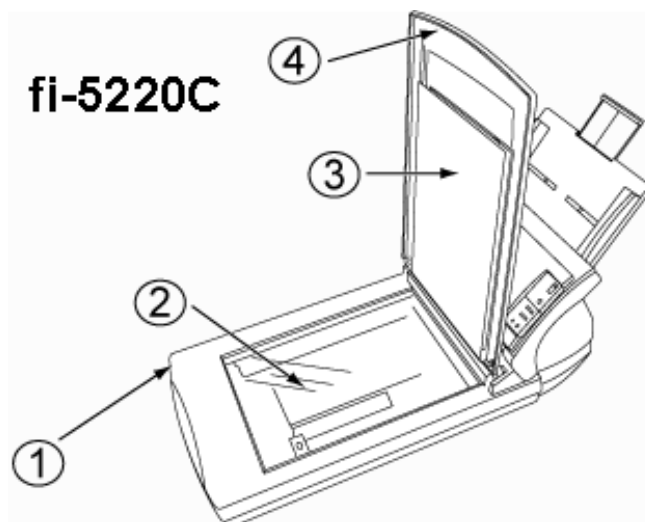
All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

1.2 各部の名称と働き(2)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

内部


No.	名称	機能
1	輸送ロックスイッチ (底面にあります)	輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。
2	原稿台	フラットベッド読み取りの場合、ここに原稿を置きます。
3	原稿押さえパッド	原稿を原稿台に押し付けて固定します。
4	ドキュメントカバー	閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

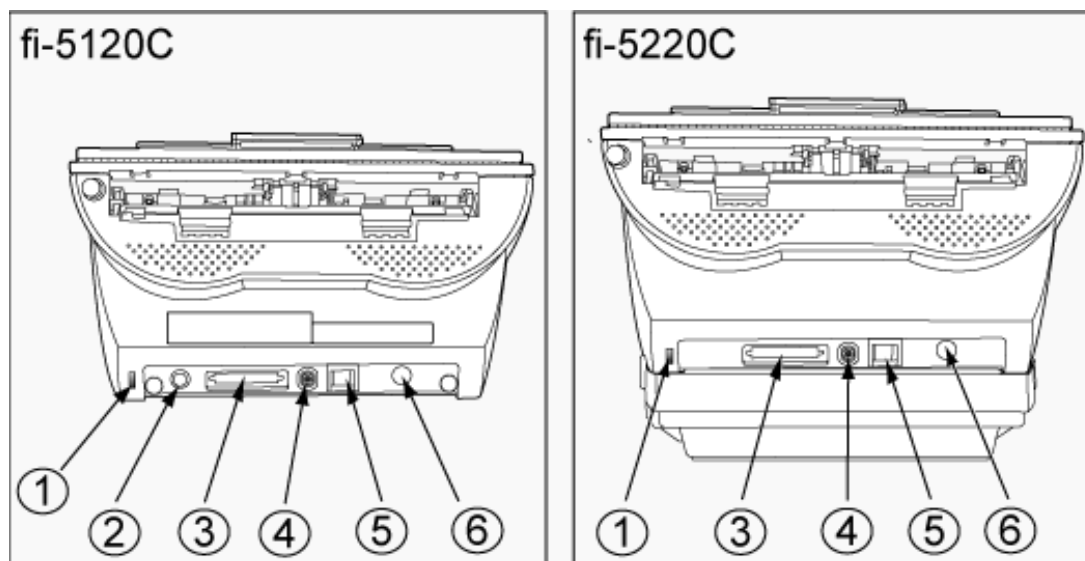
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

1.2 各部の名称と働き(2)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

背面



No.	名称
1	セキュリティケーブルスロット
2	EXTコネクター (インプリンタ接続用) [fi-5120Cのみ]
3	SCSIインターフェースコネクター
4	SCSI ID スイッチ
5	USBインターフェースコネクター
6	ACアダプター用コネクター

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

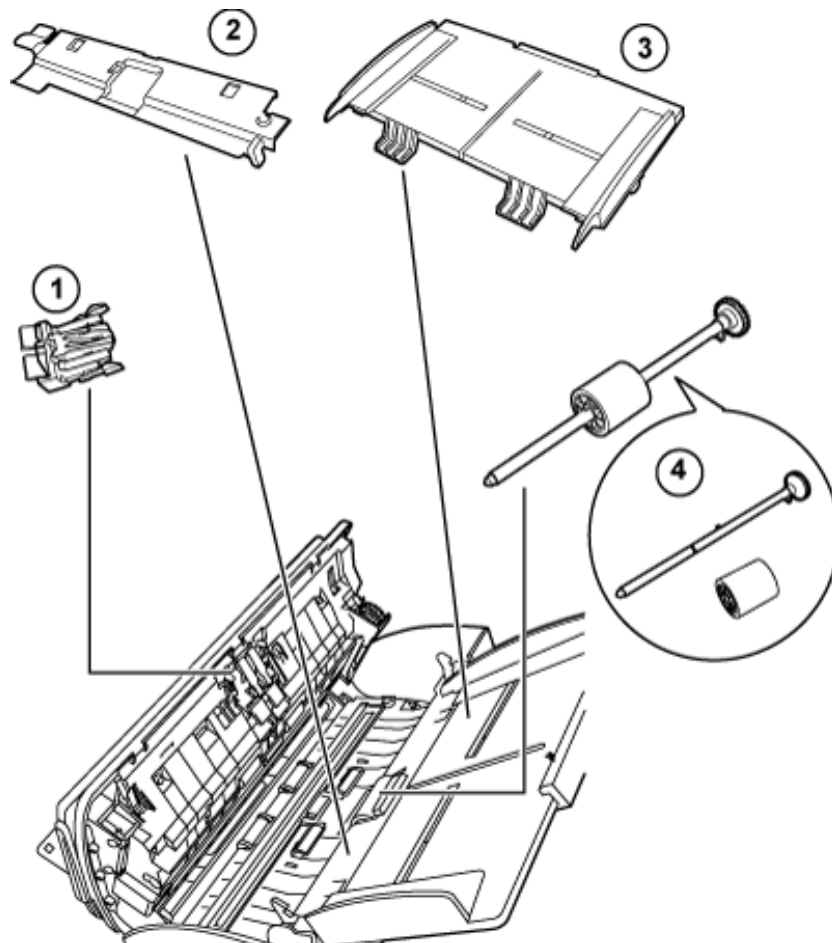
1.2 各部の名称と働き(3)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

■ 取り外し可能部品

取り外し可能な部品は以下のものです。



No.	名称
1	パッドユニット
2	シートガイド
3	ADF給紙シュート
4	ピックローラ

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

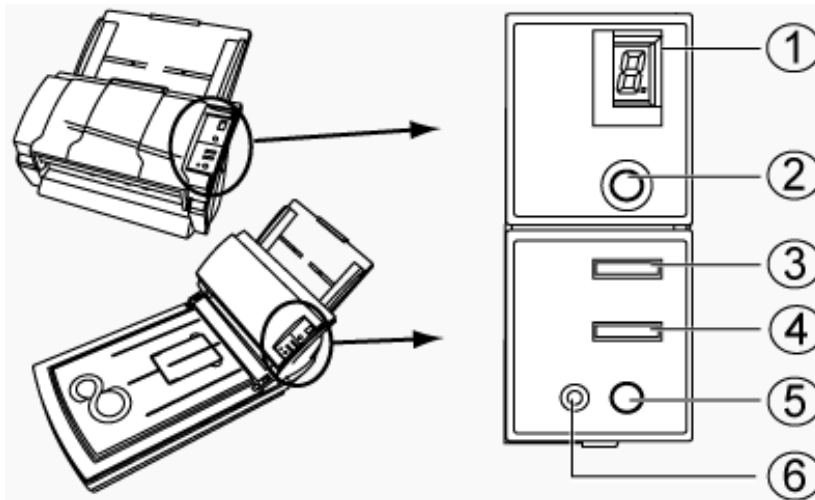
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

1.3 操作パネルについて(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

操作パネルは、スキャナの右側にあります。このパネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、LEDから構成されています。



No.	名称	機能
1	ファンクションナンバーディスプレイ	装置の状態を表示します。
2	Functionボタン	Send to ボタンで使用する設定の番号を切り換えます。
3	Send toボタン	関連付けされたアプリケーションを起動します。
4	Scanボタン	
5	電源ボタン	電源の投入、切断をおこないます。
6	LED	スキャナの電源が投入されているときに点灯します。

*) 設定の詳細については、Setup CD-ROM で提供されている「FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバヘルプ」および「fi-5120C2オペレーターガイド」を参照してください。

■ ファンクションナンバーディスプレイの表示内容について

表示内容	説明
8	電源投入直後に点灯します。
P	電源の投入後、イニシャル処理実行中であることを意味します。
0	電源の投入後、イニシャル処理実行中で、かつイニシャル処理が終了間近であることを意味します。
1	電源の投入後、イニシャル処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。 また、この状態を「レディ状態」と言います。
U	イメージスキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 "U"と"エラー番号"を交互に表示します。 なお、エラー表示中にScanボタンかSend toボタンを押すと、レディ状態("1")に戻ります。
E	イメージスキャナがイニシャル処理中、または原稿の読み取り中に、装置異常(アラーム)が発生したことを意味します。 "E"と"アラーム番号"を交互に表示します。なお、アラーム表示中にScanボタンかSend toボタンを押すと、レディ状態("1")に戻ります。 このアラームが発生した場合は、電源を再投入してください。電源を再投入した後も引き続きアラームが発生するときは、担当保守員、ご購入の販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第2章 原稿を読み取ります

[前ページ](#)[次ページ](#)

この章では、スキャナの基本的な操作について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。ご使用のOSによって表示される画面、および操作が多少異なります。また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

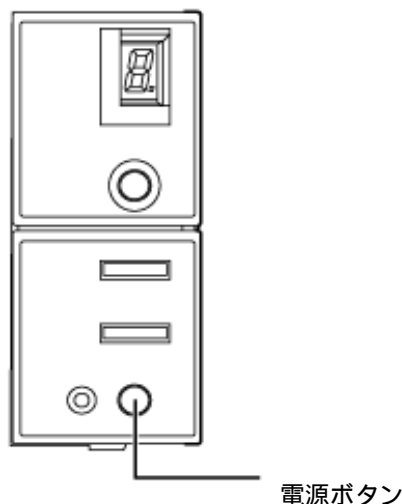
2.1 電源を投入します(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


ここでは、電源の投入について説明します。
以下に、電源を投入する手順を示します。

1. 操作パネルの電源ボタンを押します。

電源が投入され、操作パネルの緑色のLEDランプが点灯します。
なお、イニシャル処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイが"8" "P" "0" "1"の順に変化します。
操作パネルが"1"の状態が、レディ状態です。



ヒント

電源を切断するときは、電源ボタンを2秒間以上押してください。

電源のON/OFFについて

スキャナの電源ボタンで電源をON/OFFするか、電源ケーブルを抜き挿しして電源をON/OFFするかを選択することができます。
手順は以下の通りです。

1. スキャナのプロパティを開きます。

● Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

- 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
スキャナとパソコンの接続については、"fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します" を参照してください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.1 電源を投入します(2)

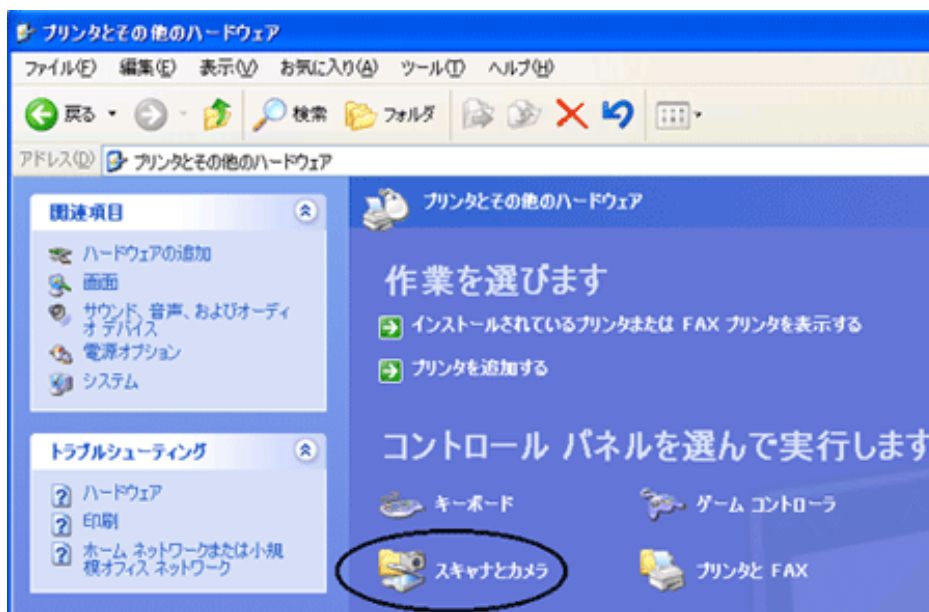
[前ページ](#)
[次ページ](#)


- 2) ホストコンピュータのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。

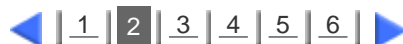


→ [プリンタとその他のハードウェア]の画面が表示されます。

- 3) [プリンタとその他のハードウェア]の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。



→ [スキャナとカメラ]の画面が表示されます。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

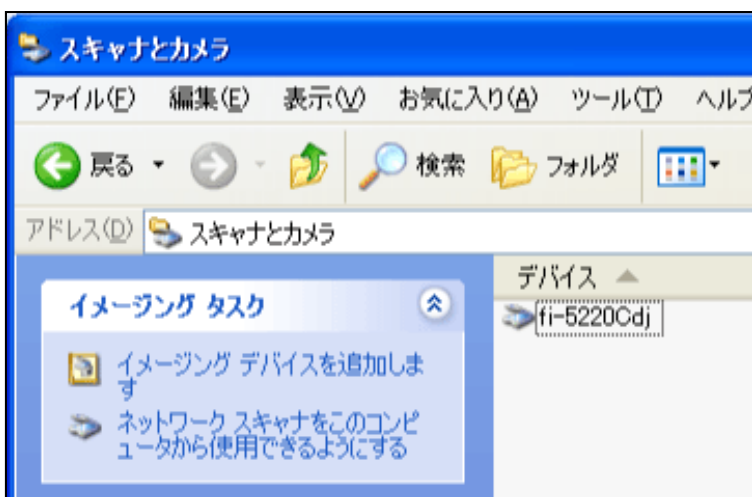
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.1 電源を投入します(3)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

- 4) 「fi-5120Cdj」または「fi-5220Cdj」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択 (Windows Me, Windows XPの場合)、あるいはダブルクリック (Windows 98, Windows 2000の場合) します。



→ fi-5120Cまたはfi-5220Cプロパティダイアログボックスが表示されます。

- 5) 「装置設定」タブをクリックします。



[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

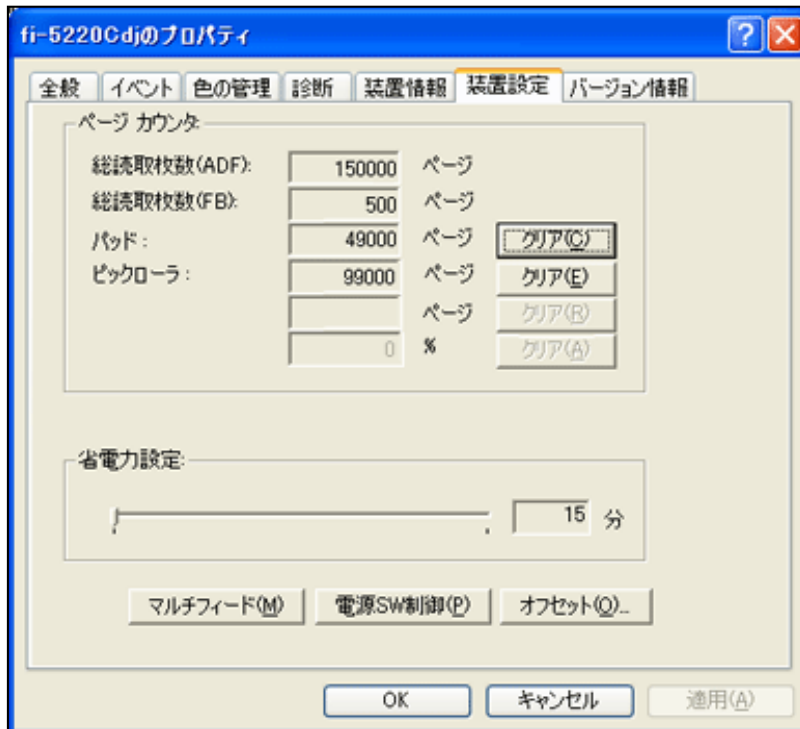
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.1 電源を投入します(4)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **4** | [5](#) | [6](#)

→ 以下の画面が表示されます。



● Windows 95 / Windows NT4.0の場合

- 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
- 2) タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして、「オプション」を選択します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **4** | [5](#) | [6](#)

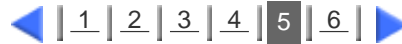
All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

2.1 電源を投入します(5)

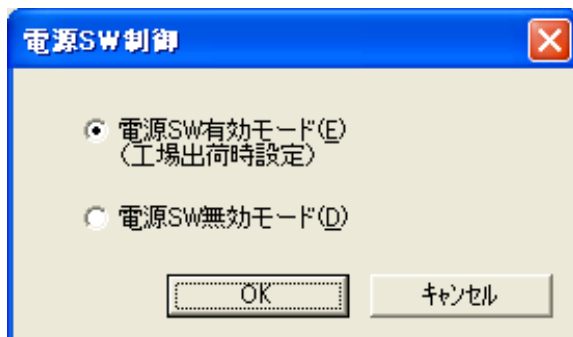
[前ページ](#)
[次ページ](#)


- 3) 「装置設定」タブをクリックします。
 → 以下の画面が表示されます。



2. [電源SW制御] ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.1 電源を投入します(6)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


3. 電源スイッチ (SW)制御切替を設定します。

スキャナの電源ボタンで電源をON / OFF する場合：

→ 「電源SW有効モード」を選択します。

電源ケーブルを抜き挿しして電源をON / OFFする場合：

→ 「電源SW無効モード」を選択します。

■ 省電力モードについて

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが操作されない場合に消費電力を低電力状態に保つことです。

スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。操作パネルの緑色のLEDランプは点灯したままです。

省電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作を行います。

ADF給紙シュートに原稿をセットする

操作パネルのボタンを押す

電源ボタンを2秒以上押しつづけると、電源が切れます。

スキャナドライバからコマンドを実行する



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

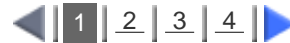


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



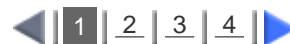
1. 原稿を確認します。

- ① セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。
- ② 原稿の枚数を確認します。
 セットする原稿枚数の目安は、次のとおりです。(詳しくは7.3項参照)
 A4サイズ以下の場合、原稿の厚みが5mm以下になる枚数(80g/m²用紙で50枚)

2. 次の手順で原稿をさばきます。



- ① 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。
- ② この動作を2～3回繰り返します。
- ③ 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
- ④ 原稿の端をそろえます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



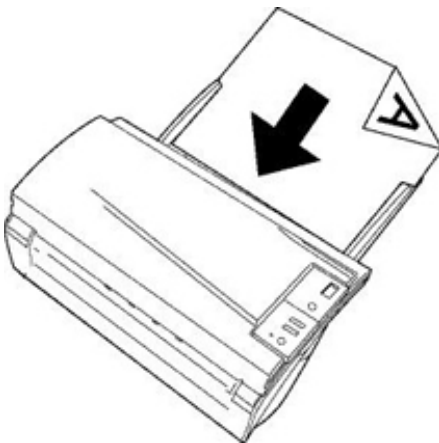
3. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

- ① 原稿の長さに合わせてADF給紙シュートの取っ手を引き上げてから原稿をセットします。



- ② 原稿の表面（読み取り面）がADF給紙シュート側になるように、原稿をセットします。

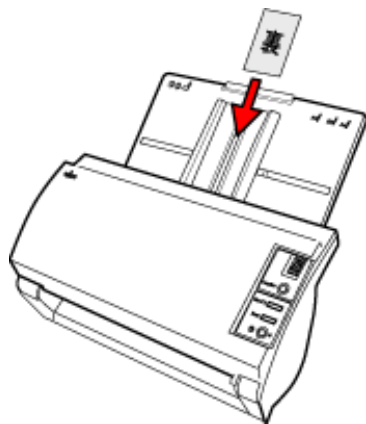
原稿の表面をADF給紙シュート側に します。



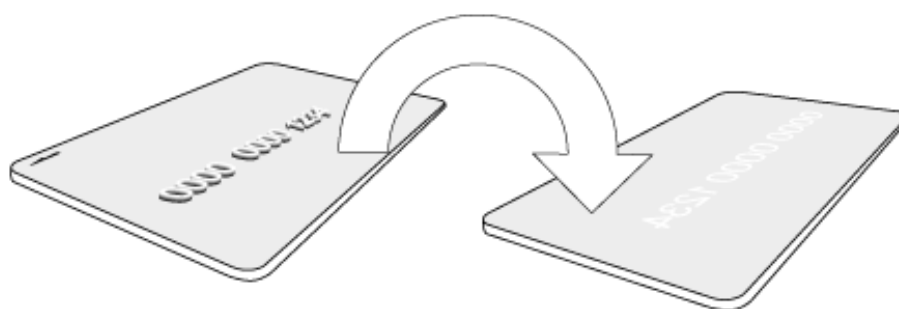
注記

プラスチックカードを読み取る場合は、以下のことに注意してください。

カードをADF給紙シュートに1枚ずつセットしてください。
カードは、図のように縦向き（ポートレート方向）にセットしてください。



カードの表面がADF給紙シュート側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
カードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、エンボスの凸部がADF給紙シュート側（下向き）になるようにセットしてください。



以下の仕様のカードを使用してください。

ISO7810 ID-1タイプに準拠したカード

サイズ : 86(縦) x 54(横)mm

厚さ : 0.76 ± 0.08mm

素材 : ポリ塩化ビニル (PVC) またはポリ塩化酢酸ビニル (PVCA)

硬くて曲がりにくいカードは、うまく搬送されない場合があります。

カード表面が油（手の脂）などで汚れている場合は、汚れを拭き取ってから読み取ってください。

インプリンタを接続した場合は、プラスチックカードを読み取ることができません。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

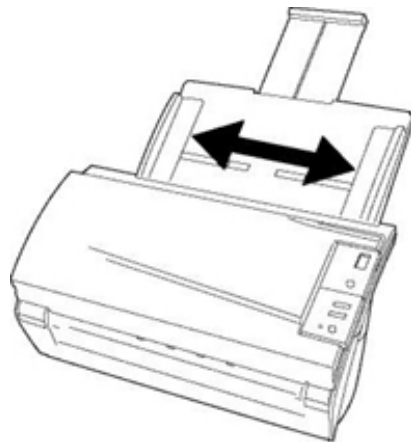
2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)



4. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
 サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

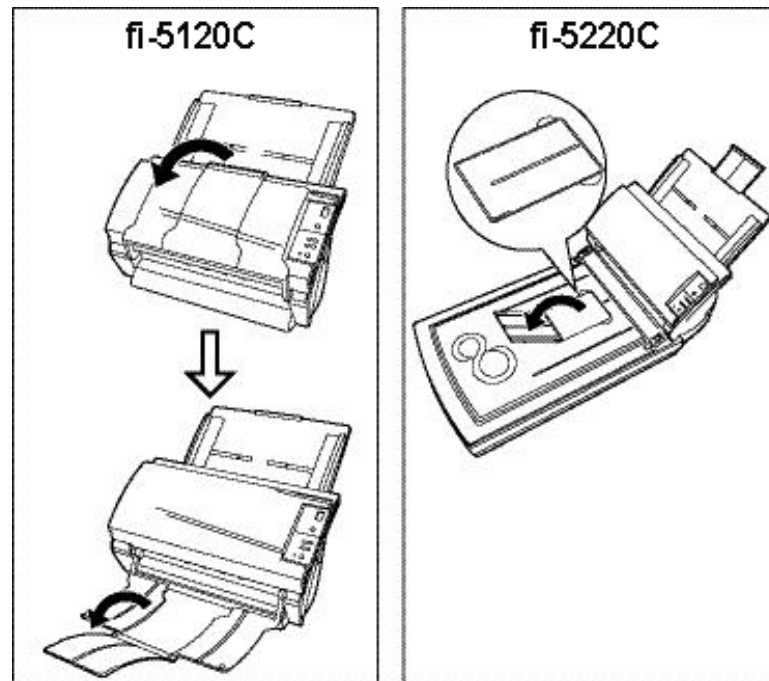
[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)



ヒント

スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がばらばらになりません。スタッカーは次のように使用します。

- 1.スタッカ - の取っ手に指をかけ、手前に起こします。
- 2.くぼみに指をかけ、手前に起こします。



5. スキャナ読み取りできるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

ScandAll 21からの読み取り手順については、「[2.4 原稿の読み取り方法](#)」を参照してください。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



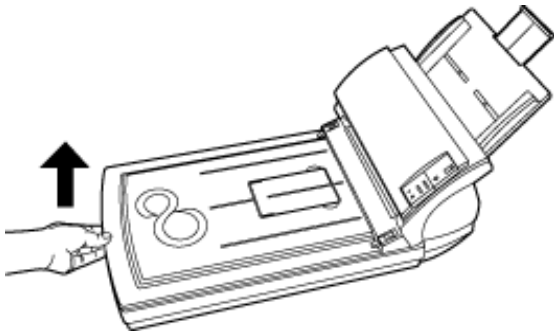
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

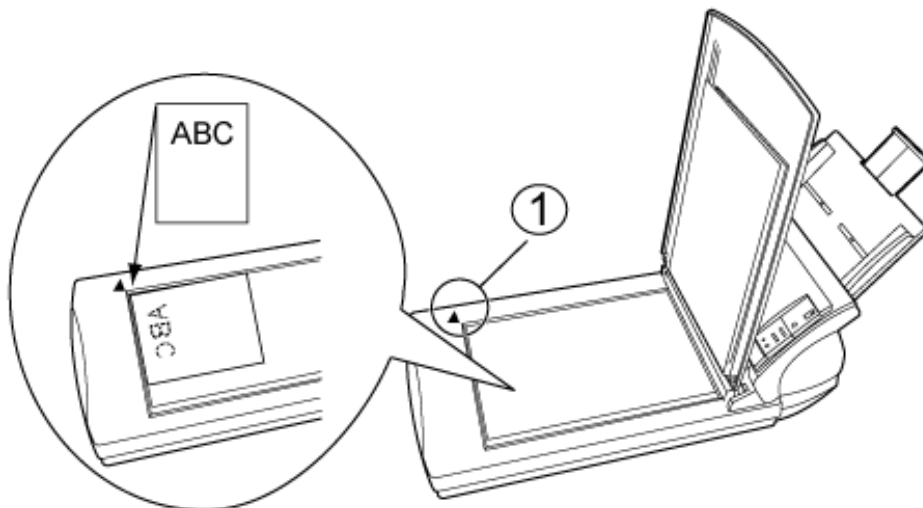
2.3 フラットベッドを使って原稿を読み取ります[fi-5220Cの場合]

[前ページ](#)
[次ページ](#)

1. ドキュメントカバーを開きます。



2. 原稿の読み取りたい面を下にしておき、左上の角を基準点に合わせます。



①：基準点

3. ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。
4. スキャナ読み取りできるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。

ScandAll 21からの読み取り手順については「[2.4 原稿の読み取り方法](#)」を参照してください。



[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

2.4 原稿の読み取り方法(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

◀ | 1 | 2 | ▶

1. スキャナのADF給紙シュートに、原稿をセットします。

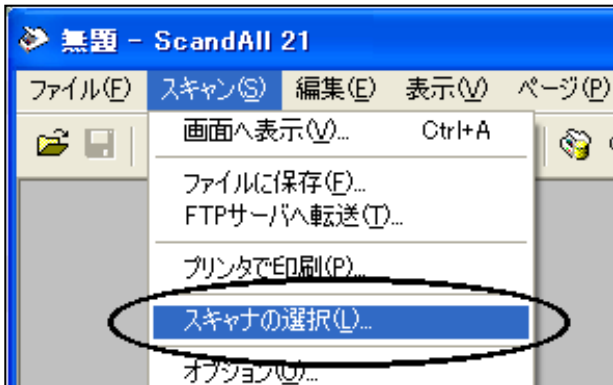
原稿のセット方法については、本章の「[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)」または「[2.3 フラットベッドを使って原稿を読み取ります\[fi-5220Cの場合\]](#)」を参照してください。

2. ScandAll 21を起動します。

[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。ScandAll 21が起動されます。

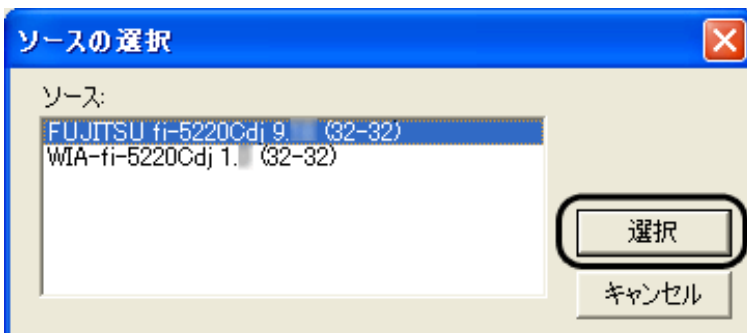
3. 使用するスキャナを指定します。

[スキャン]メニューから[スキャナの選択]を選択します。

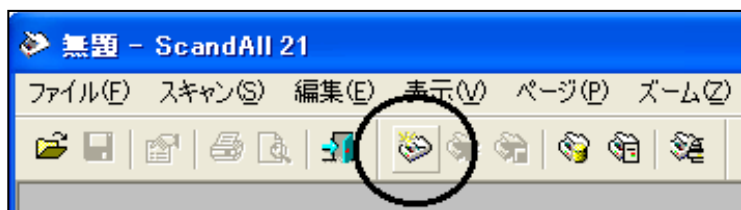


→ [ソースの選択]ダイアログボックスが表示されます。

「FUJITSU fi-5120Cdj」または「FUJITSU fi-5220Cdj」を選択して、[選択]ボタンをクリックします。



4. ツールバーの[スキャン - 画面へ表示]ボタンをクリックします。



→ [TWAINドライバ]ダイアログボックス (読み取り条件を設定する画面) が表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

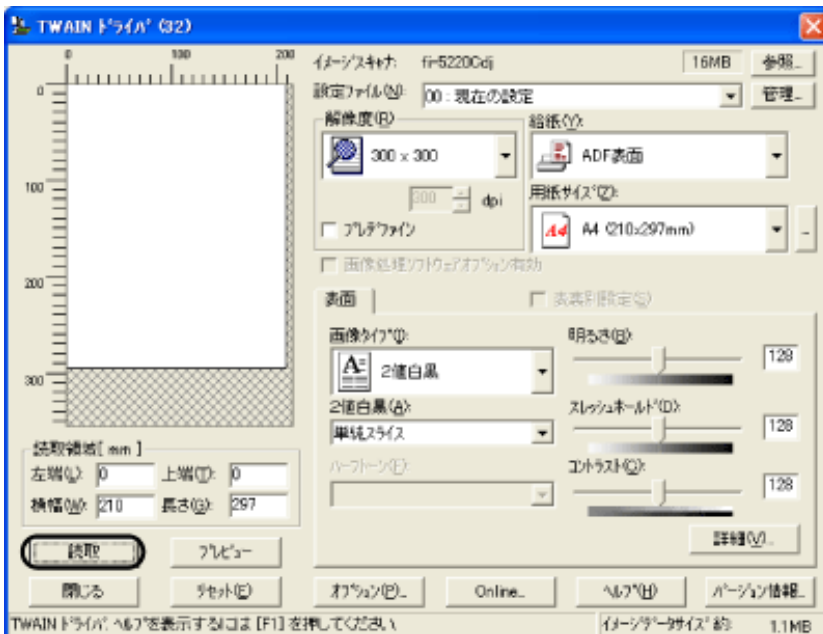
2.4 原稿の読み取り方法(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)

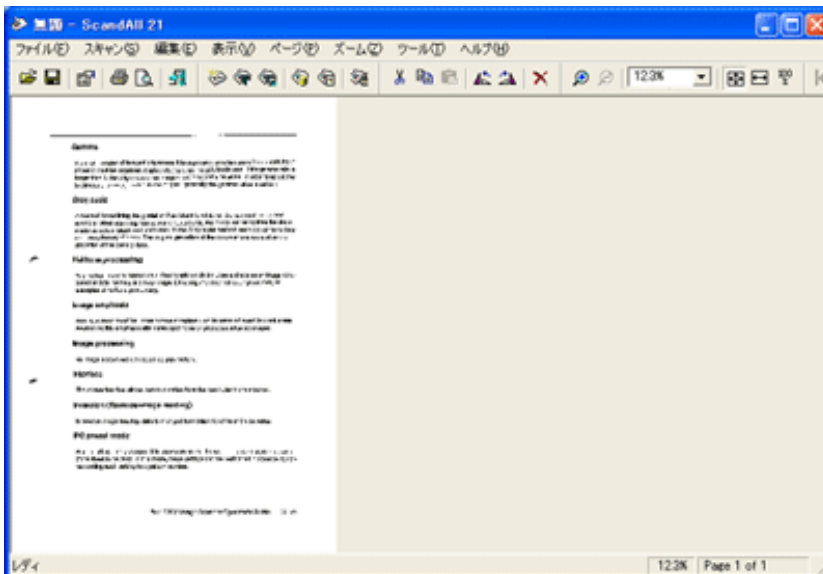
◀ | 1 | 2 | ▶

5. 読み取り解像度や用紙サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ] ダイアログボックスの設定については、「2.5 スキャナドライバの使い方」を参照してください。



➡ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。



これ以外のいろいろな読み取り操作については、「第3章 いろいろな読み取り方法について」を参照してください。ScandAll 21の機能・操作については、「ScandAll 21ヘルプ」を参照してください。

◀ | 1 | 2 | ▶



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

■ FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバ

FUJITSU TWAIN32スキャナドライバは、TWAIN規約に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りをおこなうためのドライバソフトウェアです。

以下に、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバを使用した一般的な読み取り手順について説明します。ここでは、「ScandAll 21」を用いて説明します。

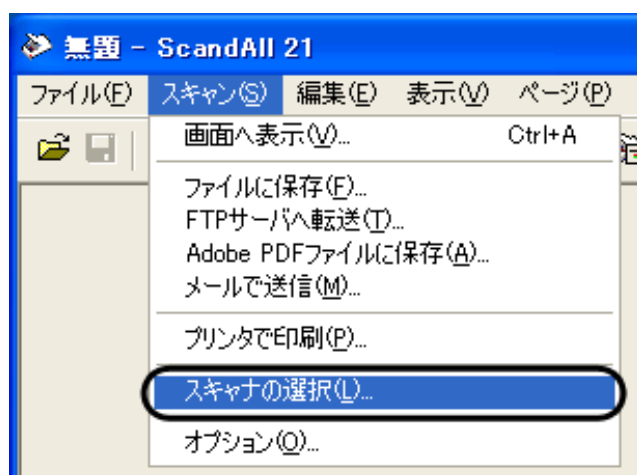
1. 基本的な読み取り手順

①アプリケーションを起動します。

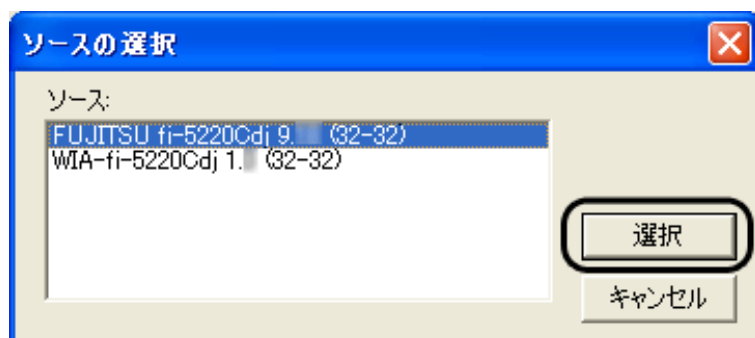
[スタート]メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Window] - [ScandAll 21] を選択します。

②スキャナ選択画面を表示して、使用するスキャナ名を指定します。

[スキャン]メニューの[スキャナの選択]を選択します。



③使用するスキャナを指定します。



Windows 98, Windows Me, Windows 2000 および Windows XP の場合 :

「FUJITSU fi-5120Cdj」 (fi-5120Cの場合)

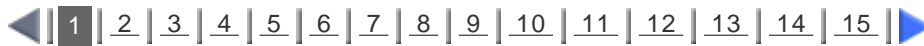
「FUJITSU fi-5220Cdj」 (fi-5220Cの場合)

Windows 95 及び Windows NT4.0 の場合 : 「FUJITSU TWAIN 3 2」

を選択して、「選択」ボタンをクリックします。

④ スキャナに原稿をセットします。

原稿のセット方法の詳細については、"[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)" を参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

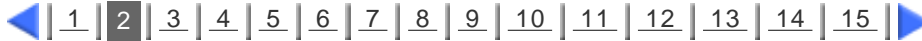


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



- ⑤ FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ画面を起動します。
 [スキャン]メニューの「画面に表示」を選択します。



ヒント

ScandAll 21では、以下のような読み取り方法があります。

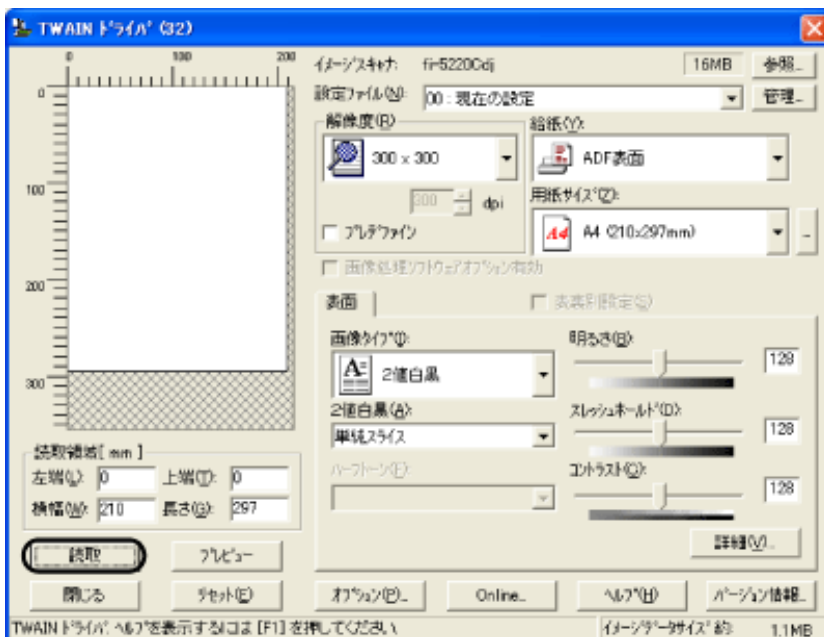
- 「画面へ表示」：読み取った画像を画面に表示します。
- 「ファイルに保存」：読み取った画像をファイル(*.BMP, *.TIF, *.JPG)に保存します。
- 「FTPサーバへ転送」：読み取った画像をFTPサーバに転送します。
- 「Acrobat PDFファイルに保存」：読み取った画像をPDFファイルにして保存します。

(あらかじめ、Adobe Acrobatをインストールしておく必要があります。)

- 「Microsoft Share Point Portal Serverへ転送」：読み取った画像をMicrosoft Share Point Portal Serverに転送します。
- 「メールで転送」：読み取った画像を添付ファイルとして、メールソフトウェアを起動します。

詳細は、「ScandAll 21 ヘルプ」を参照してください。

- ⑥ 読み取り条件を設定して、[読取]ボタンをクリックします。



この画面で設定できる内容については、「FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定」を参照してください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

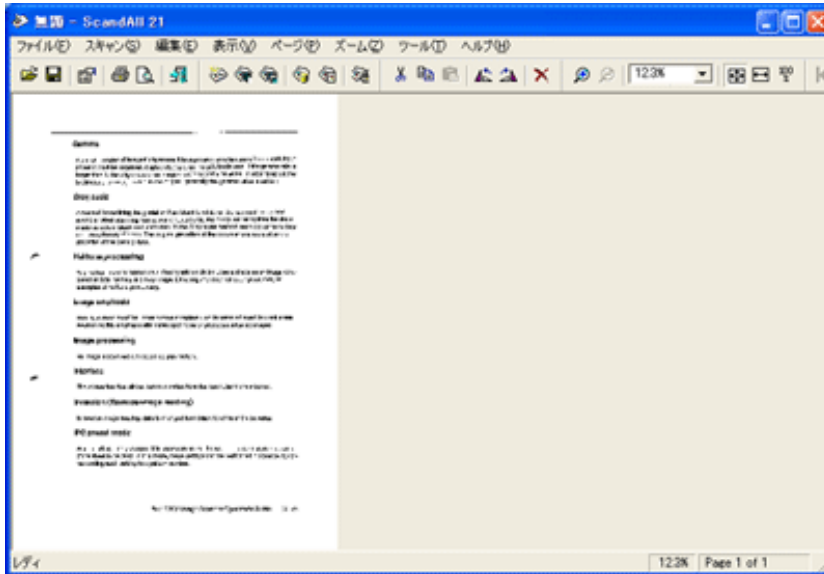
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

➡ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。



アプリケーションの設定によっては、画像が表示されない場合があります。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書または、ヘルプを参照してください。
 例) ScandAll 21の場合、「ファイルに保存」で読み取りをおこなうと、読み取った画像は画面には表示されません。

⑦読み取った画像を保存します。
 [ファイル]メニューの「名前をつけて保存...」を選択して、読み取った画像をファイルに保存します。
 続けて新しい読み取りをおこなう場合は、手順4に戻ってください。

⑧アプリケーションを終了します。
 [ファイル]メニューの「終了」を選択します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

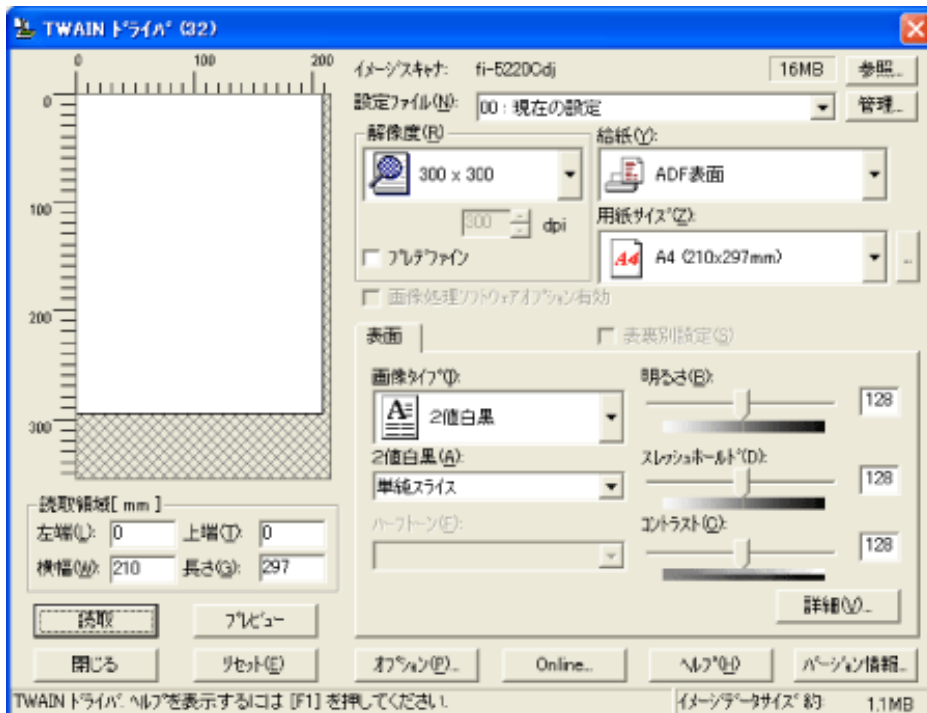
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **[4](#)** | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

2. FUJITSU TWAIN32スキャナドライバの設定



FUJITSU TWAIN ドライバの設定は、この画面でおこないます。以下に、代表的な設定項目について説明します。

各機能の詳細については、「TWAINドライバヘルプ」を参照してください。（[ヘルプ]ボタン、または[F1]キーを押すと表示されます。）

お使いのスキャナ装置の機種によって、設定できる項目や、設定範囲が異なります。

■ 解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。

定型（リストから選択）およびカスタム指定（1dpi刻みで、任意の解像度を指定）ができます。

また、「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りをおこなうことができます。

プレデファインの設定は、[...]ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

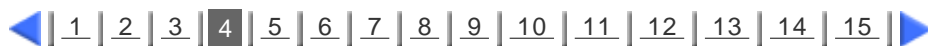
■ 給紙

原稿の読み取り面（表面/裏面/両面/フラットベッド[fi-5220Cの場合]）、長尺帳票の設定をおこないます。

■ 用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。
また、表示されるリストの並び順を変更することもできます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(5)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | **[5](#)** | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

■ 画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理をおこなって読み取ります。
グレースケール	読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット(16階調)の中から選びます。
カラー	カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色の中から選びます。

■ [読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

■ [プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。
現在の設定で試し読みをおこない、プレビューウィンドウに表示します。

■ [閉じる] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

■ [リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

■ [ヘルプ] ボタン

TWAINドライバのヘルプを表示します。[F1] ボタンでも表示することができます。

■ [バージョン情報] ボタン

現在TWAINドライバのバージョン情報を表示します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | **[5](#)** | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

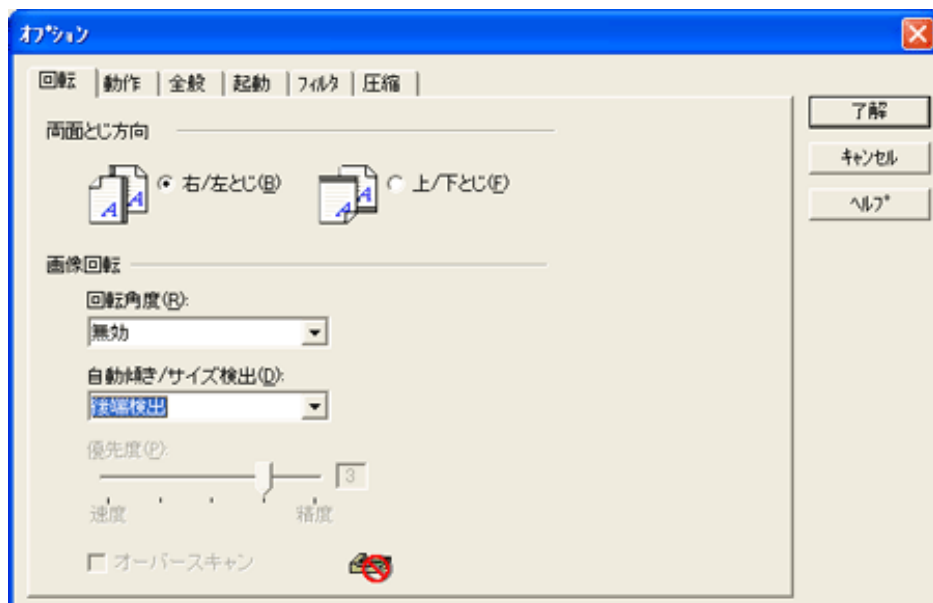
2.5 スキャナドライバの使い方(6)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | **[6](#)** | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

[オプション] ボタン

以下の画面で、オプション機能の設定をおこないます。



[回転] タブ

両面原稿のとじ方向、画像の回転、自動傾き/サイズ検出などの設定をおこないます。

[動作] タブ

キャッシュ、マルチフィード検出、ブランクページスキップなどの設定をおこないます。

[全般] タブ

TWAINドライバ画面に表示される単位の設定をおこないます。ミリ (mm)、インチ (inch)、ピクセル (pixel) の中から選択します。

[起動] タブ

スキャナ操作パネルに関する設定をおこないます。

[フィルター] タブ

画像処理フィルターの設定をおこないます。

縁消しフィルター：読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

デジタルエンドーサ：読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。

[圧縮] タブ

JPEG転送時の圧縮率の設定をおこないます。

[詳細] ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定をおこないます。

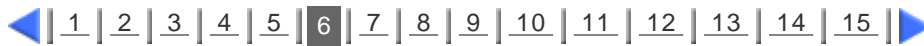
輪郭処理、ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転、色反転などの設定が可能です。

[管理] ボタン

設定ファイルの管理をおこないます。

TWAINドライバ画面で設定した内容を、[設定ファイル] に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更することができます。

各機能の詳細については、「TWAINドライバのヘルプ」を参照してください。

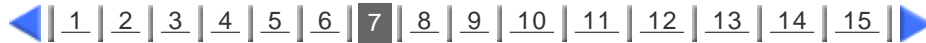


All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(7)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


FUJITSU ISIS スキャナドライバ

ここではFUJITSU ISISスキャナドライバとQuickScan Proの基本操作について説明します。

お使いのアプリケーションによって操作手順が異なる場合があります。

QuickScan Pro以外のアプリケーションの場合、当該アプリケーションのガイドもしくはヘルプを参照してください。

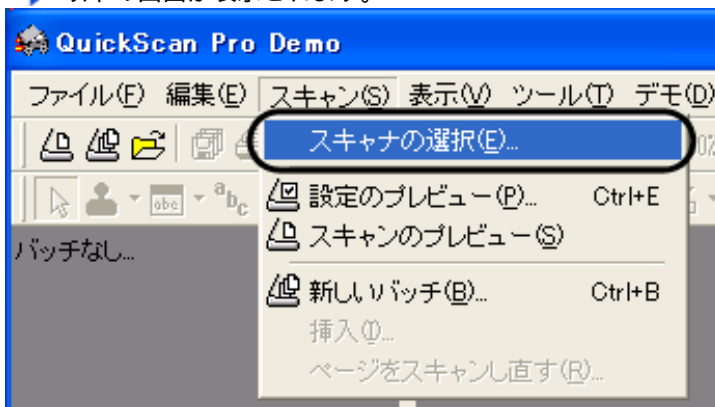
1. 基本的な読み取り手順

① アプリケーションを起動します。

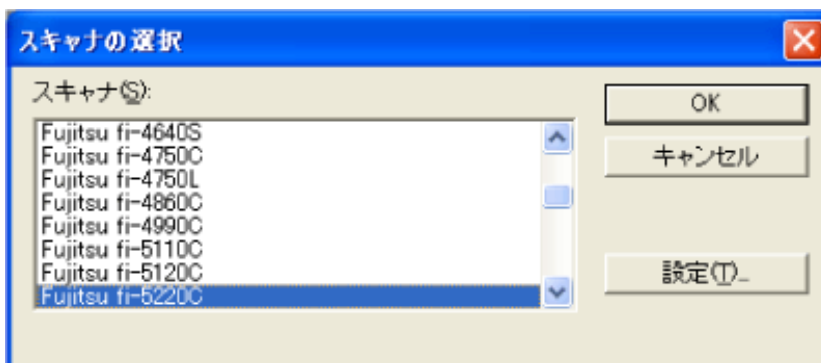
[スタート] から [プログラム] - [QuickScan] の順に選択し、[QuickScan] をクリックします。

② メニューバーから [スキャン] - [スキャナを選択] を選びます。

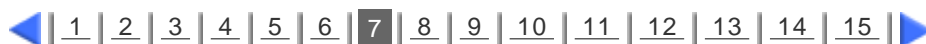
→ 以下の画面が表示されます。



③ お使いのスキャナ (fi-5120C または fi-5220C) を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



④ メニューバーから [スキャン] - [新しいバッチ...] を選択します。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

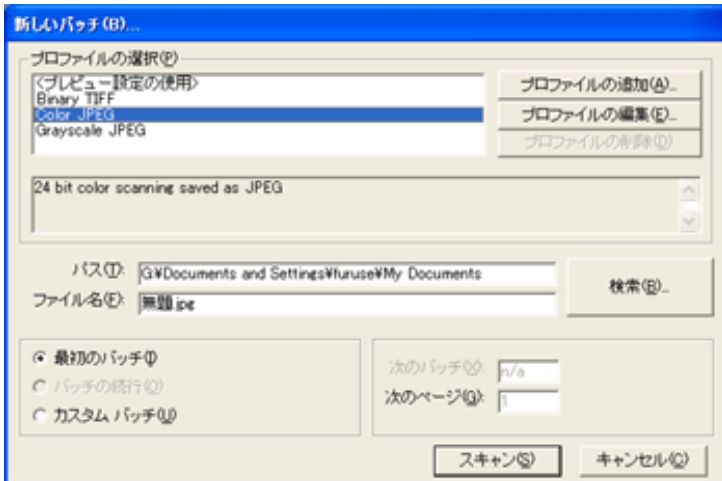
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(8)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | **8** | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

⑤ 以下の画面が表示されるので、プロフィールを選択します。



新しくプロフィールを作成する場合

既存のプロフィールの中から一つを選択して、[プロフィールの追加...] ボタンをクリックします。

→ 選択したプロフィールを基に、新規プロフィールが作成されます。

既存のプロフィールの設定を変更して使用する場合

既存のプロフィールの中から一つを選択して、[プロフィールの編集...] ボタンをクリックします。

→ 選択したプロフィールの設定が変更されます。

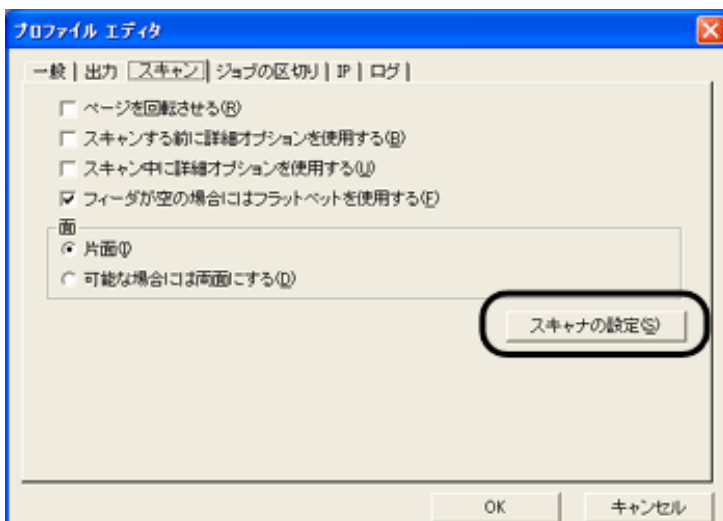
既存のプロフィールを使用する場合

既存のプロフィールの中から一つを選択します。

→ 選択したプロフィールの設定で、読み取りをおこないます。

→ 手順 ⑨ に進んでください。

⑥ [スキャン] タブを選択し、[スキャナの設定] ボタンをクリックします。



→ FUJITSU ISIS スキャナドライバのダイアログが表示されます。

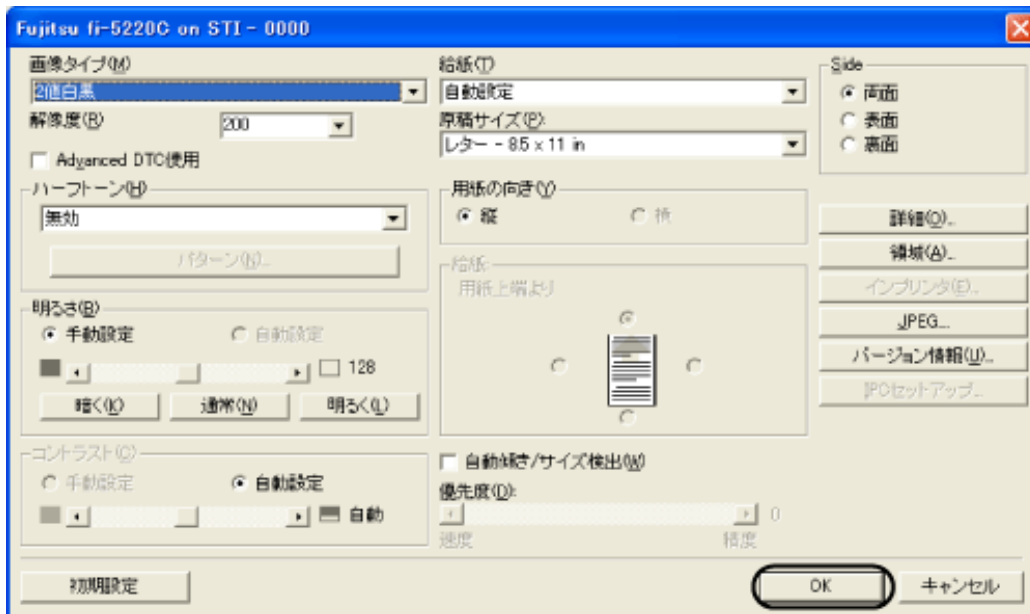
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(9)

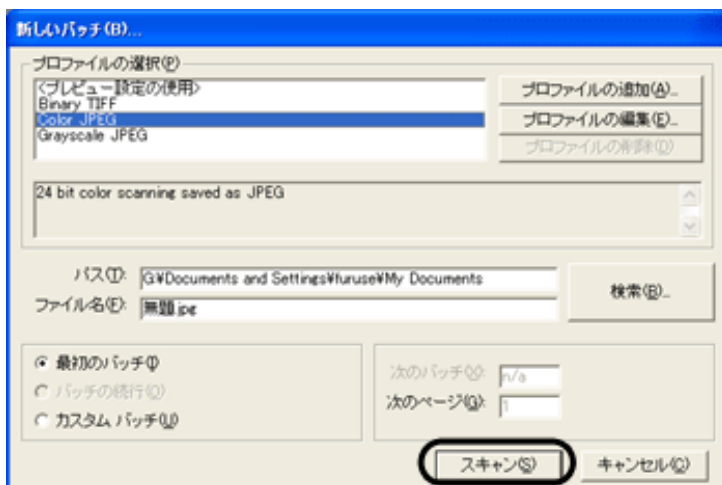
[前ページ](#)
[次ページ](#)


⑦ 必要な項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。



このダイアログボックスの詳細については、「FUJITSU ISISスキャナドライバの設定」を参照してください。

- ⑧ [プロファイルエディタ] ダイアログが表示されます。[新しいバッチ...] ダイアログに戻る場合は、[OK] ボタンをクリックします。
- ⑨ 読み取る原稿をADF給紙シュートにセットしてください。
- ⑩ [スキャン] ボタンをクリックすると読み取りが開始されます。



→ 原稿が読み取られ、画面にイメージが表示されます。QuickScanの機能や操作については、「QuickScan 概要」もしくは「QuickScan ヘルプ」を参照してください。[スタート]メニュー から [プログラム] - [QuickScan] を選択し、参照するファイルを開いてください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

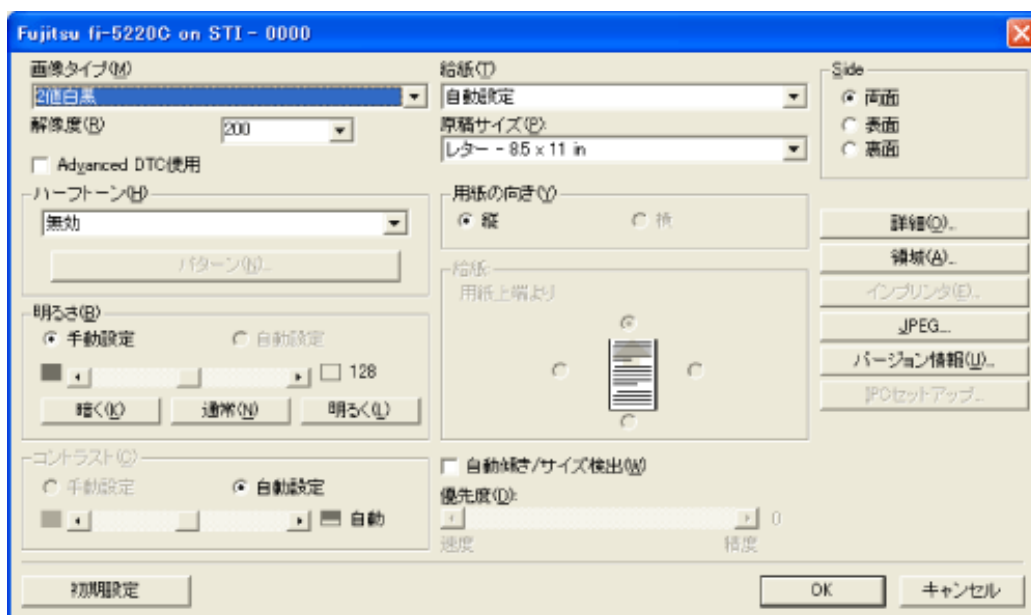
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(10)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | **10** | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

2. FUJITSU ISISスキャナドライバの設定



■ 画像タイプ

メニューから使用する色調モードを選択します。以下のモードが設定できます

2値白黒	白黒2値のしきい値にしたがって原稿を読み取ります。設定したしきい値に従って白と黒が判別されます。このモードは線画や文字の読み取りに適しています。
16-階調グレースケール	原稿は14段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり4ビットを使用します。
256-階調グレースケール	原稿は254段階の中間階調と白黒の2階調で読み取ります。このモードでは1ピクセルあたり8ビットを使用します。
24-ビットカラー	原稿は24ビットフルカラーで読み取られます。このモードはカラー写真の読み取りに適していますが、グレースケールモードよりメモリを消費します。
画像処理	このモードを利用するには、別売りの画像処理ソフトウェアオプションがインストールされている必要があります。詳しくは「画像処理ソフトウェアオプション取扱説明書」を参照してください。

■ 解像度

1インチあたりのピクセル数（ドット数）を指定します。指定には、あらかじめ設定された解像度を一覧から選択するか、50から600の間の値を入力します。解像度が高いほど消費されるメモリも増加します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | **10** | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(11)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | **[11](#)** | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)

■ ハーフトーン

リストからハーフトーンのパターンを選択します。この項目は画像タイプで2値白黒が設定されている場合に有効になります。

濃い写真画像用	色調の濃い写真の読み取りに適しています。
濃い文字 + 写真混在用	文字と写真を含んだ色調の濃い原稿の読み取りに適しています。
淡い写真画像用	淡い色調の写真の読み取りに適しています。
淡い文字 + 写真混在用	文字と写真を含んだ色調の淡い原稿の読み取りに適しています。
誤差拡散法	ピクセル間の格差が最小化されます。
ダウンロード	ダウンロードしたディザパターンを用いて処理をおこないます。

■ 明るさ

1 (最も暗い) から255 (最も明るい) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。画像を明るくするには値を高くし、暗くするには値を低く設定します。

■ コントラスト

読み取った画像のコントラストを設定します。1 (ソフト) から255 (シャープ) までの値でイメージ全体の明るさを設定します。陰影を際立たせる場合は値を高く設定します。

■ 給紙

読み取り方法を指定します。

自動設定	(fi-5220Cの場合のみ) ADF給紙シュートに原稿があればADFで読み取ります。なければフラットベッドで読み取ります。
フラットベッド	(fi-5220Cの場合のみ) 装置のフラットベッド上におかれた原稿を読み取ります。
ADF (表面)	原稿の表面だけを読み取ります。
ADF (裏面)	原稿の裏面だけを読み取ります。
ADF (両面)	原稿の各ページの表裏両面を同時に読み取ります。この方法は両面読み取りをサポートしているスキャナでのみ利用可能です。

■ 原稿サイズ

読み取る原稿のサイズを指定します。リストの中から任意のサイズを選択します。

■ 用紙の向き

原稿の向き (縦か横) を指定します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | **[11](#)** | [12](#) | [13](#) | [14](#) | [15](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(12)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | **12** | [13](#) | [14](#) | [15](#)

自動傾き/サイズ検出

原稿のサイズを検出し、読取った画像をそのサイズで出力します。また、原稿が傾いた状態で読取られた場合は、同時に原稿の傾きを検出してその傾きを自動で修正します。

「優先度」の設定値を変えるとによって、自動用紙サイズ検出の処理精度を変更することが出来ます。

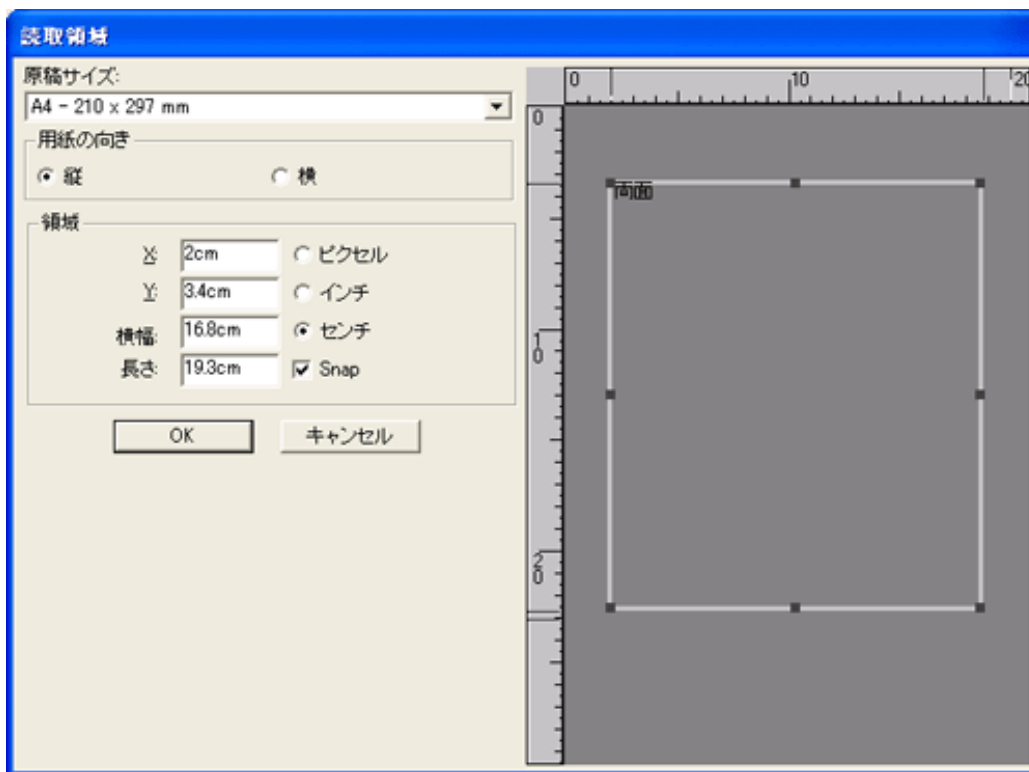
原稿を読取る際に、読み取速度を優先させたい場合は数値を小さく、検出精度を優先させたい場合は数値を大きく設定してください。

[領域...] ボタン

「読取領域」画面を表示します。

原稿サイズに対する読み取り領域を指定します。

領域枠をマウスでドラックして、大きさを調整することができます。また、数値を直接入力して指定することもできます。



[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | **12** | [13](#) | [14](#) | [15](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED




PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

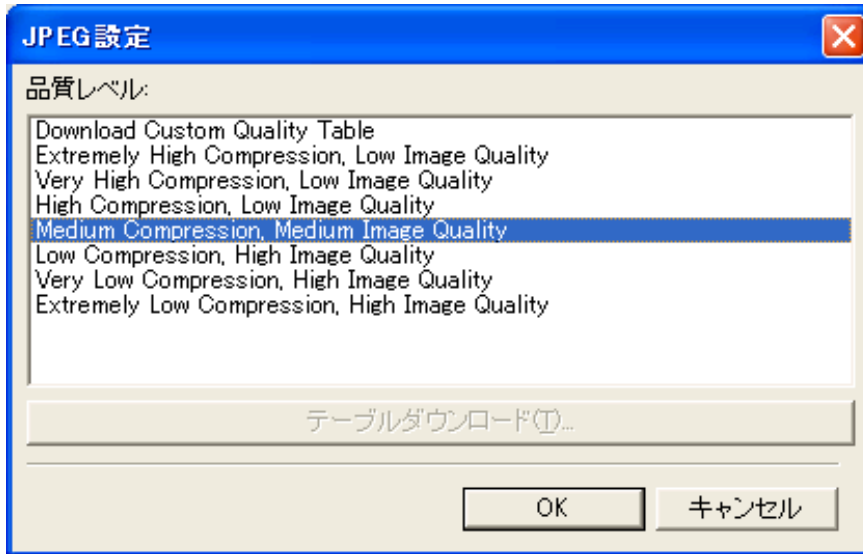
2.5 スキャナドライバの使い方(13)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | **13** | [14](#) | [15](#)

 [JPEG...] ボタン

[JPEG設定] ダイアログボックスを表示します。JPEG 形式でデータを転送する際の圧縮率の設定をおこないます。


 [バージョン情報] ボタン

バージョン情報を表示します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | **13** | [14](#) | [15](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED




[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

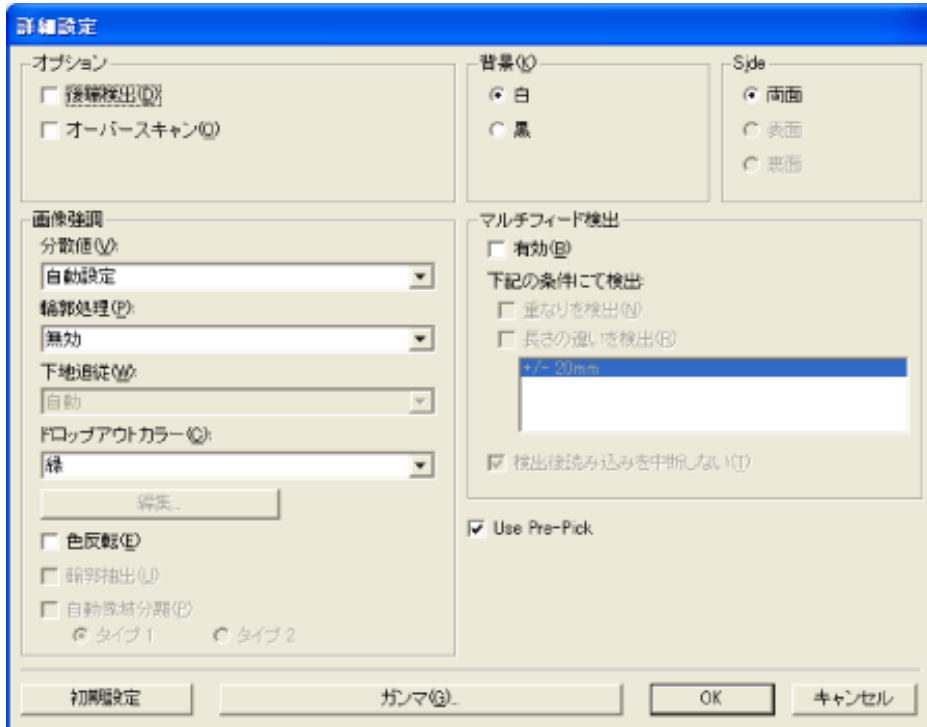
2.5 スキャナドライバの使い方(14)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | **14** | [15](#)


 [詳細...] ボタン

その他のオプション機能の設定に使用します。



後端検出

読み取る原稿の後端を検出し、原稿長さ分の読み取りをおこないます。短いページが原稿に含まれる場合は、そのサイズにあわせて出力するイメージを調整します。

オ - バ - スキャン

「用紙サイズ」の設定より少し大きめに読み取ります。

背景

読み取った原稿の外側を白または黒にします。

ガンマ

ガンマ補正の設定をおこないます。補正パターンには、通常、ソフト、ハード、ダウンロード、カスタムの5通りの設定が可能です。

分散値

画像の明るさに応じて分散値を設定します。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | **14** | [15](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

2.5 スキャナドライバの使い方(15)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | **15** |

輪郭処理

読み取った画像のシャープさを指定します。

弱、中、強	輪郭を強調します。処理の度合いは、弱、中、強の3種類です。
スムージング	曲線部のギザギザを取り除き、輪郭を滑らかにします。

ドロップアウトカラー

指定した色（光の3原色：赤、青、緑および「なし」が選択可能）を読み取った画像から消します。たとえば原稿に緑色の枠で囲まれた黒い文字がある場合、文字だけを読み取って緑色の枠を消すように設定ができます。

「なし」を選択した場合は、ドロップアウトをおこないません。

色反転

読み取った画像の白と黒を反転します。

マルチフィード検出

マルチフィードとは2枚以上の原稿が同時にADFに給紙された場合に発生するエラーです。マルチフィードの検出条件を設定して、検出時に読み取りを停止してエラーメッセージを表示させることが可能です。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#) | [8](#) | [9](#) | [10](#) | [11](#) | [12](#) | [13](#) | [14](#) | **15** |

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第3章 いろいろな読み取り方法について

[前ページ](#)[次ページ](#)

この章では、スキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

ご使用のOSによって表示される画面、および操作が多少異なります。

また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章に記載している画面、および操作が多少異なることがあります。

その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.1 両面を一度に読み取りたいとき(1)

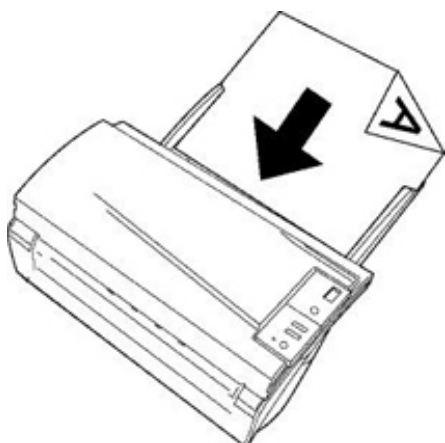
[前ページ](#) [次ページ](#)



両面を読み取る方法について説明します。

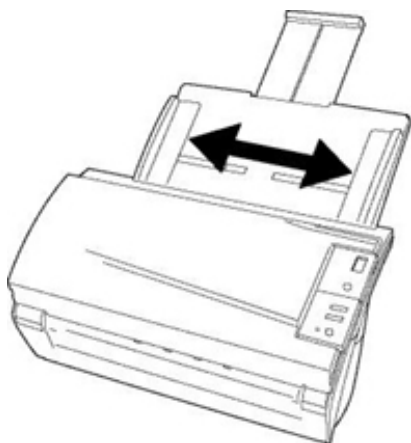
1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

原稿をADF給紙シュートにセットする方法については、"[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)"を参照してください。



原稿の表面をADF給紙シュート側にします。

2. 原稿の幅に合わせてサイドガイドを移動します。



3. ScandAll 21を起動します。

[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。ScandAll 21が起動されます。

4. fi-5120Cdjまたはfi-5220Cを指定します。

[スキャン]メニューの[スキャナを選択]を選択します。 fi-5120Cdj/fi5220Cdjを選択して[選択]ボタンをクリックします。

5. ツールバーの[スキャン] - [画面へ表示]ボタンをクリックし、[TWAINドライバ]ダイアログボックスを表示します。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

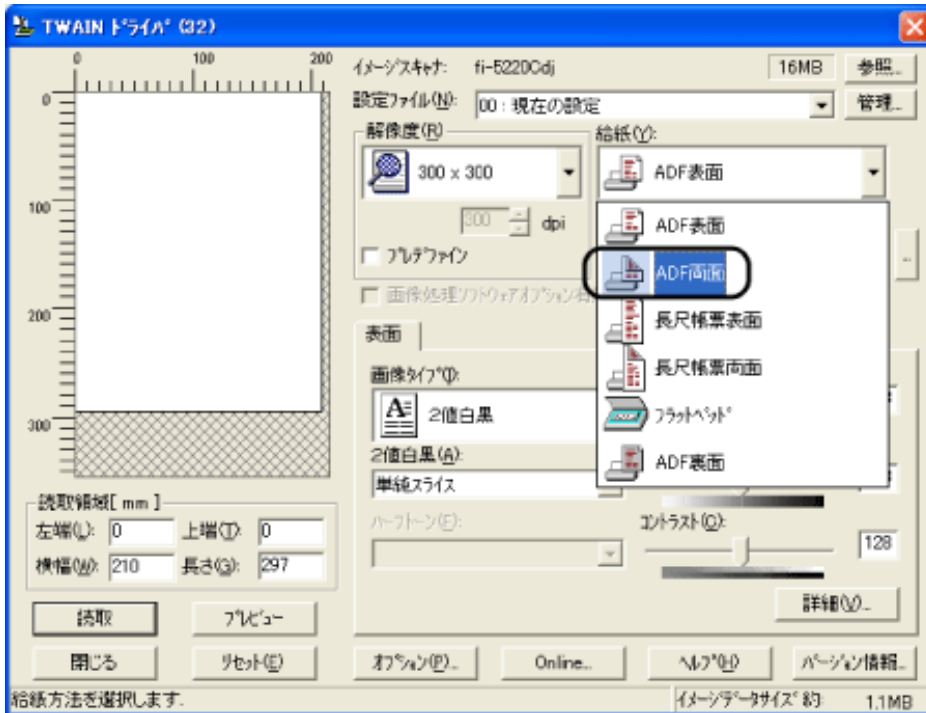
3.1 両面を一度に読み取りたいとき(2)

前ページ

次ページ

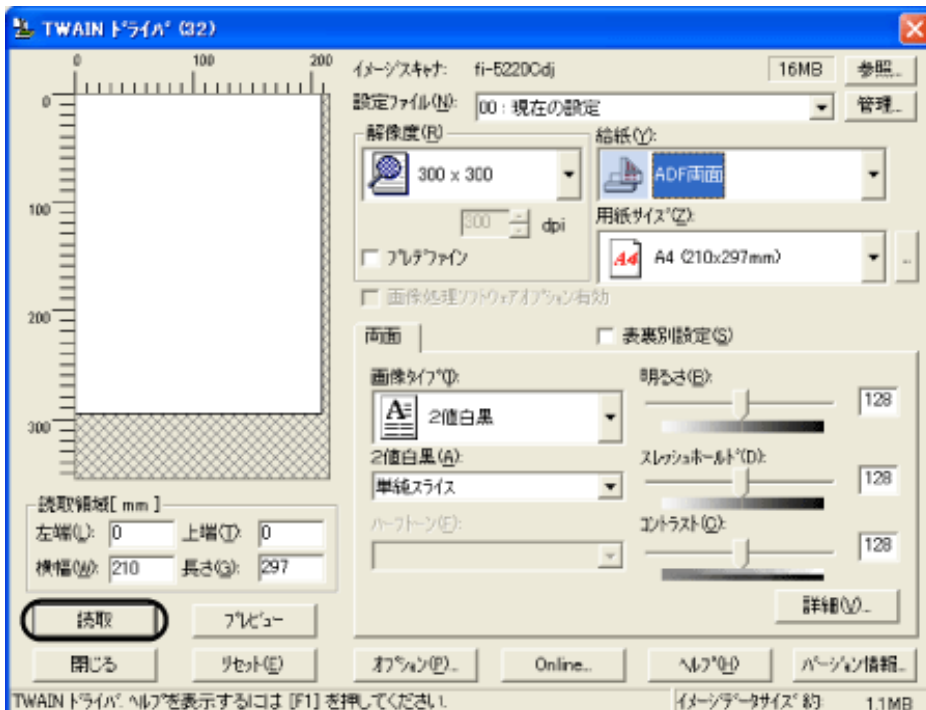


6. [給紙] から [ADF両面] を選択します。



7. [読取] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、「2.5 スキャナドライバの使い方」を参照してください



➡ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。
ScandAll 21の機能・操作については [ScandAll 21ヘルプ] を参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.2 本を読み取りたいとき [fi-5220Cの場合] (1)

[前ページ](#) [次ページ](#)

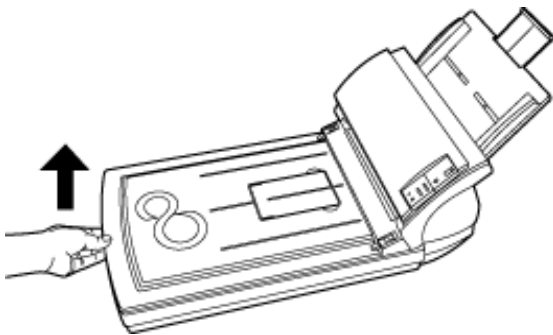
◀ | 1 | 2 | ▶



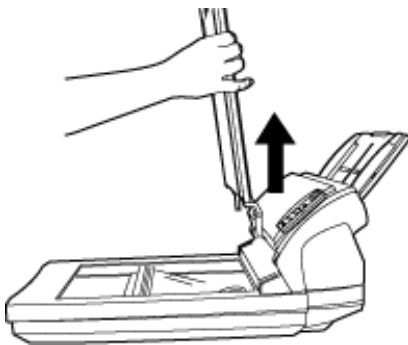
注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。

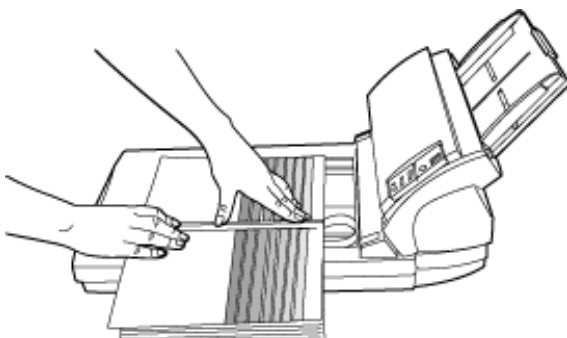
1. ドキュメントカバーを開きます。



2. ドキュメントカバーを上側 (矢印の方向) に抜き、取り外します。



3. 原稿台の上に読み取り面を下にして置きます。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.2 本を読み取りたいとき [fi-5220Cの場合] (2)

[前ページ](#)

[次ページ](#)



4. 「2.4 原稿の読み取り方法」を参照して、本を読み取ります。



注記

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

5. 読み取り動作が終了したら、ドキュメントカバーを再び取り付けて静かに閉じます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



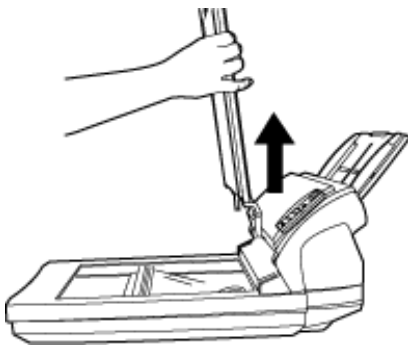
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

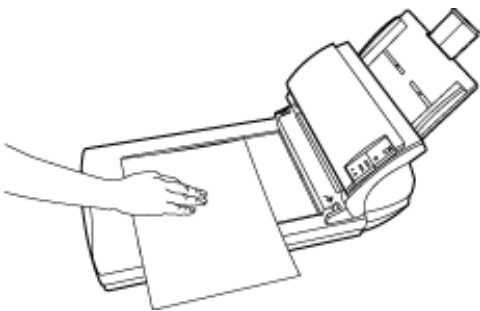
3.3 フラットベッドで大きな原稿を読み取りたいとき[fi-5220Cの場合]

[前ページ](#) [次ページ](#)

1. ドキュメントカバーを上側（矢印の方向）に抜き、取り外します。



2. 原稿台の上に読み取り面を下にして置きます。



3. 「2.4 原稿の読み取り方法」を参照して、本を読み取ります。



注記

読み取り動作中は原稿を動かさないでください。

4. 読み取り動作が終了したら、ドキュメントカバーを再び取り付けて静かに閉じます。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.4 サイズの違う原稿を読み取りたいとき

[前ページ](#) [次ページ](#)

サイズの違う原稿をADFで一度にまとめて読み取ると、サイズの小さな原稿が傾いて読み取られる場合があります。原稿の用紙の幅は必ず合わせて読み取りをおこなうようにしてください。以下に、サイズの違う原稿を読み取る場合の手順を示します。

1. 原稿の幅が同じものに分類します。
2. サイドガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 同じサイズごとに複数回に分けて読み取ります。

なお、ADFでの原稿の読み取り方法については、"[2.4 原稿の読み取り方法](#)"を参照してください。

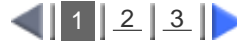


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

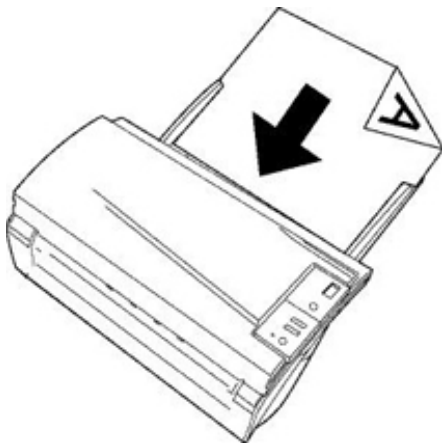
3.5 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



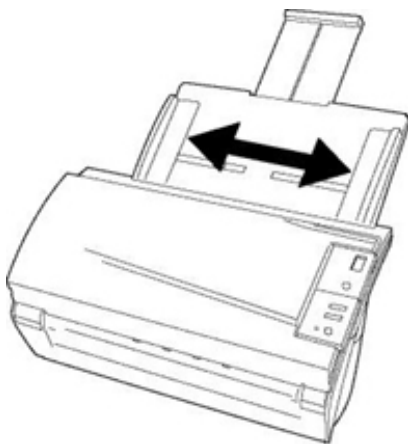
1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。

原稿をADF給紙シュートにセットする方法については、"[2.2 ADFに原稿をセットして読み取ります](#)"を参照してください。



原稿の表面をADF給紙シュート側にします。

2. 原稿の幅に合わせてサイドガイドを移動します。



3. ScandAll 21を起動します。

[スタート]メニューから[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。ScandAll 21 が起動されます。

4. お使いのスキャナを指定します。

[スキャン]メニューの[スキャナを選択]を選択します。 fi-5120Cの場合は「fi-5120cdj」を、fi-5220Cの場合は「fi-5220cdj」を選択して[選択]ボタンをクリックします。

5. ツールバーの[スキャン] - [画面へ表示]ボタンをクリックし、[TWAINドライバ]ダイアログボックスを表示します。

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

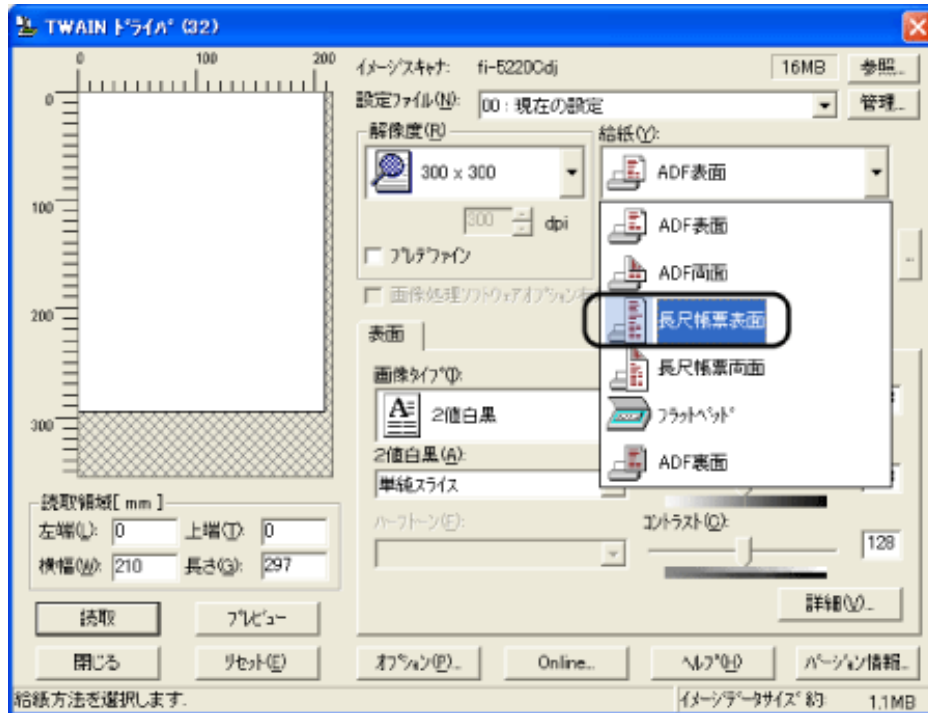
3.5 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)

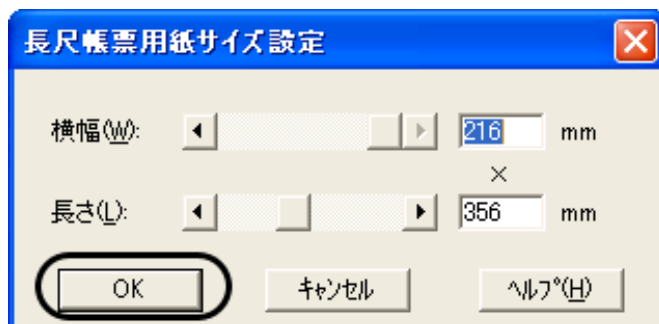
[1](#) | [2](#) | [3](#)

6. [給紙] から [長尺帳票表面] または [長尺帳票両面] を選択します。

→ 長尺帳票用紙サイズ設定画面が表示されます。



7. 帳票のサイズを設定し、[OK] をクリックします。



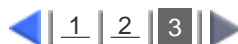
[1](#) | [2](#) | [3](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

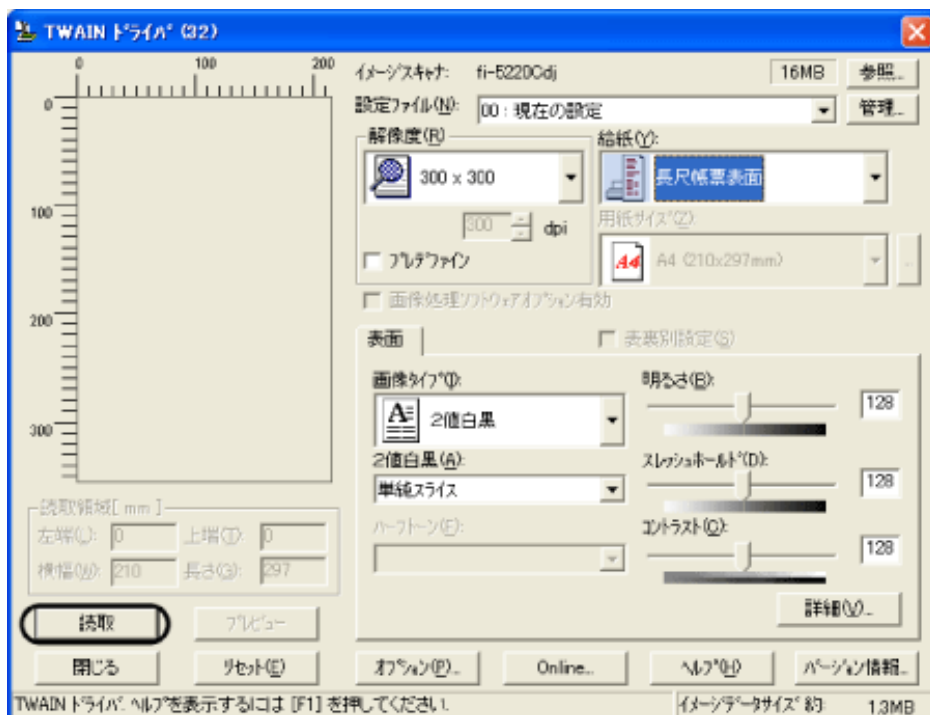
3.5 A4サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

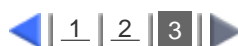


8. [読取] ボタンをクリックします。

[TWAIN ドライバ] ダイアログボックスの設定については、"[2.5 スキャナドライバの使い方](#)" を参照してください。



→ 原稿が読み取られ、ScandAll 21の画面にイメージが表示されます。
 ScandAll 21の機能・操作については [ScandAll 21ヘルプ] を参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

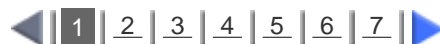


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)



読み取った画像をPDF形式で保存するときは、お使いのパソコンにAdobe Acrobat をインストールしてください。Adobe Acrobatは、付属のAdobe Acrobat CD-ROMからインストールできます。PDFの作成は、以下の二通りの方法があります。

1. ScandAll 21からおこなう方法。

カラーおよびグレースケールで読み取る場合にお勧めいたします。
 通常の方法よりもPDFのデータサイズを小さくすることができます。
 特別な操作を必要とせず、簡単にPDFを作成できます。

2. Adobe Acrobatからおこなう方法

PDFを短時間で作成したいとき、および2値白黒で読み取る場合にお勧めいたします。

PDF（読み取った解像度のまま）を短時間で作成できます。

PDFの圧縮率を変更することで、任意のデータサイズで作成できます。

カラー原稿の場合、通常の方法ではデータサイズが大きくなりますが、保存する前にAcrobat Distiller を使用することでデータサイズを大幅に小さくすることができます。詳しくは、["読み取った画像をPDF形式で保存したいとき\(7\)"のヒントの記載](#)を参照してください。



注記

Adobe Acrobatの使用上の注意点について

解像度、給紙方法、画像タイプは、アプリケーションからの指定が有効になるため、読み取り時に前回指定の設定項目で表示されません。

以下の機能は、ご使用できません：

- 256色カラーおよび8色カラー
- 後端検出指定時の回転角度指定
- 長尺帳票での読み取り

Adobe Acrobat を使用してスキャナから紙原稿を読み取りPDFに変換する際に、意図しない画像が出力されることがあります。

1. Acrobat の輪郭除去オプションとTWAINドライバのデジタルエンドーサまたは黒背景オプションを設定した場合、画像に埋め込んだ文字列や背景部分が欠落することがあります。

解決方法 1: Acrobatの[ファイル]メニューから[PDFの作成] [スキャナ] [画像の設定...]を選択して、「輪郭除去」を"オフ"に設定、または「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"以外に設定する。

解決方法 2: TWAINドライバの読取濃度を調整する。

2. Acrobat の圧縮オプションの「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"に設定して、Acrobat の推奨解像度より低い解像度で読み取る場合、適切でない画像が出力されることがあります。

解決方法: 「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を"アダプティブ"以外に設定する。

3. Acrobat はダブルレター（11×17 インチ）やA3より長い原稿は読み取れないため、TWAINドライバでオーバースキャンを設定した場合、正しく読み取れないことがあります。

解決方法: ダブルレター（11×17 インチ）やA3の原稿を読み取る場合は、オーバースキャンを設定しない。

*Acrobat の使い方や詳細な情報については、Acrobatヘルプ（紙の文書からのPDFの作成）やwww.adobe.co.jp/

[support](#) の「サポートデータベース」を参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

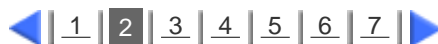


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(2)

[前ページ](#)
[次ページ](#)



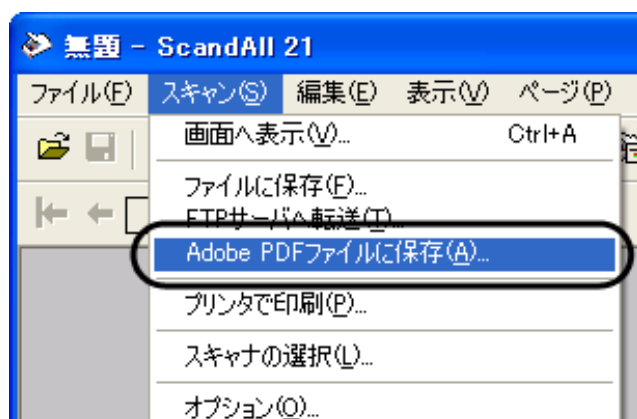
■ ScandAll 21からおこなう方法

1. スキャナのADF給紙シュートに、原稿をセットします。
2. ScandAll 21 を起動します。

[スタート]メニューから、[プログラム] - [Scanner Utility for Microsoft Windows] - [ScandAll 21]の順に選択します。

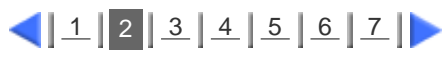
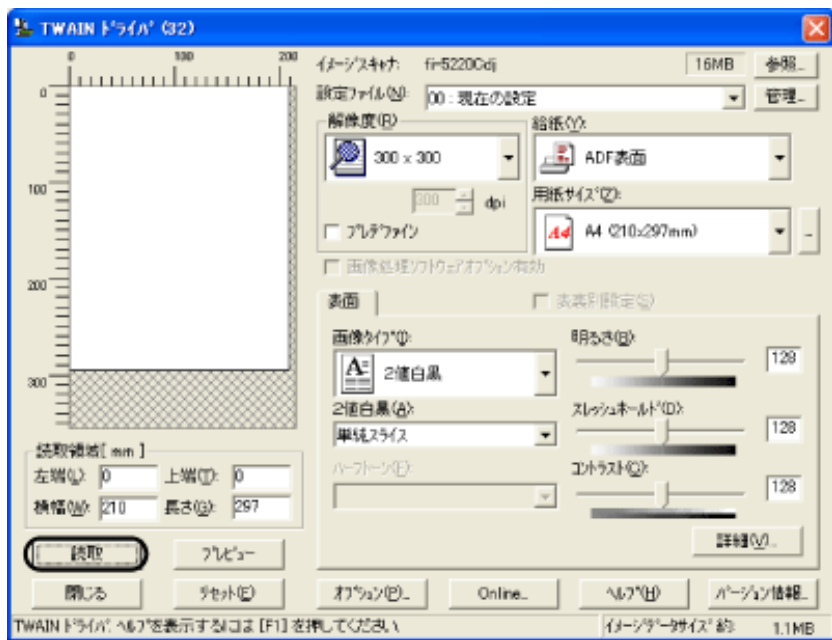
ScandAll 21が起動します。

3. [スキャン]メニューの[Adobe PDFファイルに保存...]を選択します。



→ [TWAINドライバ]ダイアログボックスが表示されます。

4. 読み取り解像度や原稿サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

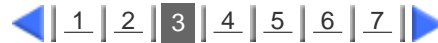


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

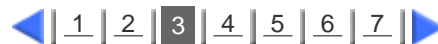
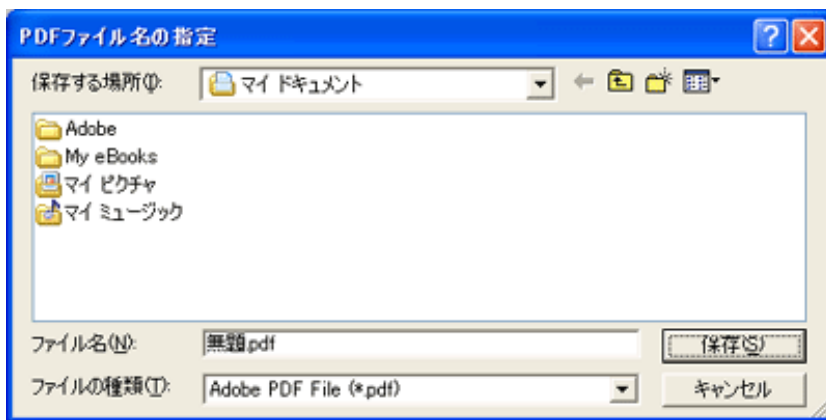


5. FUJITSU TWAIN 32ドライバ画面を閉じるときは、[閉じる] ボタンをクリックします。

➡ 保存先を指定する 画面が表示されます。

6. ファイル名と保存先を指定して、読み取ったデータを保存します。

詳細は、ScandAll 21 のヘルプを参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(4)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

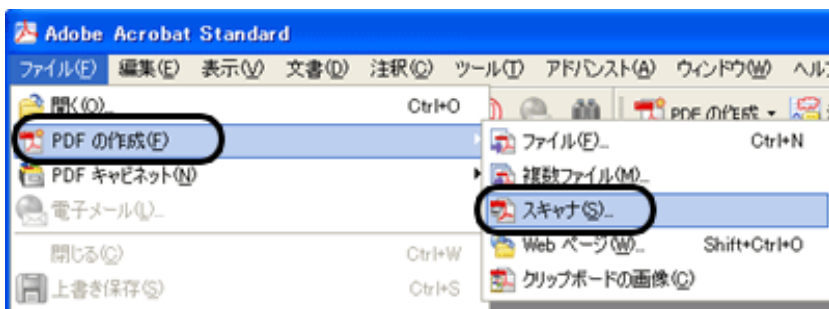


■ Adobe Acrobatからおこなう方法

1. ADF給紙シュートに原稿をセットします。
2. Adobe Acrobatを起動します。

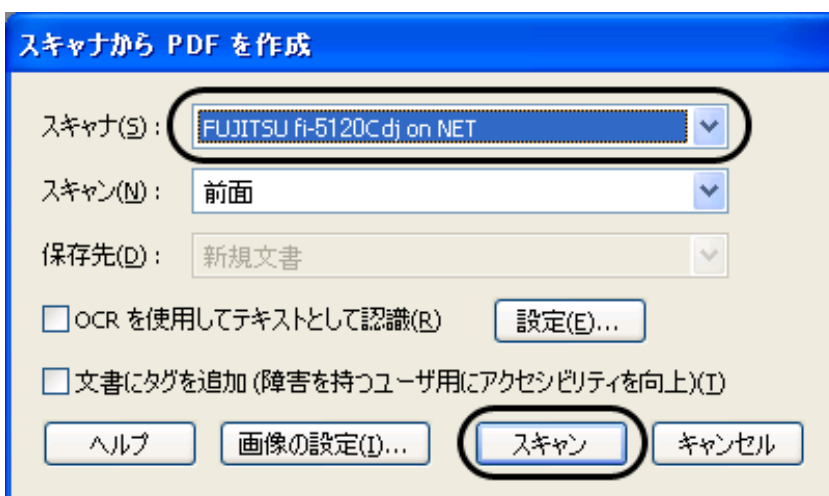
スタート]メニューから、[プログラム] - [Adobe Acrobat]の順に選択します。
Adobe Acrobat が起動します。

3. [ファイル]メニューから、[PDFの作成] - [スキャナ]の順に選択します。



→ [スキャナからPDFを作成] ダイアログボックスが表示されます。

4. [スキャナ]に、FUJITSU fi-5120Cdjまたはfi-5220Cを指定して、[スキャン]ボタンをクリックします。





注意

デフォルト設定のまま読み取りをおこなうと、期待通りの画像を得られない場合があります。以下のように設定を変更することをお勧めします。

1. 「OCRを使用してテキストとして認識」のチェックを外します。
2. [画像設定]ボタンをクリックします。
「画像の設定」画面が表示されます。
3. 以下の項目を変更します。
 - カラー/グレースケール：なし
 - 白黒：JBIG2 または、CCITT Group 4
 - 背景を削除：オフ
 - 輪郭除去：オフ

→ 「TWAINドライバ」ダイアログボックスが表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

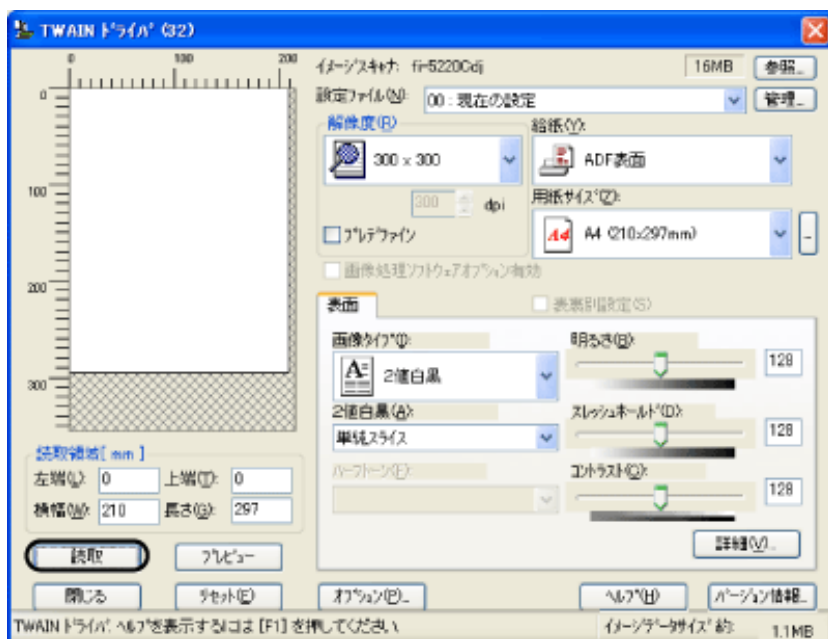
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(5)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#) | [7](#)

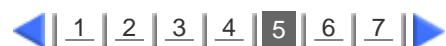
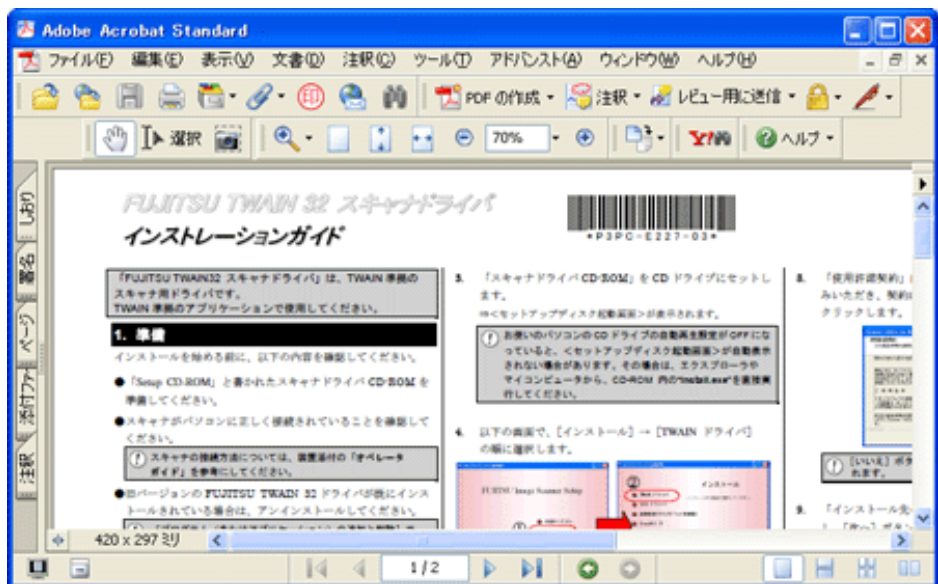
5. 読み取り解像度、原稿サイズなどを設定して、[読取]ボタンをクリックします。



6. 読み取りを終了するとき、[完了]ボタンをクリックします。



→ 読み取った画像が表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

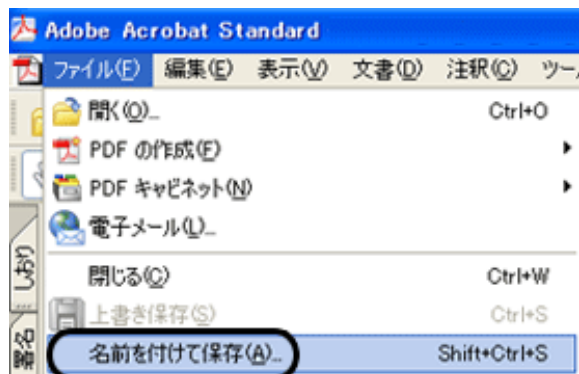
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.4 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(6)

[前ページ](#)
[次ページ](#)



7. [ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]もしくは[上書き保存]を選択して読み取ったデータを保存します。



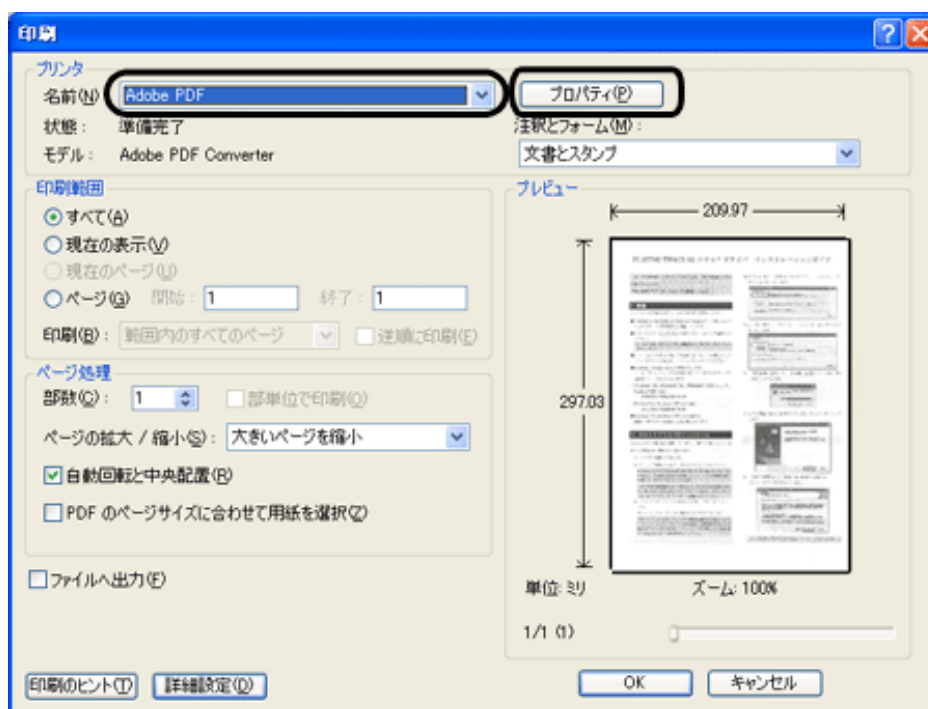
Adobe Acrobat の操作については、Adobe Acrobatのヘルプを参照してください。



ヒント

上記の方法で画像を保存すると、データサイズが非常に大きくなる場合があります。データサイズを小さくしたい場合は、下記の方法で保存してください。(ただし、保存の際に通常よりも時間がかかります。)

1. [ファイル] - [印刷...] を選択します。
2. 以下の画面が表示されますので、[プリンタ名]に「Adobe PDF」を指定します。



3. [プロパティ] をクリックします。
4. [Adobe PDF 設定] タブをクリックします。

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.6 読み取った画像をPDF形式で保存したいとき(7)

前ページ

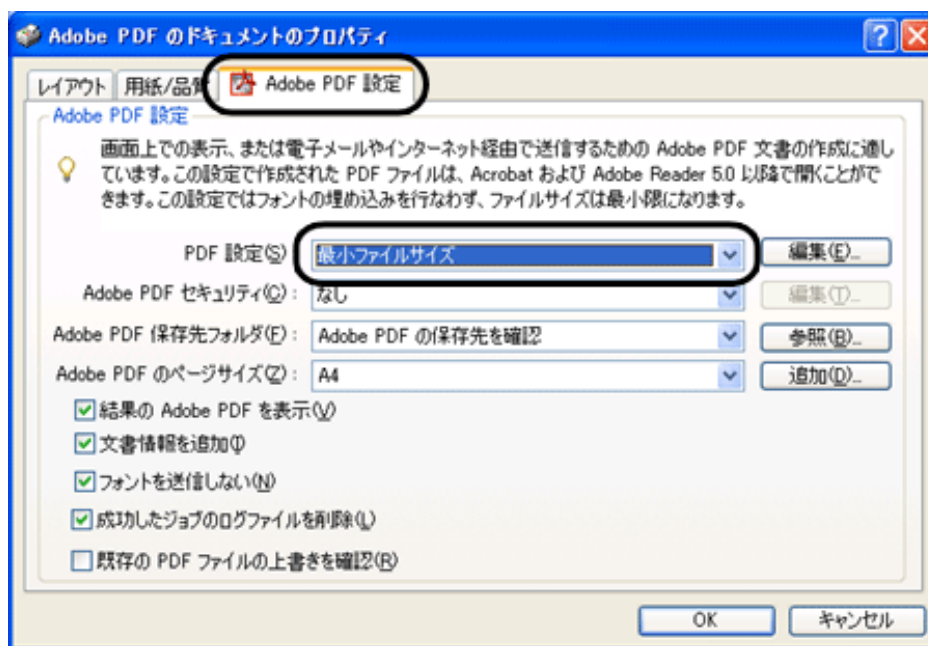
次ページ

◀ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ▶



ヒント (前ページより続き)

5. ジョブオプションを選択します。
ここでは、一例として「最小ファイルサイズ」を選択します。



6. [OK] ボタンをクリックします。
7. [PDFファイルの保存] 画面が表示されます。
任意のファイル名を指定し、[保存] ボタンを押して保存します。

◀ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ▶



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

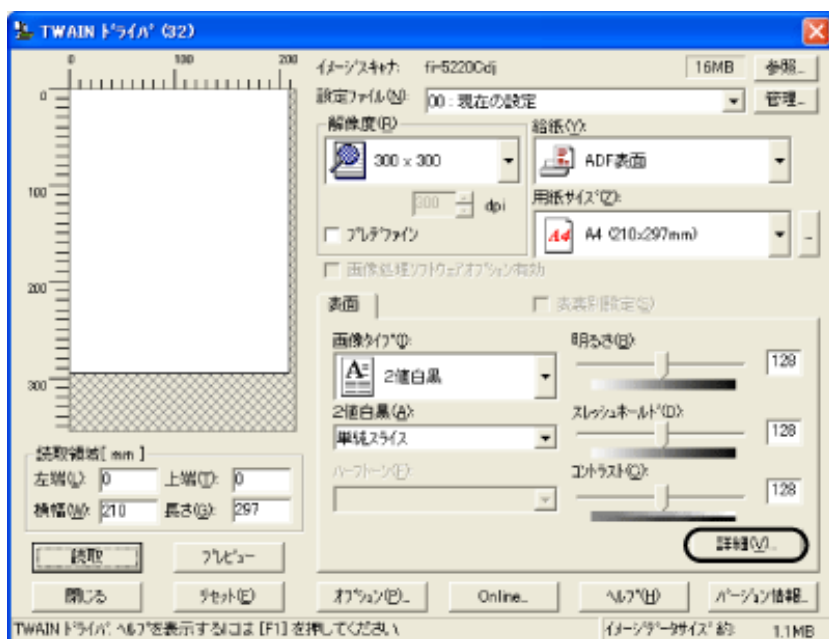
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.7 指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

[前ページ](#) [次ページ](#)

緑、赤、青（光の三原色）の中から、選択した色の部分を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。ドロップアウトカラーを設定するときは、[TWAINドライバ]ダイアログボックスの設定を変更します。

1. [TWAINドライバ]ダイアログボックスの[詳細]ボタンをクリックします。



→ [詳細]ダイアログボックスが表示されます。

2. 「応用」の「ドロップアウトカラー」から、除きたい色を指定します。

たとえば、緑色の枠の中に黒い文字が書かれた原稿を読み取る場合で、黒い文字の部分だけを読み取るときは、[緑]を指定します。「なし」を選択した場合は、ドロップアウトをおこないません。



3. [了解]ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスに戻ります。
続けて、読み取り操作してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

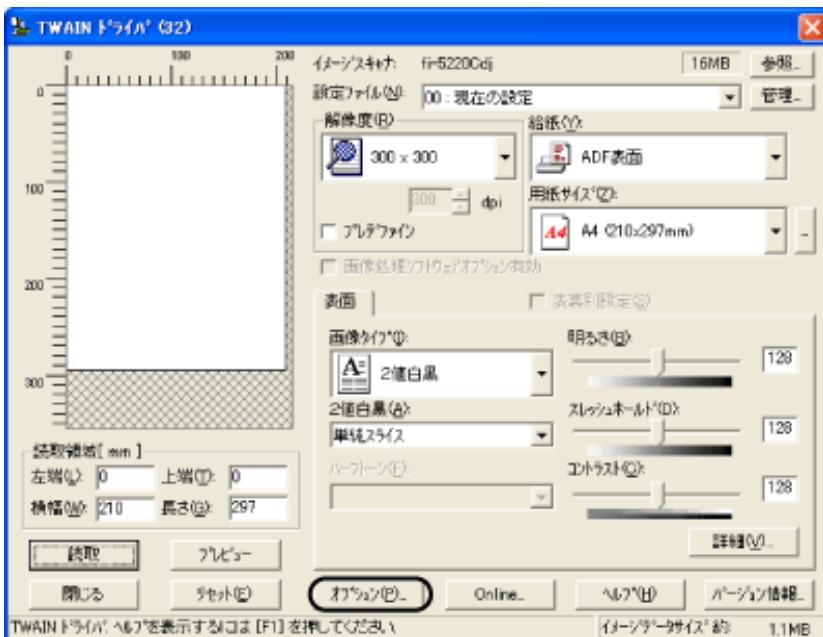
3.8 白紙ページをスキップして読み取りたいとき(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



空白ページを除くときは、[TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの設定を変更して読み取ります。

1. [TWAIN ドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



→ [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [動作] タブをクリックします。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.8 白紙ページをスキップして読み取りたいとき(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



3. 「ブランクページスキップ」チェックボックスをチェックします。

本機能を有効にすると、キャッシュ設定が「ホストPC内メモリ使用」、「両メモリ使用」以外の設定の場合、自動的に「ホストPC内メモリ使用」に切り替わります。

4. スライダーバーを使って、ブランクページスキップの度合を調整します。

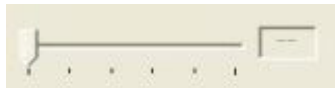
2値白黒、ハーフトーン設定の場合



白紙の場合は [白背景原稿]、黒紙の場合は [黒背景原稿] のスライダーにてスキップ条件の設定をおこないます。スライダー右に表示される数値はゴミ分布率(*1)を表し、読み取った原稿がこの数値以下の場合にブランクページと認識します。設定範囲は、OFF(--),および0.2~3.0%(0.2刻み)になります。

*1：読取領域に対する黒点の占める割合（白紙の場合）

カラー、グレースケール設定の場合



1~5の5段階で、ブランクページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

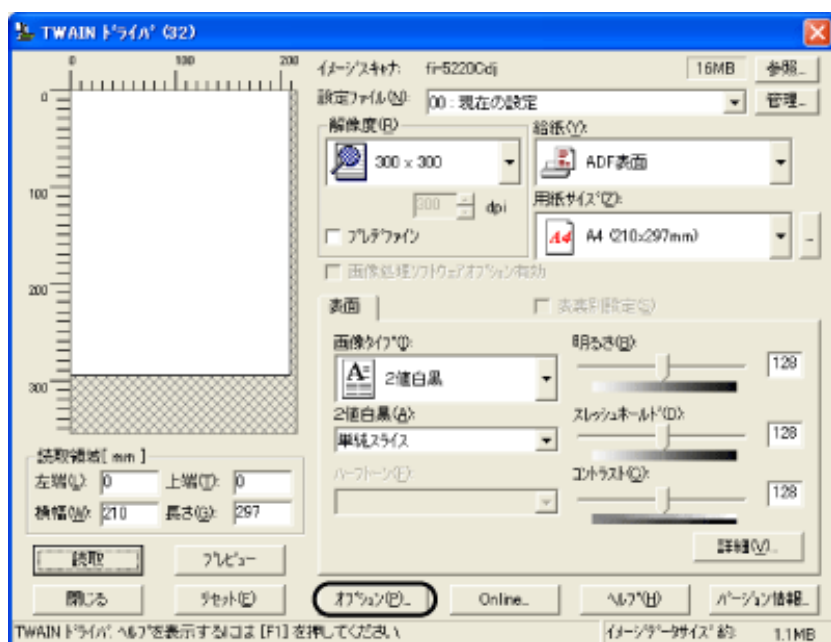
3.9 マルチフィードを検出したいとき(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)

◀ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | ▶

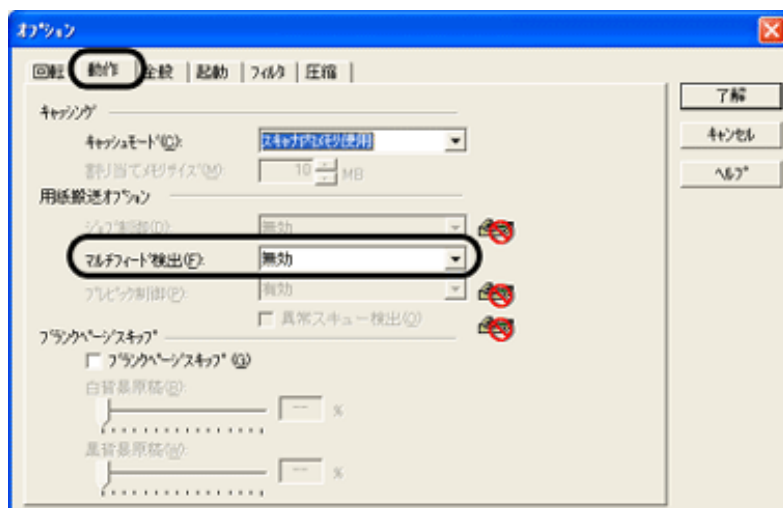
マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADF給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。マルチフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定することができます。マルチフィードの設定は、[TWAINドライバ]ダイアログボックスからおこないます。

1. [TWAINドライバ]ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



➡ [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [動作]タブをクリックします。
3. 「用紙搬送オプション」の「マルチフィード検出」から、検出条件を指定します。



◀ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | ▶



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.9 マルチフィードを検出したいとき(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



次の検出条件があります。

無効	マルチフィード検出をおこないません。
重なりを検出	原稿の厚さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの厚さの変化によってマルチフィード検出をおこないます。
長さの違いを検出	原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの原稿の長さの変化によってマルチフィード検出をおこないます。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、マルチフィード検出をおこないます。

なお、マルチフィード検出の詳細については、「7.5 マルチフィードの検出条件」を参照してください。

4. [了解]ボタンをクリックします。

[TWAINドライバ]ダイアログボックスに戻ります。続けて、読み取り操作してください。

マルチフィード検出範囲の指定について

通常のマルチフィード検出は、原稿中央部（幅35mm）について常に原稿の重なりを監視しますが（7.5の「マルチフィード検出を行う領域」を参照）、履歴書やはがきなどのように、写真や切手などが貼られていると、その部分を原稿が重なっていると誤検出する場合があります。

このような原稿を読み取る場合は、検出範囲を絞ることにより、誤検出を防ぐことができます。以下の手順で設定してください。

1. スキャナのプロパティを開きます。

● Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。

スキャナとパソコンの接続については、「fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します」を参照してください。

2) ホストコンピュータのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。



➡ [プリンタとその他のハードウェア]の画面が表示されます。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

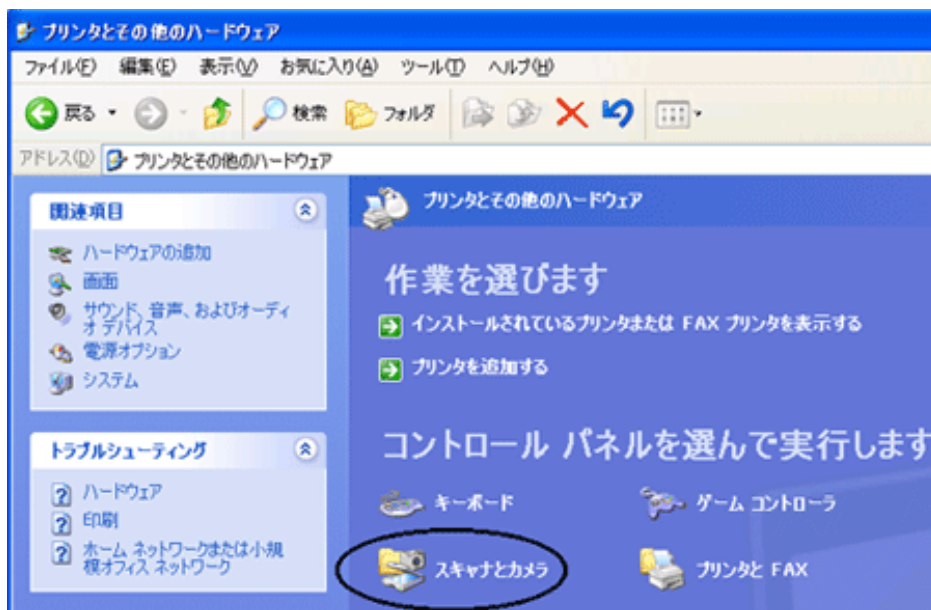
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.9 マルチフィードを検出したいとき(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

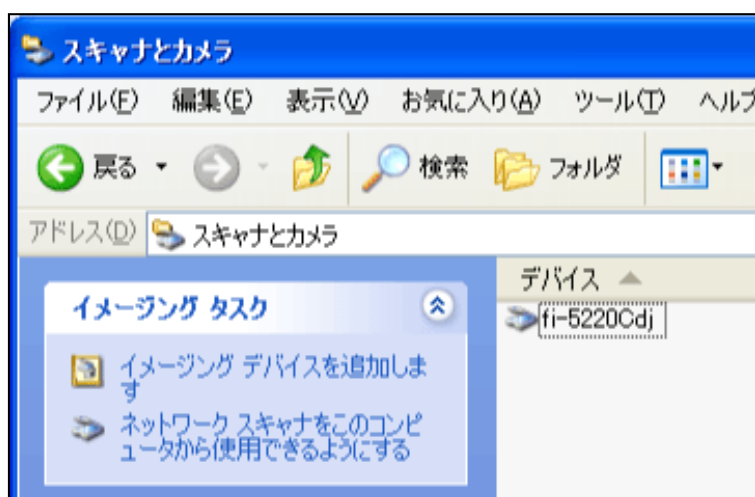
[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

- 3) [プリンタとその他のハードウェア]の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。



→ [スキャナとカメラ]の画面が表示されます。

- 4) 「fi-5120Cdj」または「fi-5220Cdj」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択（Windows Me, Windows XPの場合）、あるいはダブルクリック（Windows 98, Windows 2000の場合）します。



[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.9 マルチフィードを検出したいとき(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

→ fi-5120C または fi-5220Cのプロパティダイアログボックスが表示されます。



5) 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.9 マルチフィードを検出したいとき(5)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

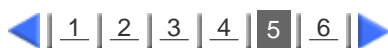
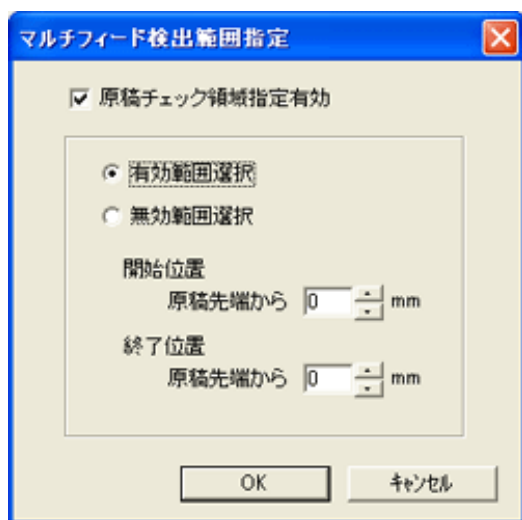
● Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

- 1) スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
スキャナとパソコンの接続については、「fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します」を参照してください。
- 2) タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして「オプション」を選択します。
- 3) 「装置設定」タブをクリックします。
→ 以下の画面が表示されます。



2. [マルチフィード] ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

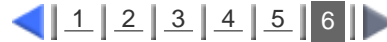


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.9 マルチフィードを検出したいとき(6)

[前ページ](#) [次ページ](#)



3. マルチフィード検出範囲を指定します。

- 1) 「原稿チェック領域指定有効」にチェックを入れます。



ヒント

原稿の長さ方向に対して、マルチフィード検出をする範囲を指定することができます。
 ここがチェックされていない場合、マルチフィード検出は原稿の中心線を挟む35mmの領域に行われます（参照図：[マルチフィード検出を行う領域](#)）。この場合、[有効範囲選択]、[無効範囲選択] および検出範囲の指定はできません。

- 2) 範囲の選択方法を指定します。

マルチフィード検出を行う範囲を指定する場合

→ 「有効範囲選択」にチェックを入れます。

マルチフィード検出を行わない範囲を指定する場合

→ 「無効範囲選択」にチェックを入れます。

- 3) 「開始位置」を指定します。

開始位置を原稿の先端からの長さで示します。

（設定可能範囲：0～510mm；偶数値）

- 4) 「終了位置」を指定します。

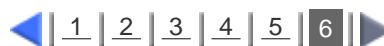
終了位置を原稿の先端からの長さで示します。

（設定可能範囲：0～510mm；偶数値）



注意

「終了位置」には「開始位置」より大きい値を指定してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

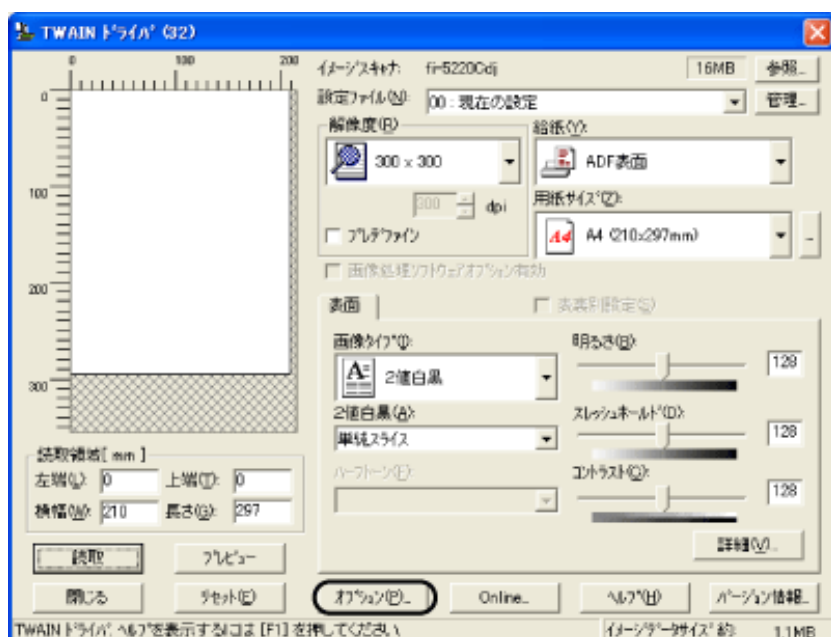
3.10 原稿の傾きを自動で補正したいとき(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



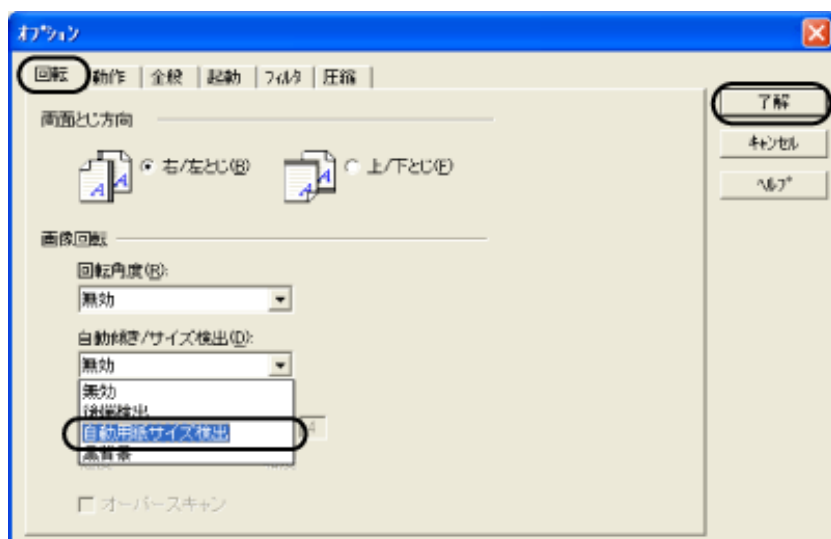
原稿を読み取る際ADF内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、「TWAIN ドライバ」の「自動用紙サイズ検出」機能を使って、自動的に傾きを検出・補正して出力することができます。「自動用紙サイズ検出」は、「TWAINドライバ」ダイアログボックスの設定を変更しておこないます。以下に「TWAINドライバ」ダイアログボックスの設定を変更する手順を示します。

1. 「TWAIN ドライバ」ダイアログボックスの[オプション]ボタンをクリックします。



→ [オプション]ダイアログボックスが表示されます。

2. [回転]タブをクリックします。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

3.10 原稿の傾きを自動で補正したいとき(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



3. 「自動傾き/サイズ検出」メニューから「自動用紙サイズ検出」を選択します。

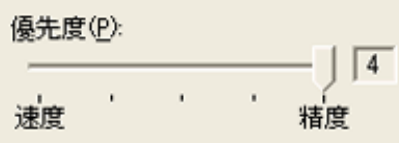
4. [了解] ボタンをクリックします。

→画面が「TWAIN ドライバ」ダイアログボックスに戻ります。



ヒント

「優先度」の設定値を変えるとによって、自動用紙サイズ検出の処理精度を変更することが出来ます。原稿を読み取る際に、読み取り速度を優先させたい場合は数値を小さく、検出精度を優先させたい場合は数値を大きく設定してください。



注記

下記のような原稿を読み取る場合は、正確に自動原稿サイズ検出ができないことがあります。

厚さが52g/m²未満の原稿

長方形でない原稿

端を濃く塗りつぶした原稿



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第4章 日常のお手入れ

[前ページ](#)[次ページ](#)

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。



警告

装置使用時はADF内部のガラスは高温になります。
内部の清掃をおこなうときは、電源を切断し、ACアダプターをコンセントから抜いてから、15分以上待っておこなってください。
フィードローラと排出ローラの清掃をするときは、電源を投入した状態でおこないません。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX


[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

4.1 清掃用具および清掃が必要な場所(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)

■ 清掃用具

清掃用具を以下に示します。

清掃用品	商品番号	備考
クリーナF1 (またはイソプロピルアルコール) 	0631150	1ボトル (100 ml) 布にしみこませて清掃します。
乾いた布	市販のもの	

清掃用具の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

■ 清掃箇所と頻度

清掃用品	清掃頻度 (目安)
パッドユニット	1,000枚読み取りごとに清掃してください。
ピックアップローラ	
フィードローラ	
プラスチックローラ	
排出ローラ	
ガラス	



注記

以下のような原稿を使用している場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷されている原稿
- ノーカーボン紙のように化学物質で加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合
- トナーが十分定着していない原稿



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

4.2 フラットベッドの清掃をします[fi-5220Cの場合] (1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


注記

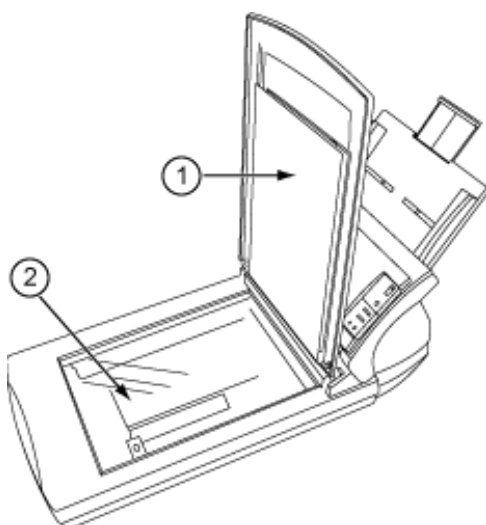
クリーナF1の代わりに窓拭き用洗剤やガラス用クリーナーなどもお使いいただけますが、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

■ フラットベッドの清掃方法

以下に、清掃が必要なフラットベッドの各部の名称を示します。

①: 原稿押さえパッド

②: 原稿台



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

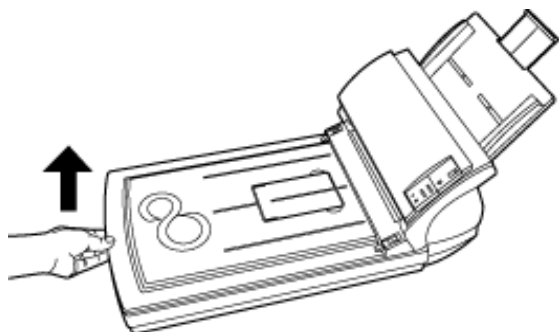
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

4.2 フラットベッドの清掃をします[fi-5220Cの場合](2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



1. ドキュメントカバーを開きます。



2. クリーナF1を浸した布で、以下の箇所を軽く清掃します。



①:原稿押さえパッド ②:原稿台

**注記**

原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナが染み込まないように注意してください。

3. 乾くまで待ちます。
4. ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

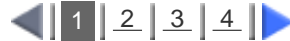


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

4.3 ADFを清掃します(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



ADFの清掃は、目安として1,000枚読み取りごとにおこなってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

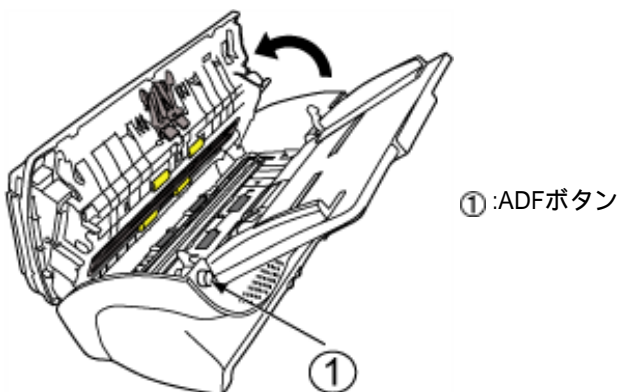


注意

装置使用時は、ADF内部のガラスが高温になります。
 内部の清掃をおこなう場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、15分以上待ってから清掃をおこなってください。

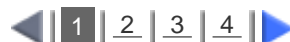
ADFの清掃方法

1. ADFボタンを押しながらADFカバーを前面側に倒して、ADFを開きます。



注意

ADFカバーが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

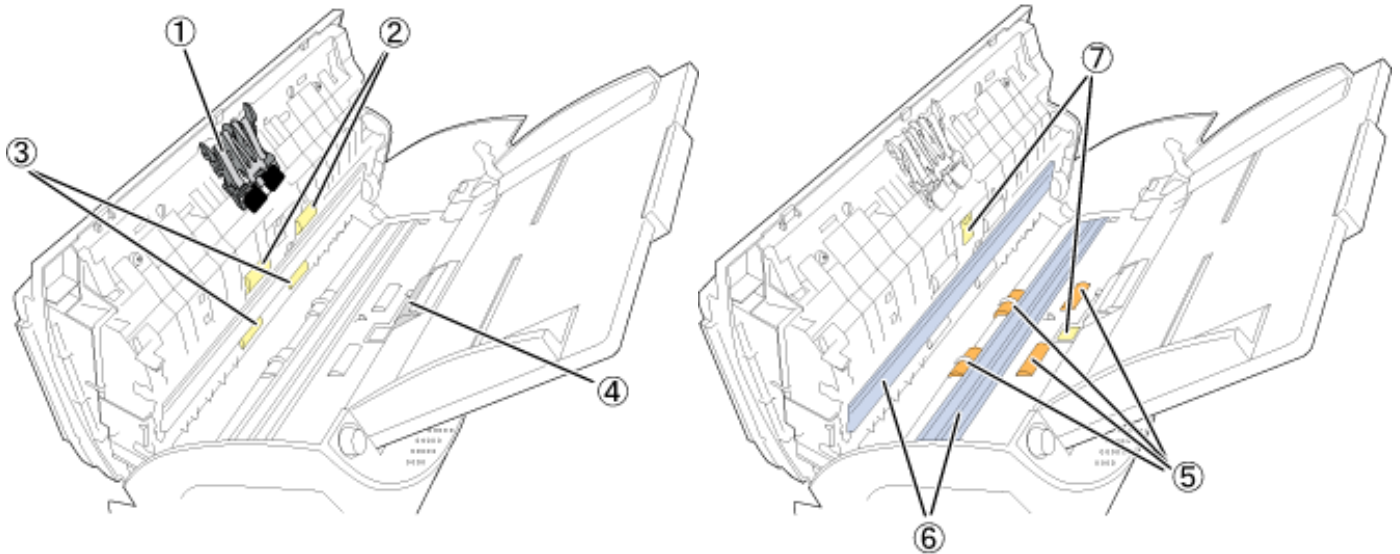
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

4.3 ADFを清掃します(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



2. クリーナF1を浸した布で、以下の場所を清掃します。

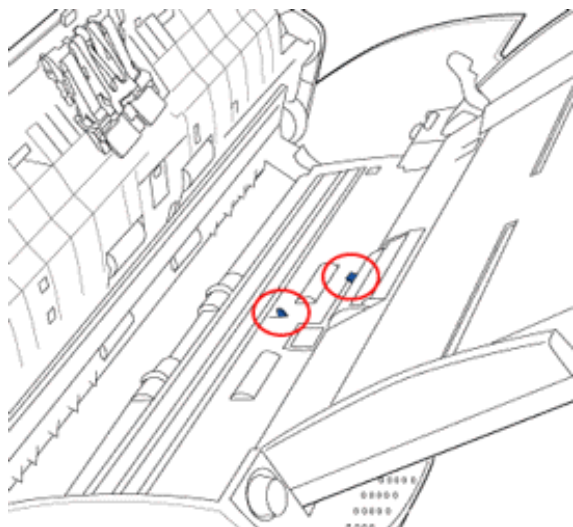


No.	名称
1	パッドユニット
2	フィードローラ (2個)
3	排出ローラ (2個)
4	ピックローラ (1個)
5	プラスチックローラ (4個)
6	ガラス (2箇所)
7	超音波センサー



注意

清掃の際は、布を原稿検知センサーに引っ掛けて破損しないように注意してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

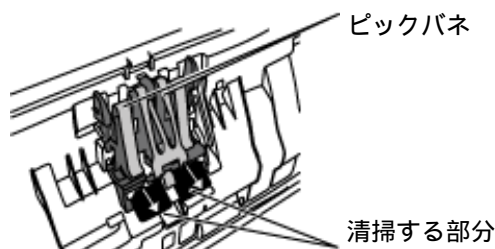
4.3 ADFを清掃します(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)



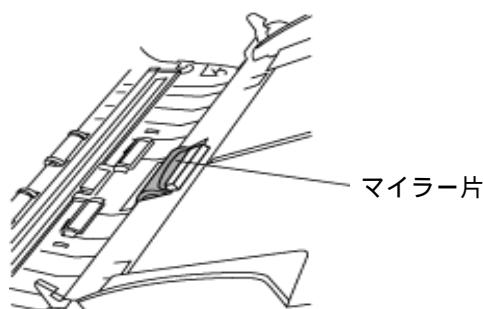
■ パッドユニット

上から下に向かって（矢印の方向）清掃します。このとき、ピックバネに引っかからないように注意してください。



■ ピックローラ

ローラの表面をいためないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分におこなってください。また、マイラー片（黒色）を傷つけないように注意してください。



■ プラスチックローラ

ローラの表面を荒らさないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分におこなってください。この時、プラスチックローラの横に取り付けてあるスポンジを傷めないように注意してください。

■ ガラス

軽く清掃します。



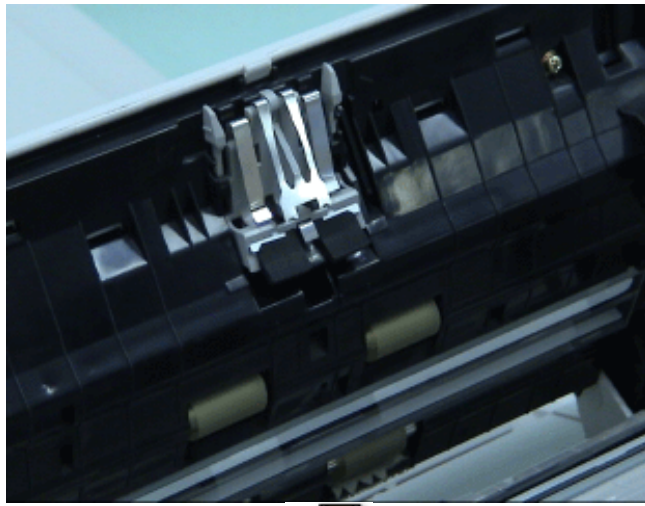
ヒント

ガラスが汚れていると、読み取った画像に黒い縦線が出る場合があります。

■ 超音波センサー

軽く清掃します。

パッドユニット、ピックローラ、プラスチックローラ及びガラスの清掃方法を以下の動画で確認できます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

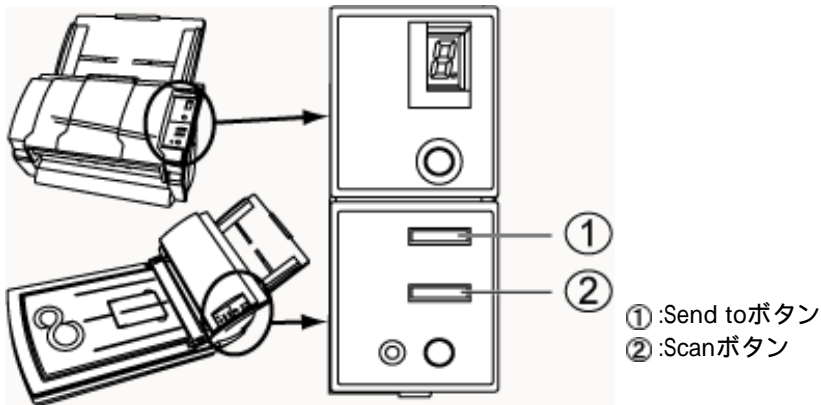
4.3 ADFを清掃します(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)

1 | 2 | 3 | 4

フィードローラ/排出ローラ

- 電源を入れた状態で、操作パネルの表示が「P」または「0」以外の表示のときにADFを開いてください。
なお、「P」や「0」の表示状態でADFのカバーを開き、操作2をおこなってもフィードローラ/排出ローラが回転しません。
- 操作パネルの「Send to」ボタンと「Scan」ボタンを同時に押し、一定量フィード/排出ローラが回転します。
- クリーナF1を浸した布をローラ表面に押し当て、ローラを回転させながらローラの表面を軽く清掃します。
特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分におこなってください。
なお、目安として、「Send to」ボタンと「Scan」ボタンを同時に7回押し、フィードローラ/排出ローラが1回転します。



注意

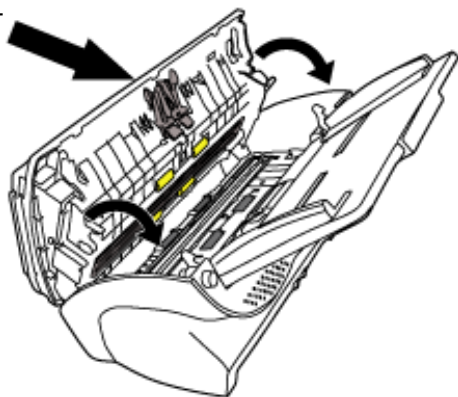
操作2. でローラを回転させると、フィードローラ及び排出ローラが同時に回転します。フィードローラまたは排出ローラを清掃する場合、回転中のローラに手が触れないように、注意してください。

フィードローラおよび排出ローラの清掃方法を以下の動画で確認できます。



1. ADFの中央を押して、元の位置に戻し、ADFボタンをロックします。

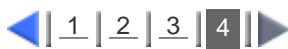
中央部を押す



注記



元の位置に戻したときに、ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第5章 消耗品を交換します

[前ページ](#) [次ページ](#)

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。

この章では、Windows XP の画面を例に説明しています。

お使いのOSによって、表示される画面および操作が多少異なります。

また、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバ、およびFUJITSU ISIS スキャナドライバをアップデートすると、この章で記載している画面、および操作が多少異なることがあります。

その場合は、アップデート時に提供される取扱説明書を参照してください。



注意



装置使用時はADF内部のガラスは高温になります。

消耗品の交換をおこなうときは、電源を切断し、ACアダプターをコンセントから抜いてから、15分以上待っておこなってください。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

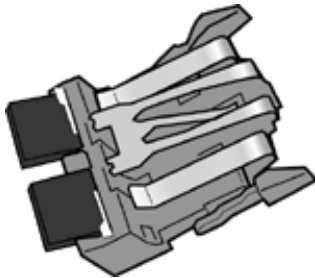

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.1 消耗品の番号と交換周期(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

以下に、消耗品の型名と交換周期の目安を示します。

品名	商品番号	交換周期(目安)
パッドユニット (PAD ASSY) 	0635630	5万枚または1年ごと
ピックローラ 	0961145	10万枚または1年ごと

交換周期は、A4原稿(64 g/m²)の上質紙、または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

**注記**

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 03-3342-5375

<http://www.coworco.fujitsu.com/op/options.htm>

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.1 消耗品の番号と交換周期(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

■ 消耗品の交換の目安

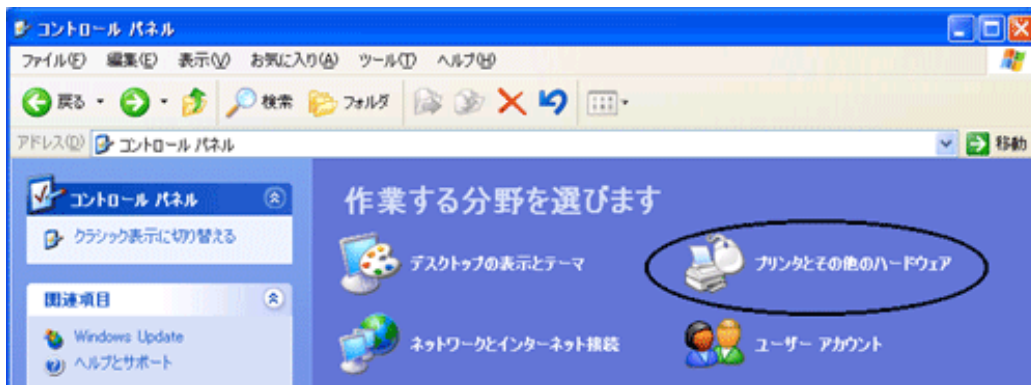
本装置では、消耗品の交換の目安、および使用回数を知ることができます。

● Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。

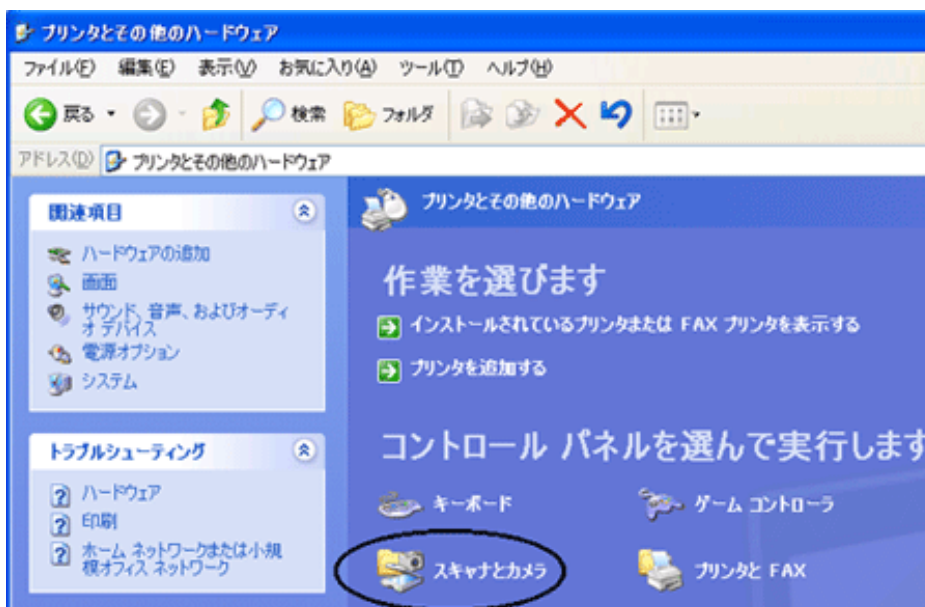
スキャナとパソコンの接続については、「fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します」を参照してください。

2. ホストコンピュータのコントロールパネル内にある「プリンタとその他のハードウェア」のアイコンをダブルクリックします。

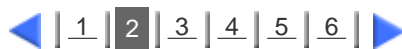


→ [プリンタとその他のハードウェア]の画面が表示されます。

3. [プリンタとその他のハードウェア]の画面で、「スキャナとカメラ」のアイコンをダブルクリックします。



→ [スキャナとカメラ]の画面が表示されます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

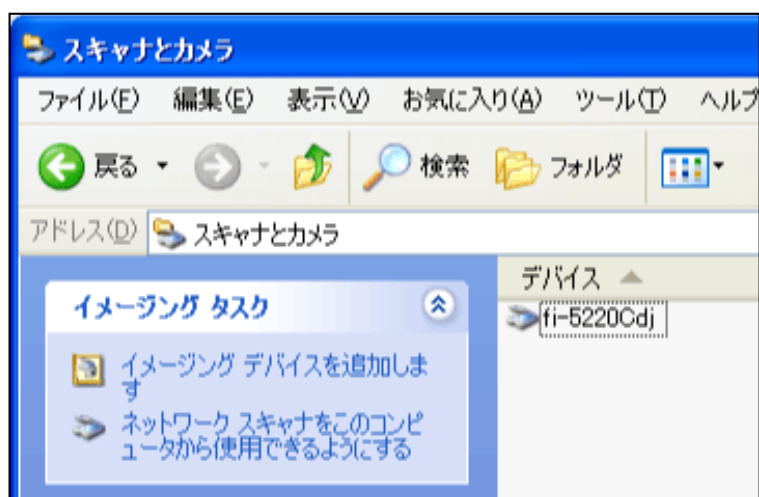
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.1 消耗品の番号と交換周期(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)

4. 「fi-5120Cdj(fi-5220Cdj)」のアイコンを右クリックしてプロパティを選択 (Windows Me, Windows XPの場合)、あるいはダブルクリック (Windows 98, Windows 2000の場合) します。



- fi-5120C または fi-5220Cのプロパティダイアログボックスが表示されます。



[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | [5](#) | [6](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

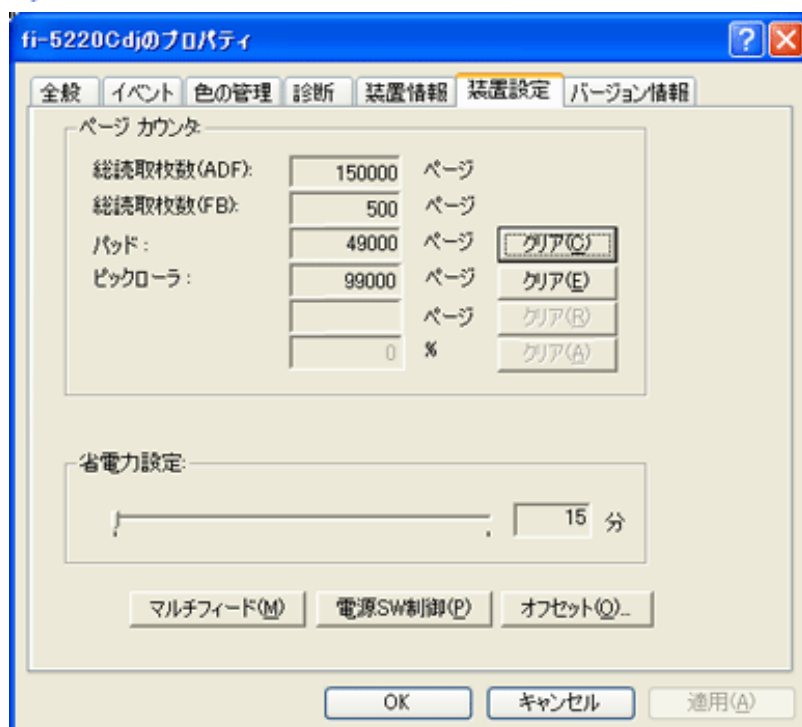
5.1 消耗品の番号と交換周期(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **4** | [5](#) | [6](#)

5. 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



この画面で、以下のことが確認できます。

総読み取り枚数

パッドカウンタ (パッドユニットを交換してから読み取った、原稿の概算枚数)

ピックアップカウンタ (ピックアップを交換してから読み取った、原稿の概算枚数)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **4** | [5](#) | [6](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.1 消耗品の番号と交換周期(5)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | **5** | [6](#)

● Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。

スキャナとパソコンの接続については、"fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1 スキャナを設置します" を参照してください。

2. タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして「オプション」を選択します。

3. 「装置設定」タグをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



この画面で、以下のことが確認できます。

総読み取り枚数

パッドカウンタ (パッドユニットを交換してから読み取った、原稿の概算枚数)

ピックアップカウンタ (ピックアップローラを交換してから読み取った、原稿の概算枚数)

[1](#) | [2](#) | [3](#) | [4](#) | **5** | [6](#)



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

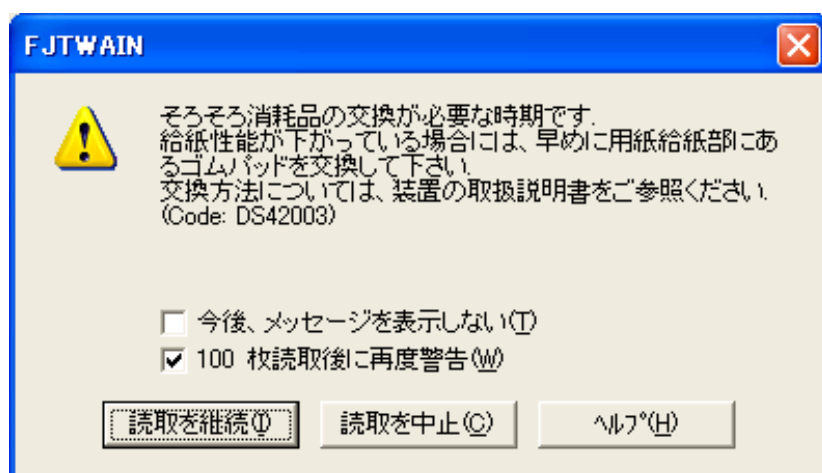
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.1 消耗品の番号と交換周期(6)

[前ページ](#) [次ページ](#)



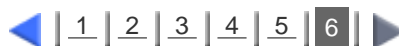
なお、スキャナを使用していると、以下のようなメッセージが表示されることがあります。



このメッセージが表示されたら、消耗品を交換してください。

[読取を継続]ボタンを押すと、このメッセージが消え読み取りが続けられます。なるべく早い内にメッセージに表示された消耗品を交換してください。通常(デフォルト設定)の場合100枚読取後に再度このメッセージが表示されます。このメッセージを次の消耗品交換まで表示したくない場合は[今後、メッセージを表示しない]をチェックします。読取を中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止]ボタンを押します。

消耗品の交換は以下を参照してください。
 パッドユニット: 「[5.2 パッドユニットを交換します](#)」
 ピックローラ: 「[5.3 ピックローラを交換します](#)」



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

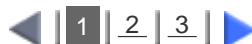


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.2 パッドユニットを交換します(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



1. ADF給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADFボタンを押しながらADFカバーを前面側に倒して、ADFを開きます。

**注意**

ADFが開まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. パッドユニットをスキャナから取り外します。

パッドユニットの両端のツマミを押して、上にずらしながら手前に引きます。

4. 新しいパッドユニットを取り付けます。

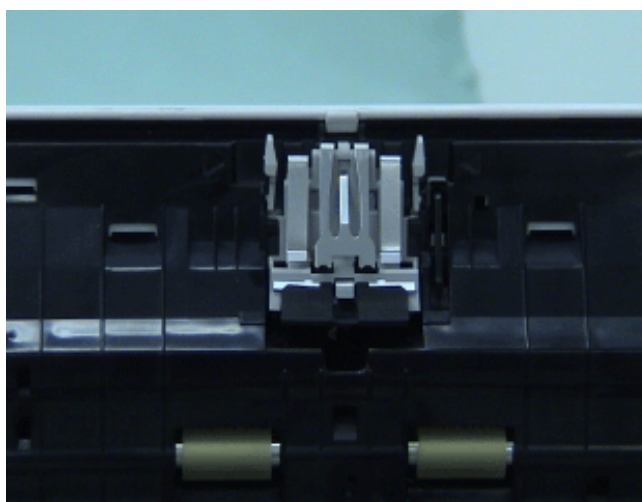
パッドユニットの両端を持ち、元の位置に取り付けます。
このとき、金属部分に手を引っ掛けないように注意してください。

**注記**

パッドユニットが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

5. ADFを閉じます。

→ カチンという音がします。
 以下の動画でパッドユニットの交換方法を確認できます。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.2 パッドユニットを交換します(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)

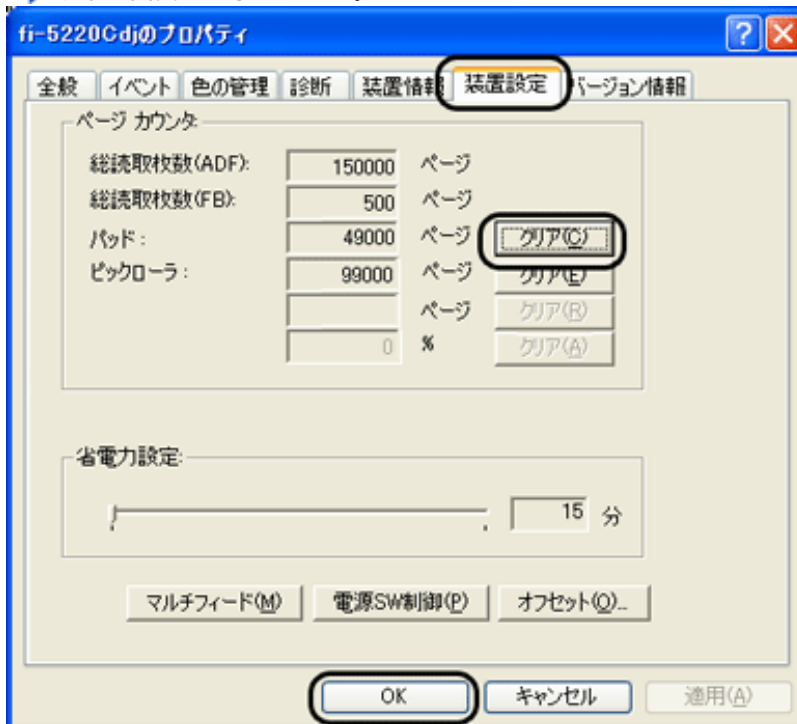
[1](#) | [2](#) | [3](#)

6. パッドカウンタをリセットします。

● Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

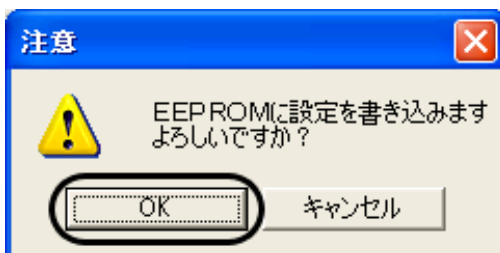
- ① スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
- ② ホストコンピュータのコントロールパネル内より、[スキャナとカメラ] を選択します。
- ③ [fi-5120Cdj] のプロパティを開きます。
- ④ [fi-5120Cdjのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- ⑤ 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



- ⑥ 「ページカウンタ」内の「パッド」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

[1](#) | [2](#) | [3](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.2 パッドユニットを交換します(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

[1](#) | [2](#) | [3](#)

● Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

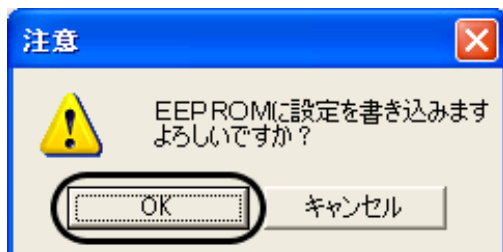
- ① スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
- ② タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして「オプション」を選択します。
- ③ 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



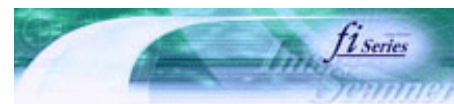
- ④ 「ページカウンタ」内の「パッド」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

[1](#) | [2](#) | [3](#)

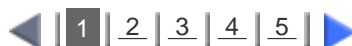


[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

5.3 ピックローラを交換します(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



1. ADF給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. ADF給紙シュートを取り外します。
3. ADFボタンを押しながらADFカバーを前面側に倒して、ADFを開きます。

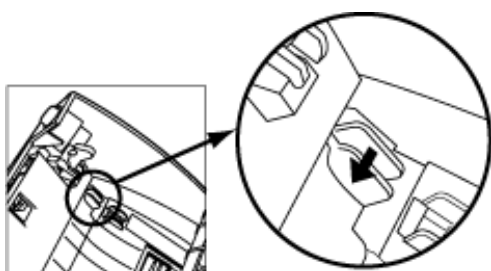


注意

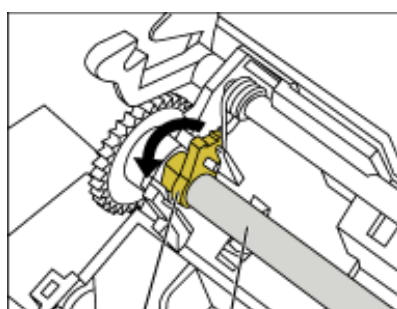
ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

4. ピックローラをスキャナから取り外します。

1. シートガイドのツメをつまんで上に持ち上げながら、シートガイドを取り外します。



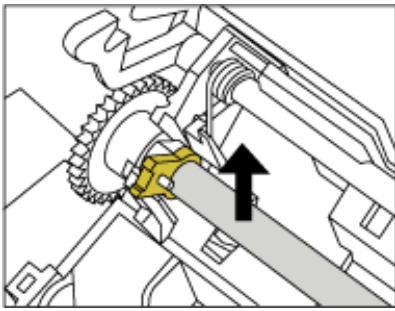
2. ピックローラ軸受けを、矢印の方向に回転させます。



①:軸受け ②:ピックローラ軸

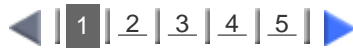
① ②

3. 矢印の方向に持ち上げながら取り外します。



注意

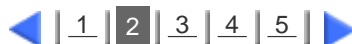
ピックローラ軸受けは堅いため、指の爪でピック軸受けを回転させることはおやめください。指でうまく回転させることができない場合は、クリップなどを使って回転させてください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

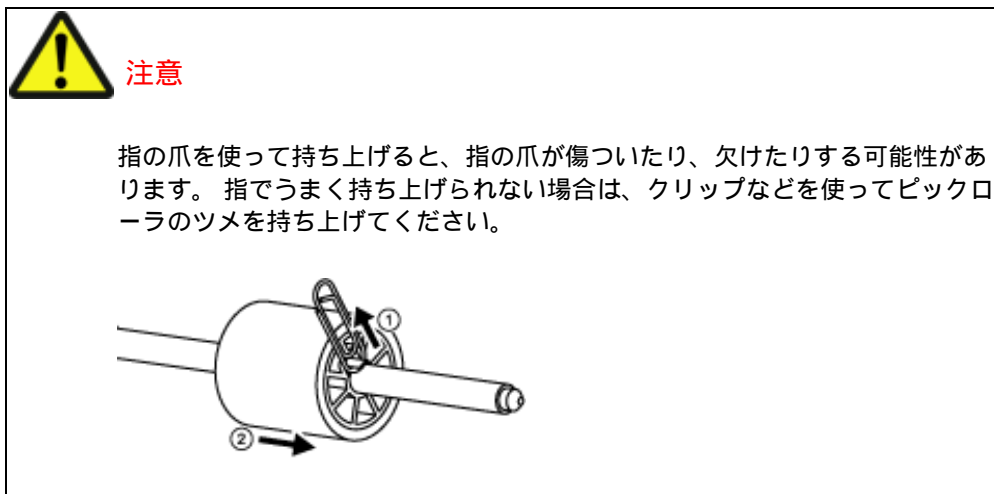
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

5.3 ピックローラを交換します(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)


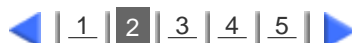
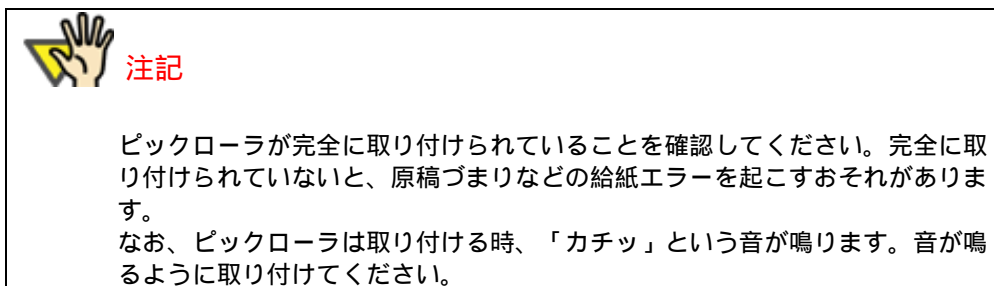
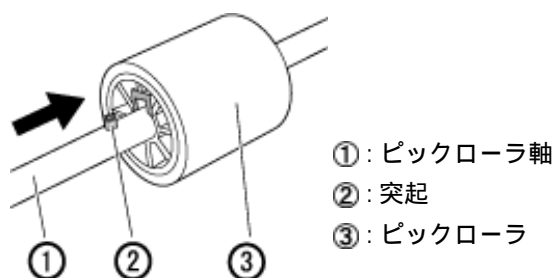
5. ピックローラを、軸からはずします。

ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックローラを軸から取り外します。



6. 新しいピックローラを、軸に取り付けます。

軸の突起部分をピックローラの溝にはめ込みます。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.3 ピックローラを交換します(3)

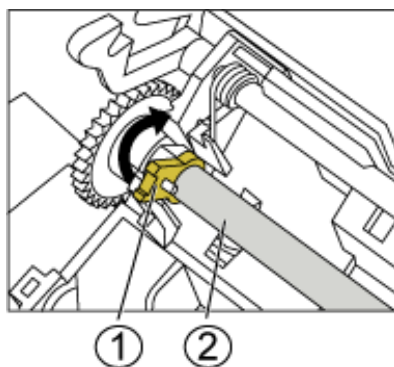
[前ページ](#) [次ページ](#)



7. ピックローラをスキャナに取り付けます。

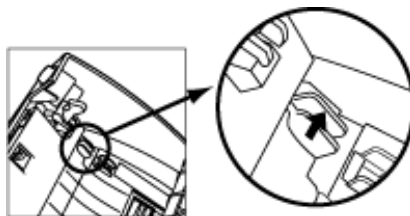
ピックローラをスキャナに取り付けるには、ピックローラをスキャナから取り外した手順の逆の手順で行います。

1. ピックローラ軸受けを、矢印の方向に回転させます。



①:軸受け ②:ピックローラ軸

2. シートガイドのツメを矢印の方向に動かしてシートガイドを固定します。

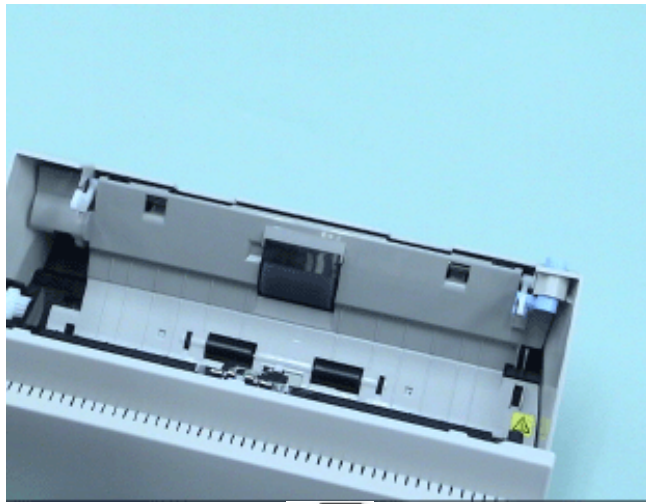


8. ADFを閉じます。

→ カチンという音がします。

9. ADF給紙シュートを取り付けます。

以下の動画でピックローラの交換方法を確認できます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

5.3 ピックローラを交換します(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)

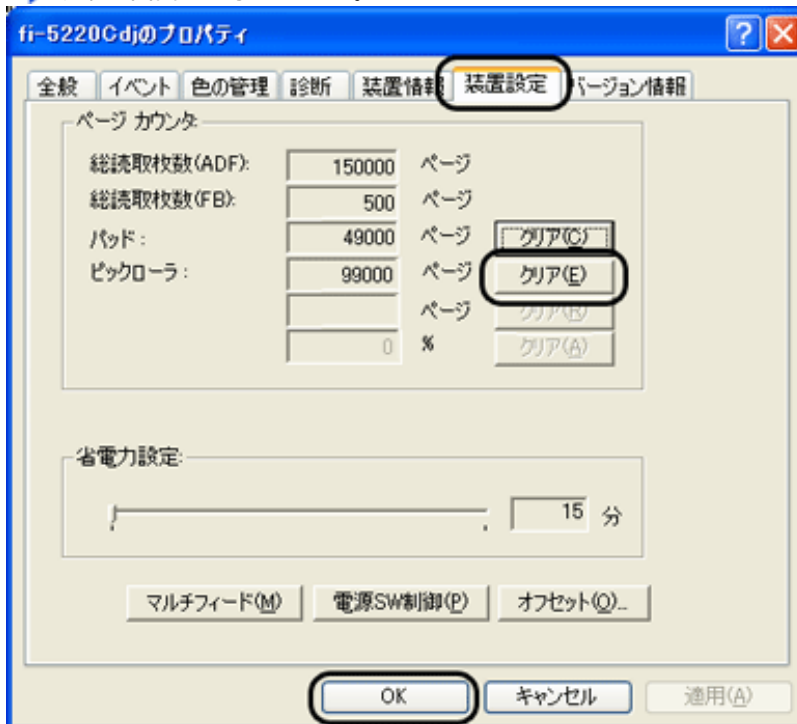
[1](#) | [2](#) | [3](#) | **[4](#)** | [5](#)

10. ピックローラカウンタをリセットします。

● Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

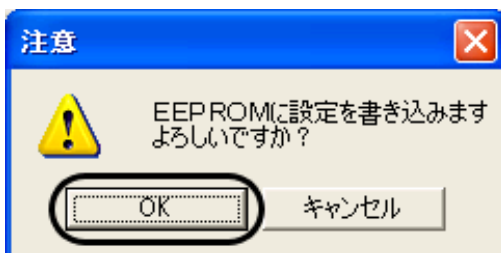
- ① スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
- ② ホストコンピュータのコントロールパネル内より、[スキャナとカメラ] を選択します。
- ③ [fi-5120Cdj] のプロパティを開きます。
- ④ [fi-5120Cdjのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- ⑤ 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



- ⑥ 「ページカウンタ」内の「ピックアップ」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。

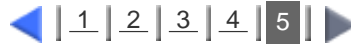


[OK]ボタンをクリックします。
これでカウンタが0に戻ります。

[1](#) | [2](#) | [3](#) | **[4](#)** | [5](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

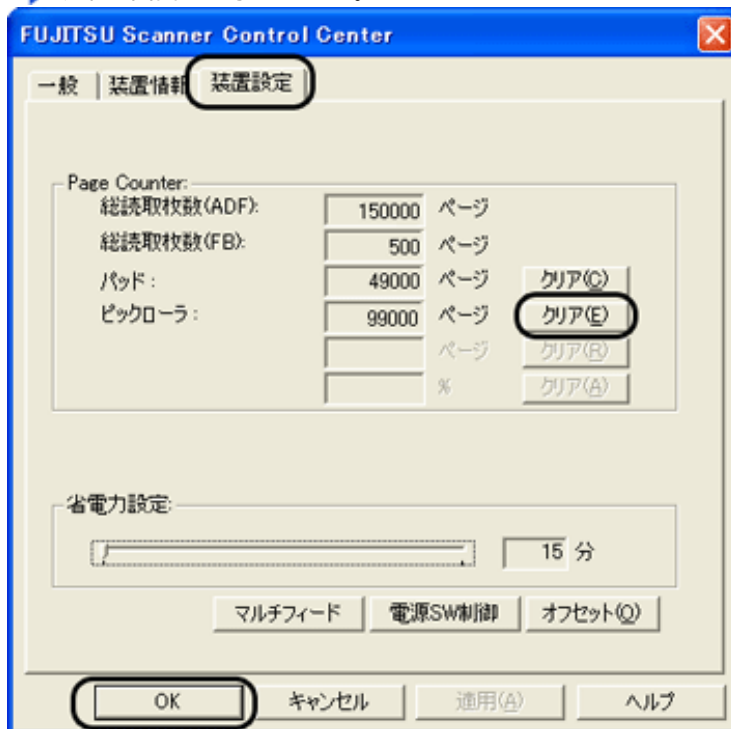
5.3 ピックローラを交換します(5)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


● Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

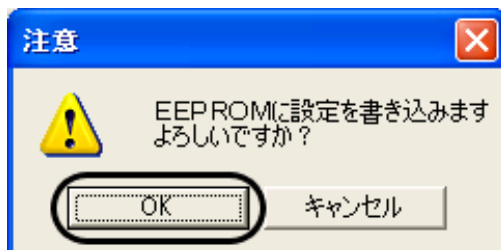
- ① スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
- ② タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして「オプション」を選択します。
- ③ 「装置設定」タブをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。

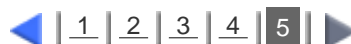


- ④ 「ページカウンタ」内の「ピックアップローラ」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。

→ 以下の画面が表示されます。



[OK]ボタンをクリックします。
これでカウンタが0に戻ります。





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第6章 困ったときには

[前ページ](#)[次ページ](#)

この章では、原稿づくりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置レベルの確認方法について説明します。



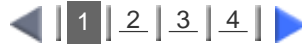
注記

記載されている内容以外のトラブル、およびエラーの詳細については、FUJITSU TWAIN32スキャナドライバのヘルプを参照してください。

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.1 原稿づまりが発生したときは(1)

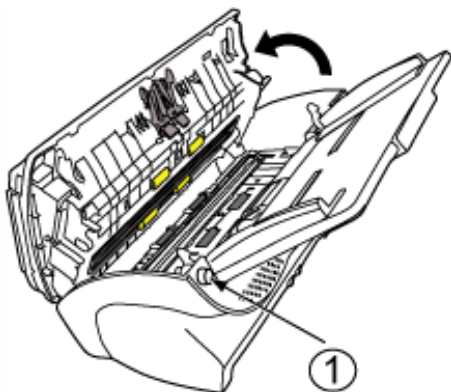
[前ページ](#)[次ページ](#)

原稿がつまった場合は、以下の要領で原稿を取り除いてください。

**注意**

つまった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
 つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
 ガラスが高温になっている場合があります。やけどをしないように注意してください。

1. ADF給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。



①:ADFボタン

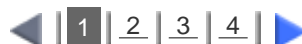
**注意**

ADFが閉まり、指などを挟むおそれがあります。ご注意ください。

3. つまっている原稿を取り除きます。

**注記**

ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
 また、読み取りをおこなう前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。
 つまった原稿を取り外すときに、金属部分を引っ張らないように注意してください。





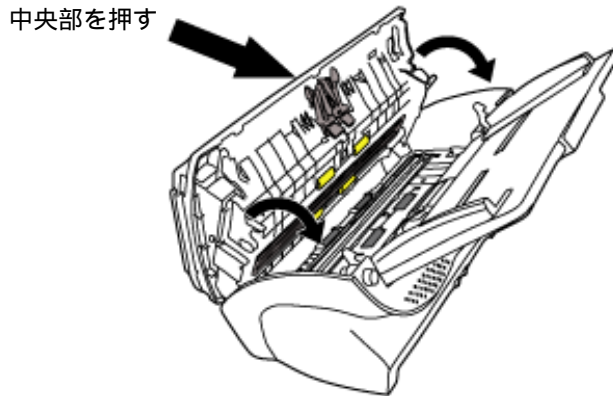
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.1 原稿づまりが発生したときは(2)

[前ページ](#)
[次ページ](#)


4. ADFの中央を押して元の位置に戻し、ADFボタンをロックします。

**注記**

ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。読み取り終了時もしくは読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿がADFの内部に残る場合があります。原稿がADF内部に残った場合は、以下手順にしたがって取り除いて下さい。

1. ADF給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。
2. ADFオープンレバーを手前に引いて、ADFを開きます。
3. 残っている原稿を取り除きます。
4. ADFを閉じます。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

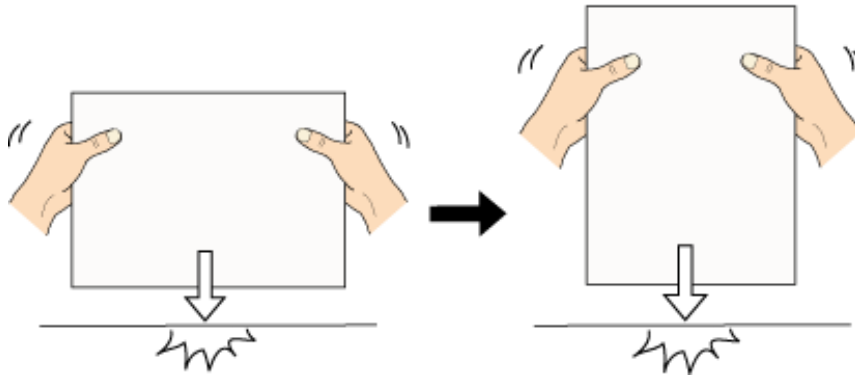
6.1 原稿づまりが発生したときは(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)

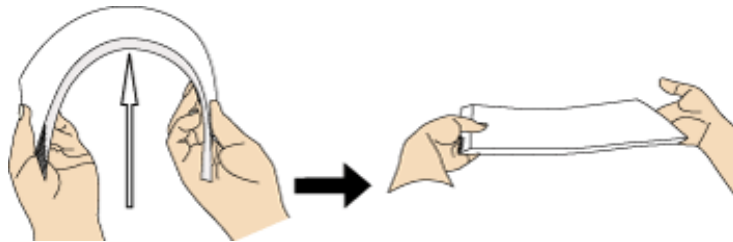


原稿づまりやマルチフィードが多発する場合は、以下の手順で原稿をセットしてください。

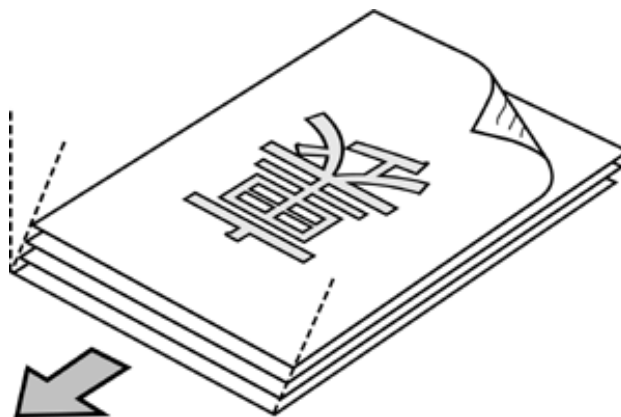
1. 原稿の先端をそろえます。



2. 原稿の先端と後端部分をつかみ、図のように湾曲させて後端部分を離します。



3. 図のように原稿の先端部分が少し斜めにずれた状態になります。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

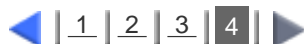


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

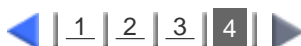
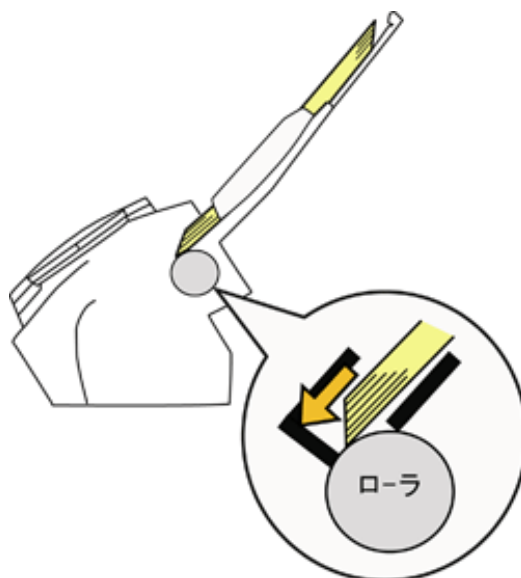
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.1 原稿づまりが発生したときは(4)

[前ページ](#) [次ページ](#)



4. 図のようにADF給紙シュートに原稿をセットします。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.2 操作パネルのエラー表示(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



スキャナにトラブルが発生すると、一時的なエラーの場合「U」と数字が、装置異常の場合「E」と数字それぞれ交互にが、操作パネルに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。

お使いのパソコンにError Recovery Guideがインストールされている場合、Windowsの起動と同時にError Recovery Guideのウィンドウが表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guideの画面に表示されます。画面に表示される情報を書き留めて、[詳細]ボタンを押し、対処方法を確認してください。

■ 一時的エラー :

表示	項目	対処法
U0	輸送ロックエラー (fi-5220Cの場合)	輸送ロックスイッチを解除してください。輸送ロックスイッチの解除方法については、「fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイド 2.1スキャナを設置します」を参照してください。
U1	原稿づまりが発生しました。	つまった原稿を取り除いてください。原稿の取り除き方法については「6.1 原稿づまりが発生したときは」を参照してください。続けて、読み取る原稿がADFでの読み取りに適しているかを確認してください。
U2	マルチフィードが発生しました。	詳細は、「第7章 ADFにセットする原稿について」を参照してください。
U4	読み取り中にADFカバーが開かれました。	ADFカバーを閉じてください。
U6	インプリンタ (fi-5120Cオプション) 用の プリントカートリッジがセットされていません。	インプリンタオプション (別売) 関連の一時的エラーです。詳細は、「fi-512PR インプリンタオペレーターガイド」を参照してください。

ヒント



Error Recovery Guide は、Setup CD-ROMに収録されています。アプリケーションソフトウェアをインストールするには、fi-5120C/fi-5220C スタートアップガイドの「2.3 ソフトウェアをインストールします」を参照してください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.2 操作パネルのエラー表示(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



■ 装置異常：

表示	項目	対処法
E0	フラットベッド部の走行系に異常が発生しました。	装置異常が発生した場合は、スキャナの電源を切ってから再び入れてください。この方法を試しても症状が改善されないときはご購入の販売店またはPFUイメージング サービス&サポートセンター にお問い合わせしてください。
E1	光学系（フラットベッド）に異常が発生しました。	
E2	光学系（表）に異常が発生しました。	
E3	光学系（裏）に異常が発生しました。	
E4	モーターヒューズが切断しました。	
E6	操作パネルに異常が発生しました。	
E7	装置内蔵メモリ（EEPROM）に異常が発生しました。	
E8	SCSIインターフェースヒューズが切断しました。	
E9	画像メモリにエラーが発生しました。	
EA	インプリンタに異常が発生しました。	
Ec	メモリにエラーが発生しました。	
Ed	SCSIインターフェース部のコントローラにエラーが発生しました。	
EF	裏あて切り替え機構に異常が発生しました。	



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#)
[次ページ](#)

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、"[6.4 サービスセンターに連絡する前に](#)"の各項目を確認して、ご購入の販売代理店、または"[PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)"にお問い合わせしてください。

- ▶ [電源が入らない。](#)
- ▶ [ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える。](#)
- ▶ [読み取りが開始されない。](#)
- ▶ [絵や写真の読み取り結果が良くない。](#)
- ▶ [文字や線の読み取り結果が良くない。](#)
- ▶ [画像がゆがむ、または鮮明でない。](#)
- ▶ [読み取った画像に縦線が出る。](#)
- ▶ [スキャナに電源が入った後で、ファンクションナンバーディスプレイに異常\(「E」またはその他の数字や文字\)が表示されている。](#)
- ▶ [マルチフィードが頻繁に起こる。](#)
- ▶ [原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。](#)
- ▶ [原稿づまりが頻繁に起こる。](#)
- ▶ [ADFに原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする。](#)
- ▶ [読み取った画像の先端に影がある。](#)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

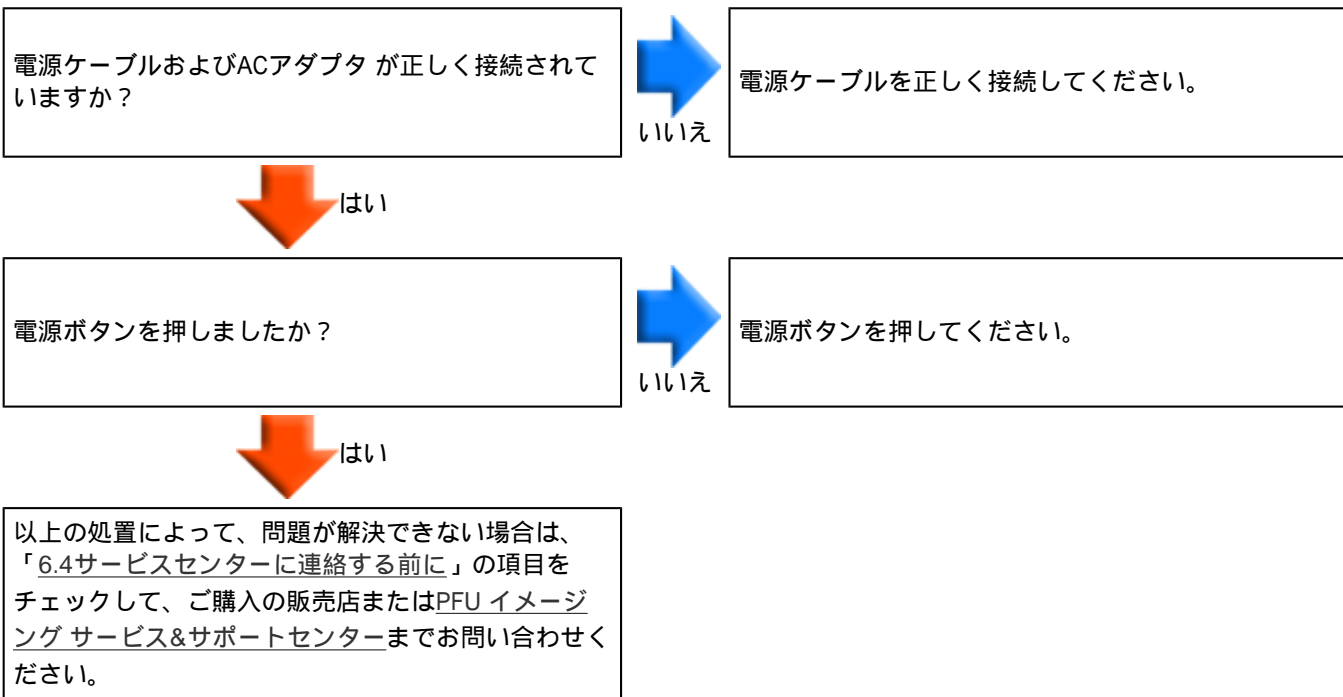
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#)[次ページ](#)

症状: 電源が入らない。

[← 一覧に戻る](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

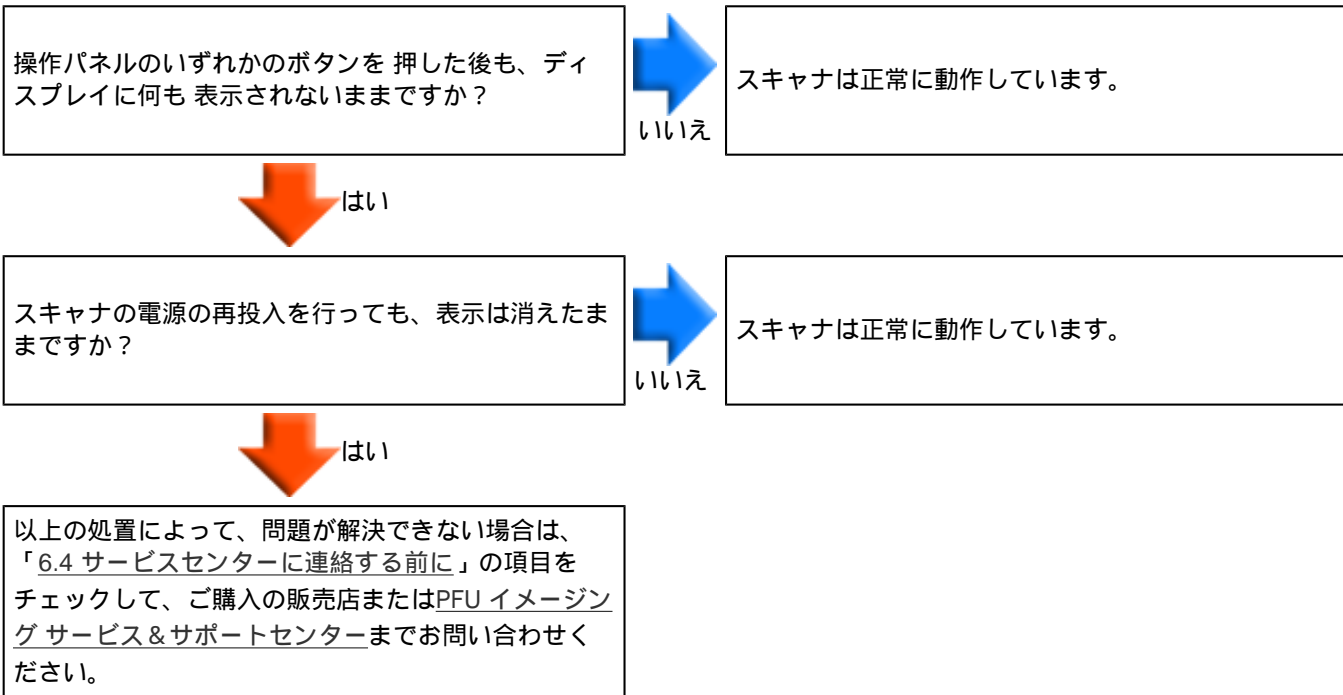
[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#)
[次ページ](#)

症状： ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える。

[← 一覧に戻る](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

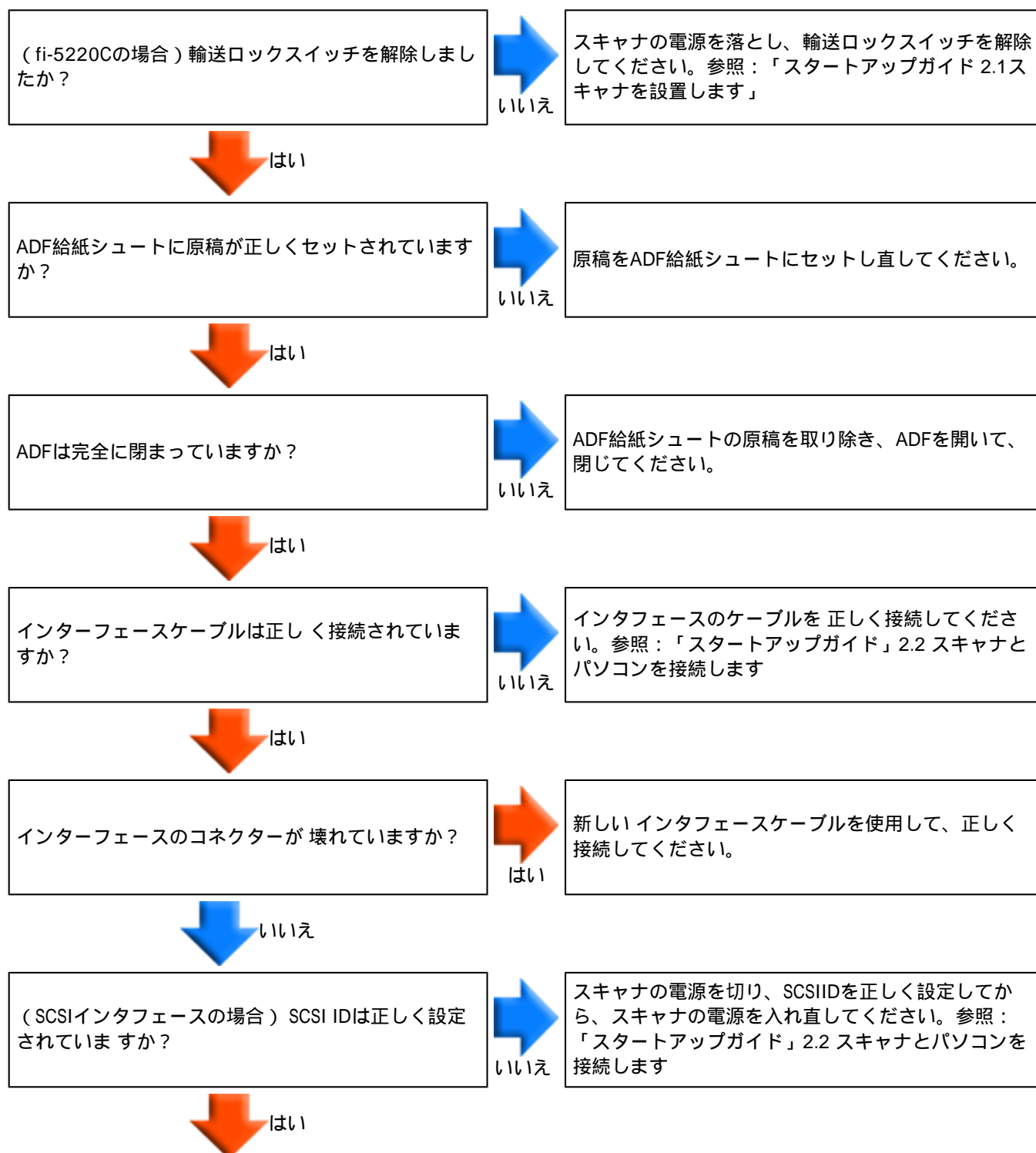
6.3 困ったときには

[前ページ](#)

[次ページ](#)

症状：読み取りが開始されない。

[←一覧に戻る](#)



スキャナを再起動した後も読み取りが開始されませんか？



いいえ

スキャナは正常に作動しています。



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、
「6.4 サービスセンターに連絡する前に」の項目を
チェックして、ご購入の販売店またはPFU イメージン
グ サービス&サポートセンターまでお問い合わせく
ださい。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

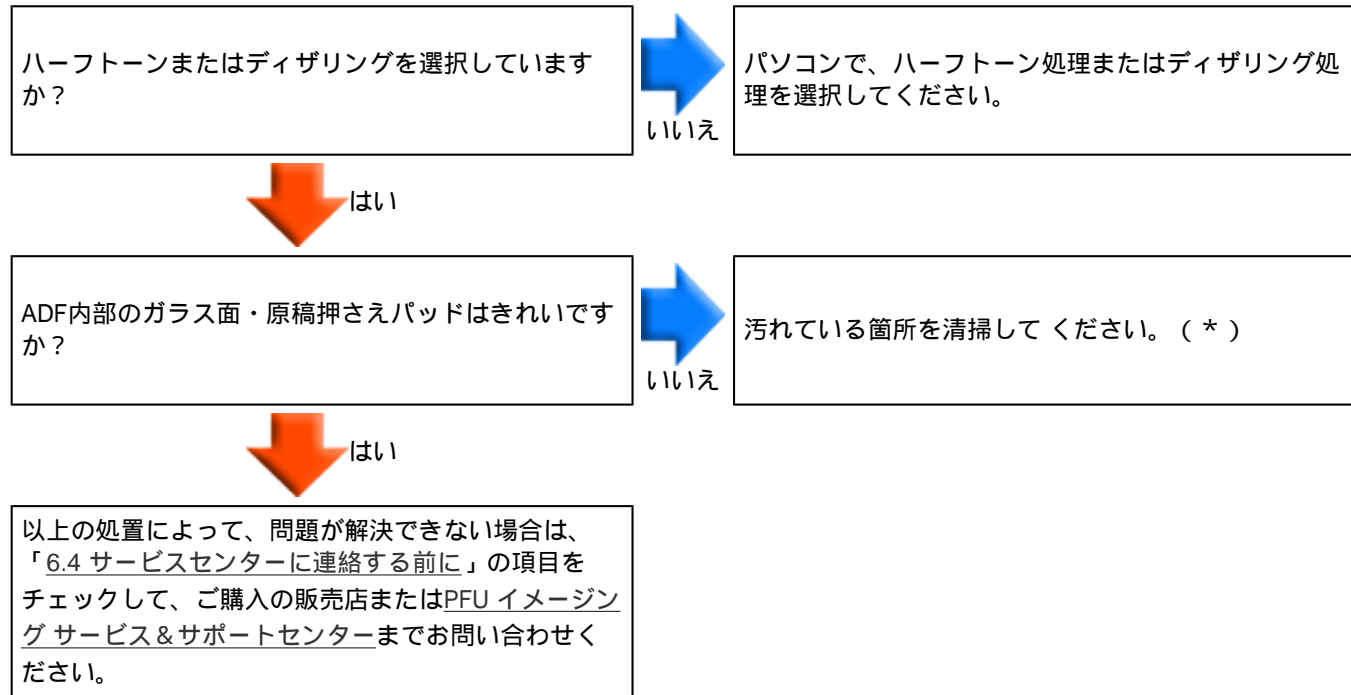
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#) [次ページ](#)

症状：絵や写真の読み取り結果が良くない。

[← 一覧に戻る](#)



*) 汚れている箇所の清掃方法については、「第4章 日常のお手入れ」を参照してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#) [次ページ](#)

症状：文字や線の読み取り結果が良くない。

[← 一覧に戻る](#)

ADF内部のガラス面・原稿押さえパッドはきれいですか？



いいえ

汚れている箇所を清掃してください。（*）



はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「6.4 サービスセンターに連絡する前に」の項目をチェックして、ご購入の販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

*) 汚れている箇所の清掃方法については、「第4章 日常のお手入れ」を参照してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

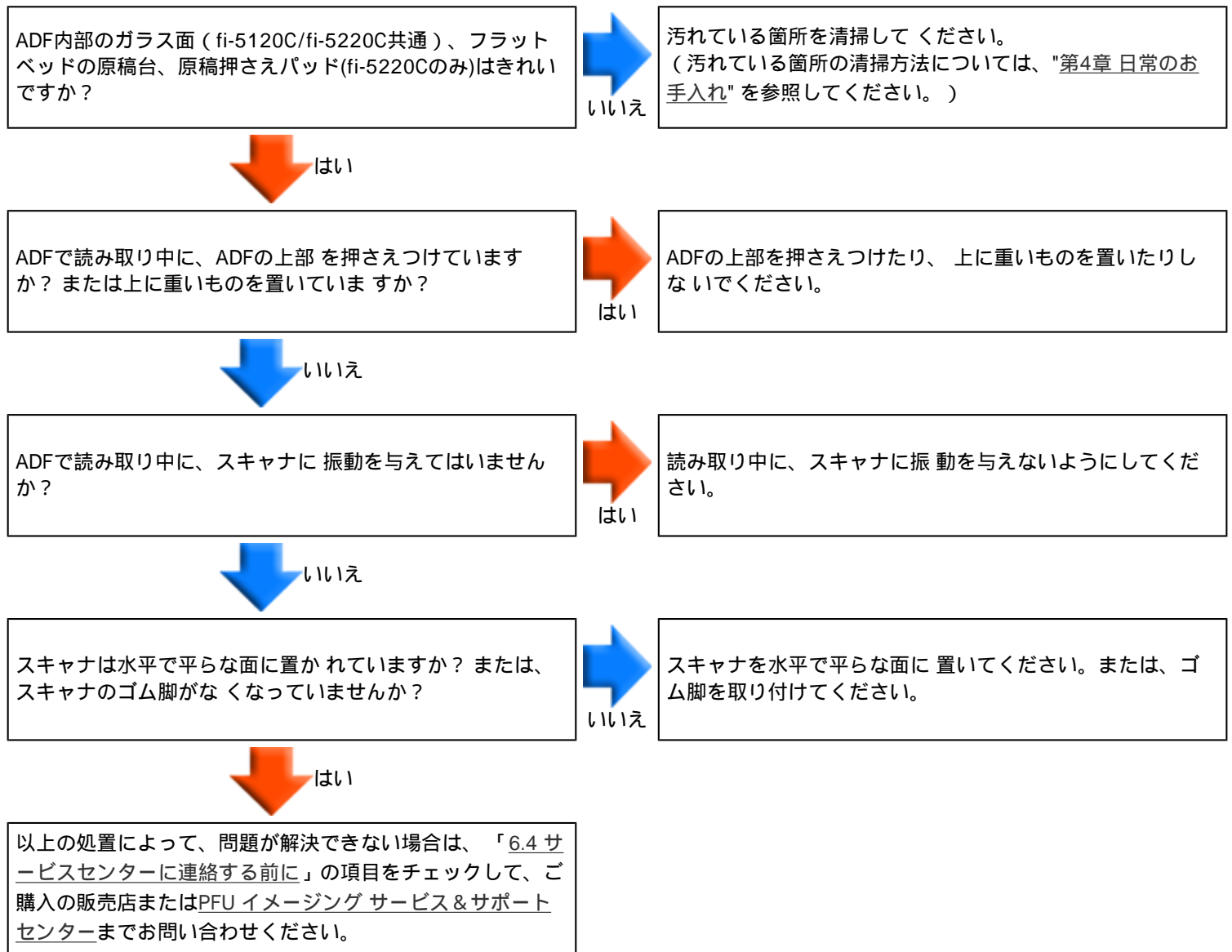
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#) [次ページ](#)

症状：画像がゆがむ、または鮮明でない。

[←一覧に戻る](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

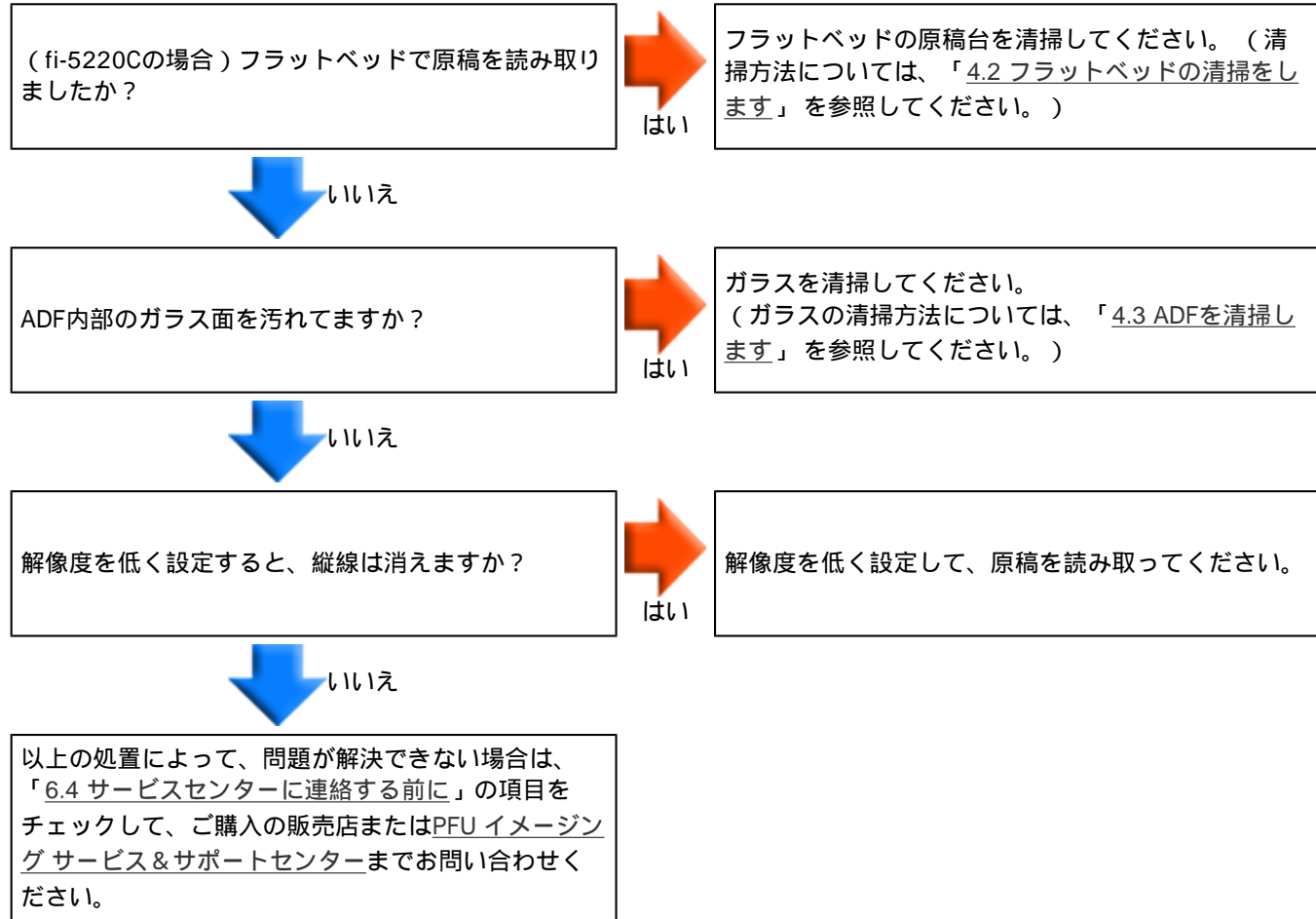
6.3 困ったときには

[前ページ](#)

[次ページ](#)

症状：読み取った画像に縦線が出る。

[←一覧に戻る](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

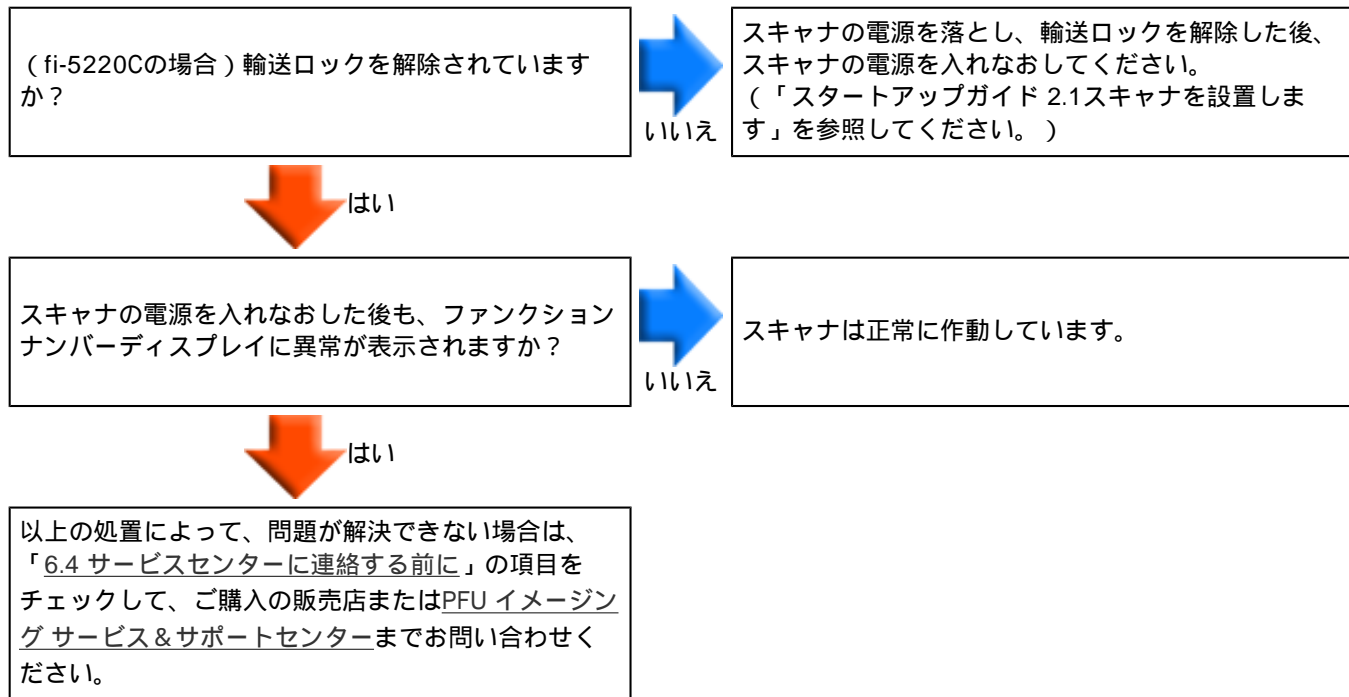
[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#)[次ページ](#)

症状：スキャナに電源が入った後で、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字）が表示されている。

[← 一覧に戻る](#)



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

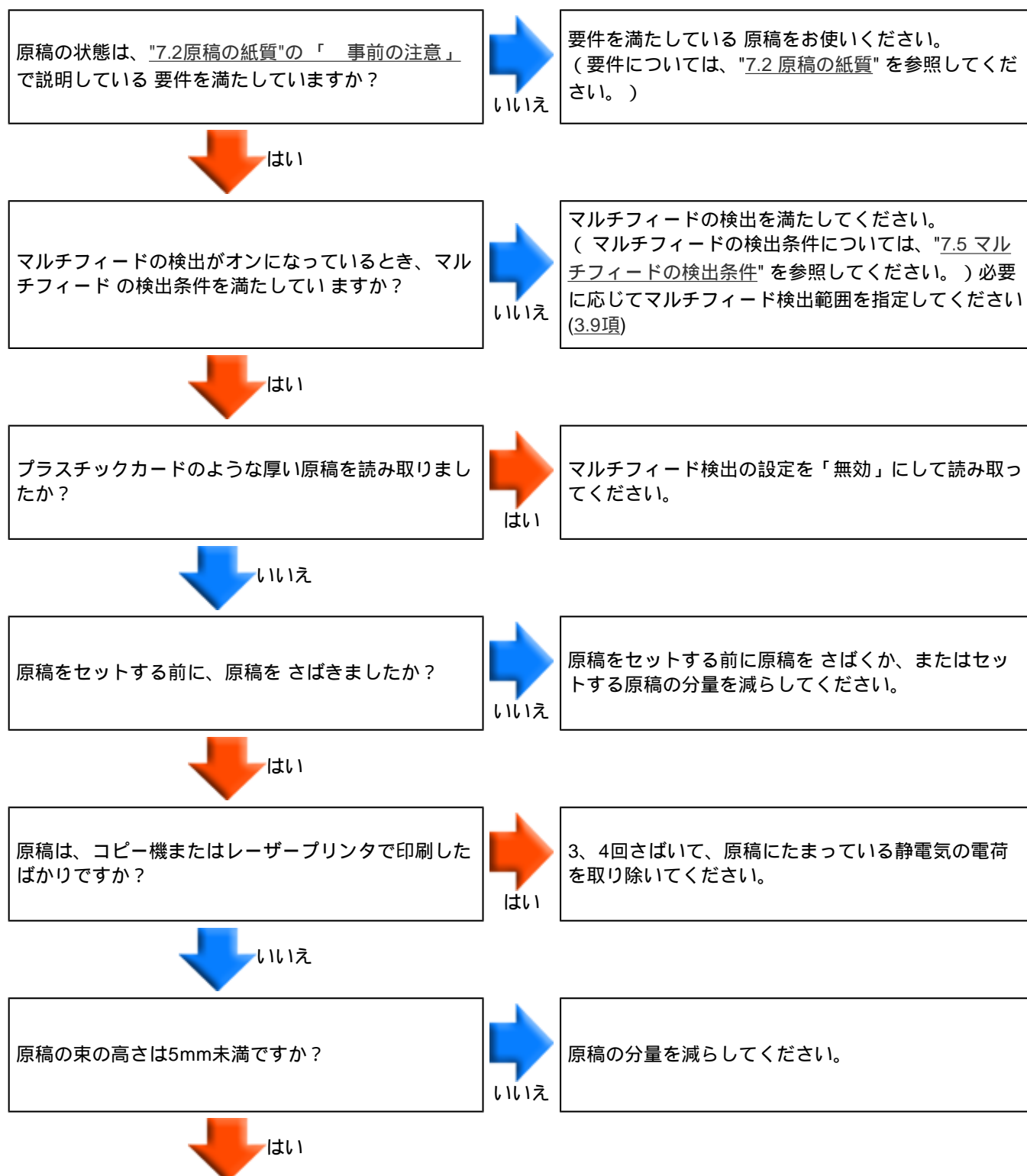
6.3 困ったときには

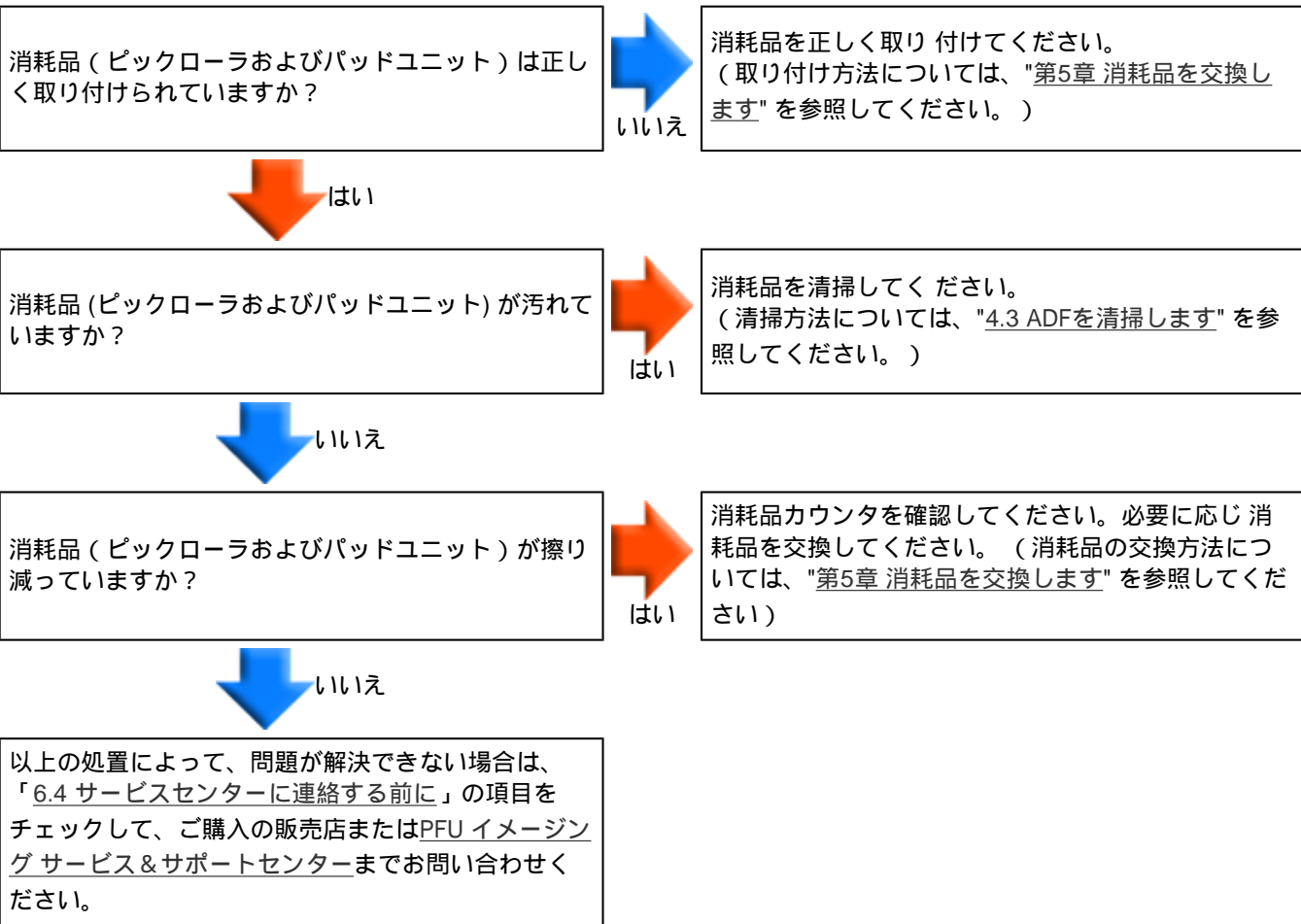
[前ページ](#)

[次ページ](#)

症状：マルチフィードが頻繁に起こる。

[← 一覧に戻る](#)







PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

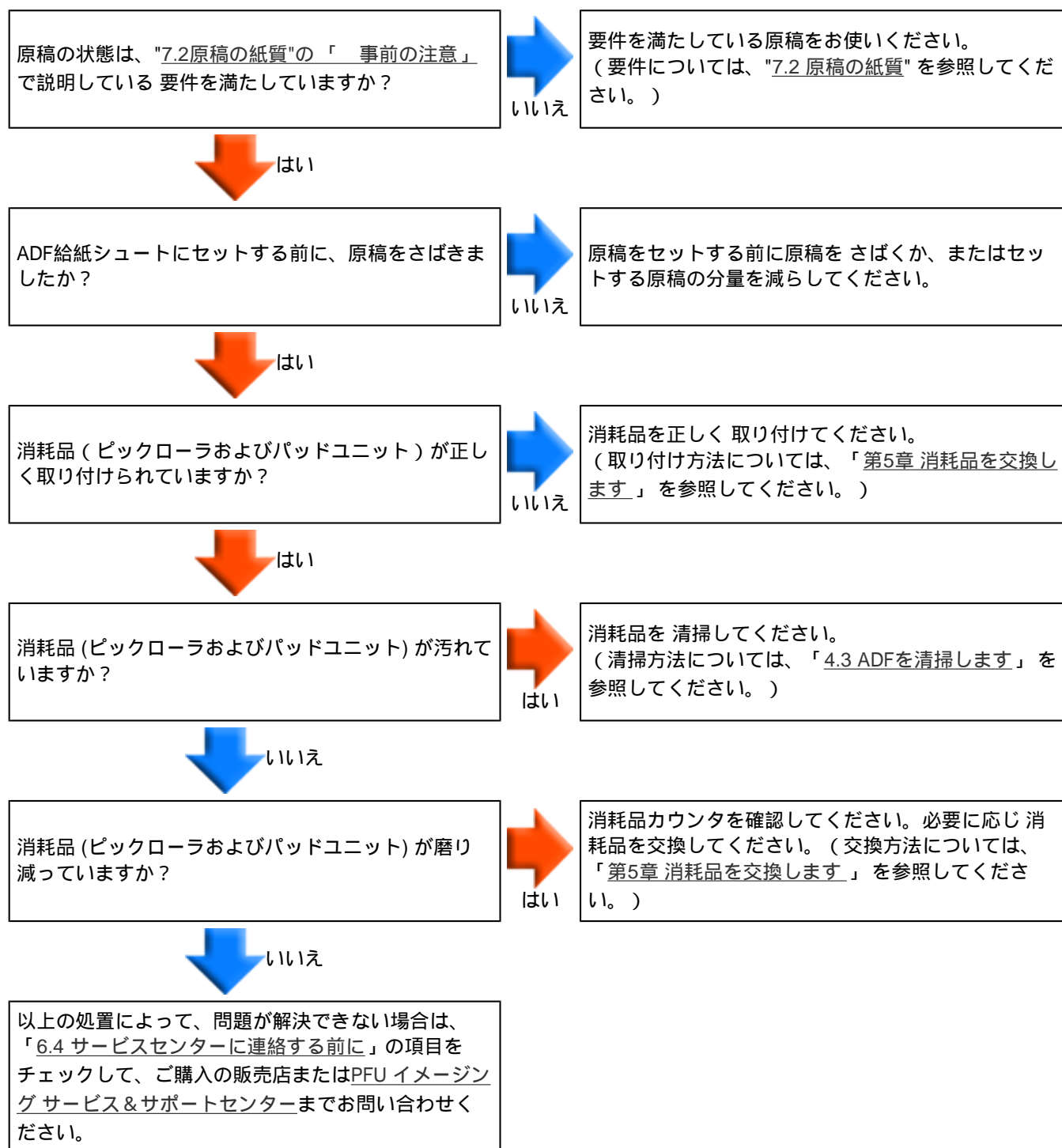
[TOP](#)

6.3 困ったときには

[前ページ](#)
[次ページ](#)

症状：原稿がADFに送り込まれない状態が頻繁に起こる。

[← 一覧に戻る](#)





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

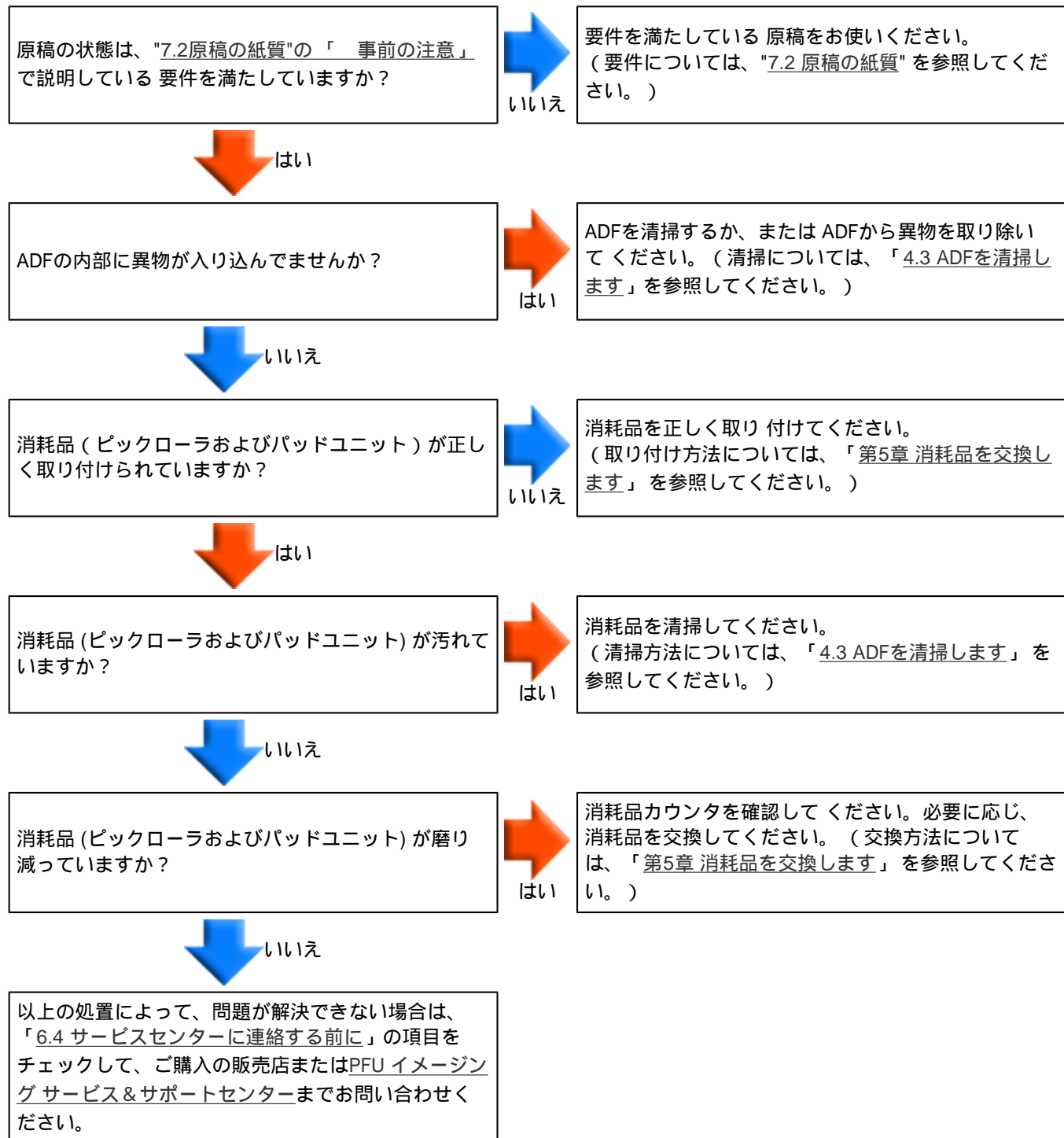
6.3 困ったときには

[前ページ](#)

[次ページ](#)

症状：原稿づまりが頻繁に起こる。

[← 一覧に戻る](#)





PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

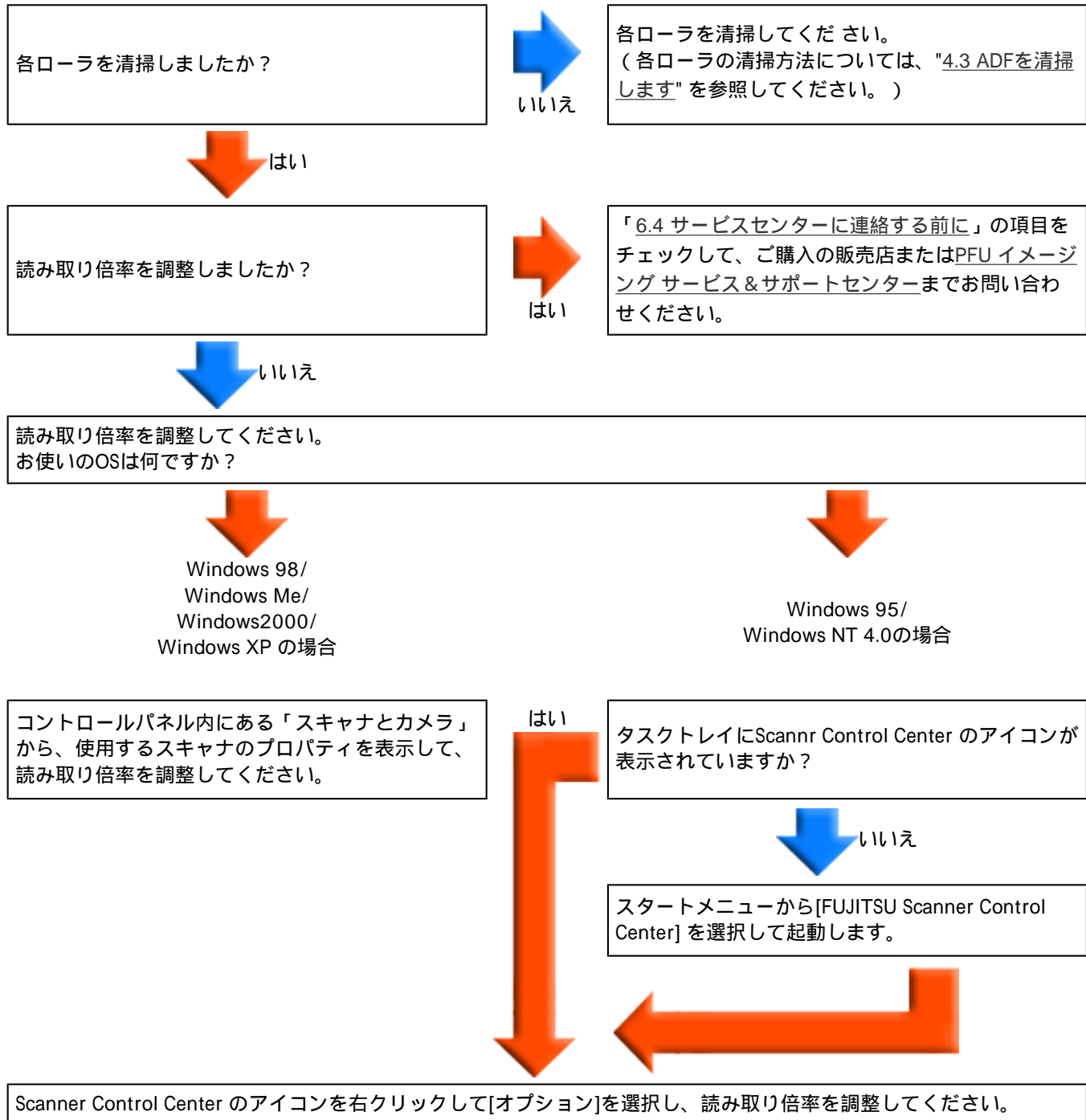
6.3 困ったときには

[前ページ](#)

[次ページ](#)

症状：ADFに原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする。

[←一覧に戻る](#)





トラブルシューティング
 コンテンツマップ
 修理・お問い合わせ

TOP

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

6.3 困ったときには

前ページ

次ページ

症状：読み取った画像の先端に影がある。

◀ 一覧に戻る

オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？



はい

「6.4 サービスセンターに連絡する前に」の項目をチェックして、ご購入の販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。



いいえ

オフセット調整をおこなってください。
 お使いのOSは何ですか？

Windows 98/
 Windows Me/
 Windows2000/
 Windows XP の場合

コントロールパネル内にある「スキャナとカメラ」から、使用するスキャナのプロパティを表示して、「副走査の設定」を調整してください。

Windows 95/
 Windows NT 4.0の場合

タスクトレイにScannr Control Center のアイコンが表示されていますか？



いいえ

スタートメニューから[FUJITSU Scanner Control Center] を選択して起動します。

Scanner Control Centerのアイコンを右クリックして[オプション]を選択し、「副走査の設定」を調整してください。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

6.4 サービスセンターに連絡する前に


[前ページ](#)

[次ページ](#)

当社のサービスセンター（PFUイメージング サービス & サポートセンター）に連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

概要

調べる項目	調査結果
装置名（モデル）	（例）fi-5120C 装置名については、「6.5 装置ラベルの確認」を参照してください。
製造番号（シリアルナンバー）	（例）000001 製造番号については、「6.5 装置ラベルの確認」を参照してください。
製造年月	年 月 2006-05（2006年5月） 製造年月日については、「6.5 装置ラベルの確認」を参照してください。
購入年月日	年 月
症状	
故障頻度	
総読み取りページ数 (ADF)	
保証書の有無	

 エラーの状況

パソコン接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
画面のエラー メッセージ	
インターフェ ースの種類	(例) SCSIインターフェース
インターフェ ースコントロ ーの種類	(例) Adaptec社製 SCSI Card 2940AU

搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	年 月
消耗品の交換年月日	年 月
操作パネルの状況	

画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラの種類	(例) Adaptec社製 SCSI Card 2940AU
OS (Windows)の種類	
アプリケーションソフトウェアの種類	(例) ScandAll 21, Acrobat

その他

調べる項目	調査結果
原稿と出力結果の両方を、Eメール、またはFaxで送ることは可能ですか？	

.....
All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

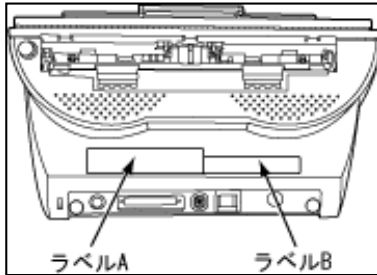
6.5 装置ラベルの確認

[前ページ](#)
[次ページ](#)

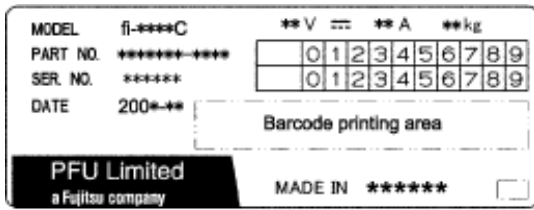
ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明します。

2つのラベルの位置

2つのラベルの位置を以下に示します。



ラベルA (例) : 装置の情報を示しています。



ラベルB (例) : 装置が適合する規格について示しています。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第7章 ADFにセットする原稿について

[前ページ](#)[次ページ](#)

この章では、ADFが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質について説明します。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

7.1 原稿のサイズ

[前ページ](#) [次ページ](#)

以下に、ADF で読み取り可能な原稿のサイズを示します。



最大		最小	
A	B	A	B
216	356	53	74

(単位：mm)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

7.2 原稿の紙質(1)

[前ページ](#)
[次ページ](#)

◀ | 1 | 2 | ▶

原稿の種類

用紙として推奨される用紙の種類は以下のとおりです。

上質紙
 中質紙

上記以外の種類の用紙を使用する時には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを少量の用紙で確認してください。

なお、フラットベッドではどんな種類の原稿でも使えます。

原稿の紙厚

紙厚は坪量と呼ばれる重さで表します。使用可能な坪量は以下のとおりです。

52 g/m² ~ 127 g/m²
 A8 サイズは127 g/m²のみ

事前の注意

以下の原稿はうまく読み取れない場合があります。

紙厚が一定していない原稿（封筒など）
 しわがよっていたり、カールしている原稿（ページ下のヒントを参照）
 折れたり、裂けたりしている原稿
 トレーシングペーパー
 コート紙
 カーボン紙
 ノーカーボン紙
 感光紙
 端にミシン目や穴あけのある原稿
 四角形でない原稿
 非常に薄い原稿

また、以下の原稿は使用しないで下さい。

クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
 インクが乾いていない原稿
 A8（縦置き）サイズよりも小さい原稿
 A4サイズやレターサイズの幅（216mm）より大きい原稿
 紙以外のもの：布、金属箔、OHP フィルム

ヒント



半透明の原稿を読み取る時は、「明るさ」を明るめに設定してください。
 ローラが汚れないようにするために、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。



注記

ノーカーボン紙は、パッドユニットや原稿を送るローラ類（ピックローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、以下のことに注意してください。

清掃：

原稿づまりが頻繁に起きるときは、パッドユニットとピックローラを清掃してください。

パッドユニットとピックローラの清掃方法については、「4章 日常のお手入れ」を参照してください。

部品の交換：

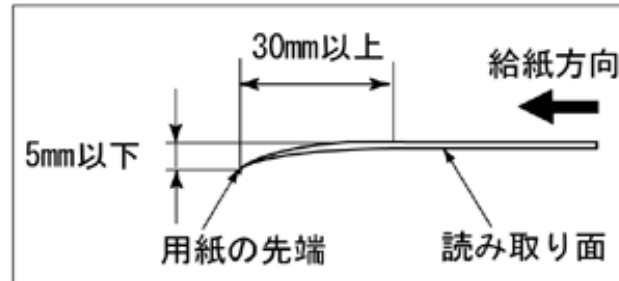
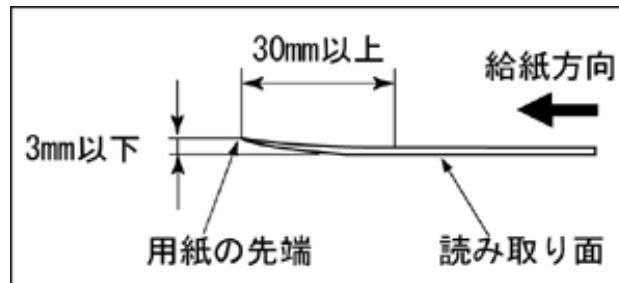
パッドユニットとピックローラの寿命は中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなるかもしれません。

中質紙の原稿を読み取った場合、パッドユニットとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。



ヒント

ADF を使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカーブは以下の数値を満たすようにしてください。



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

7.2 原稿の紙質(2)

前ページ

次ページ

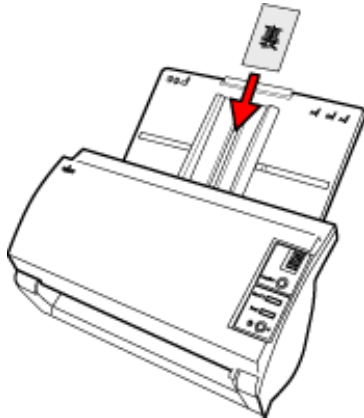
◀ | 1 | 2 | ▶

**注記**

プラスチックカードを読み取る場合は、以下のことに注意してください。

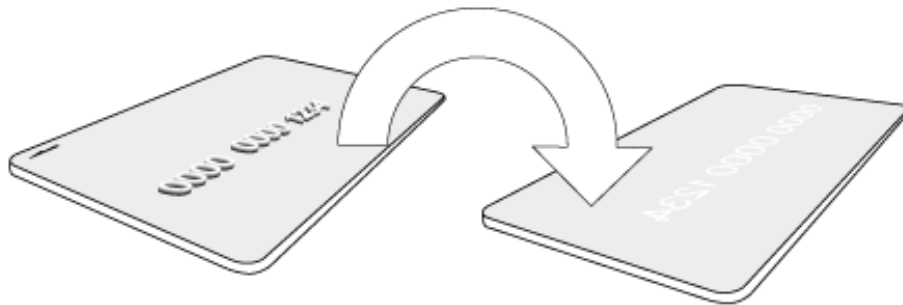
カードをADF給紙シュートに1枚ずつセットしてください。

カードは、図のように縦向き（ポートレート方向）にセットしてください。



カードの表面がADF給紙シュート側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。

カードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、エンボスの凸部がADF給紙シュート側（下向き）になるようにセットしてください。



以下の仕様のカードを使用してください。

ISO7810 ID-1タイプに準拠したカード

サイズ : 86(縦) x 54(横)mm

厚さ : 0.76 ± 0.08mm

素材 : ポリ塩化ビニル (PVC) またはポリ塩化酢酸ビニル (PVCA)

硬くて曲がりにくいカードは、うまく搬送されない場合があります。

カード表面が油（手の脂）などで汚れている場合は、汚れを拭き取ってから読み取ってください。

インプリンタを接続した場合は、プラスチックカードを読み取ることができません。

◀ | 1 | 2 | ▶



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

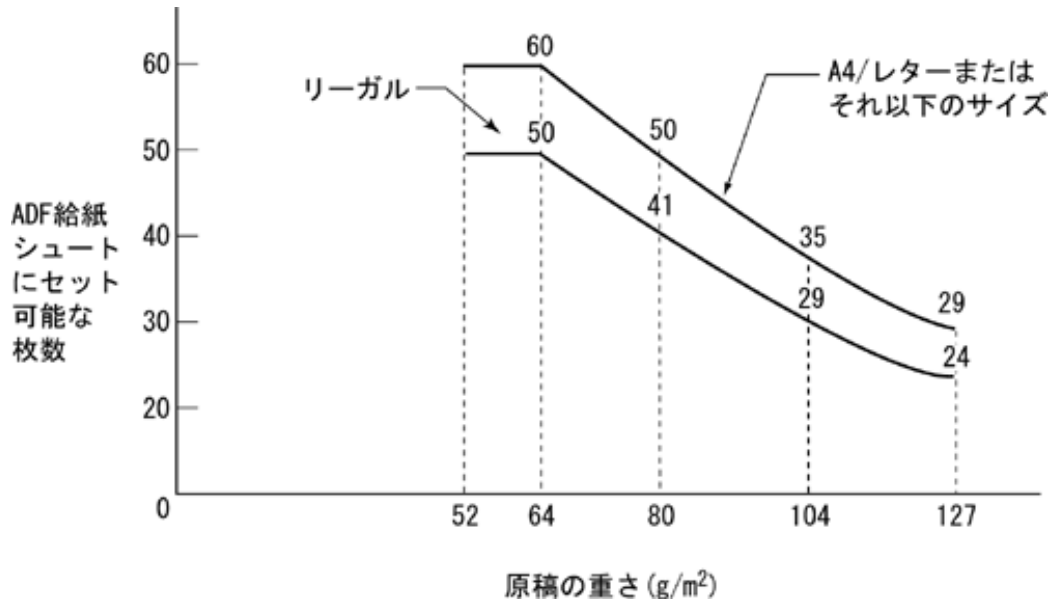
[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

7.3 セットできる原稿の枚数

[前ページ](#)
[次ページ](#)

ADF給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと重さで決まります。以下のグラフを参照してください。



重さの単位	変換表						
g/m ² (坪量)	52	64	75	80	90	104	127
lb	14	17	20	21	24	28	34
kg (連量)	45	55	64.5	69	77.5	90	110

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



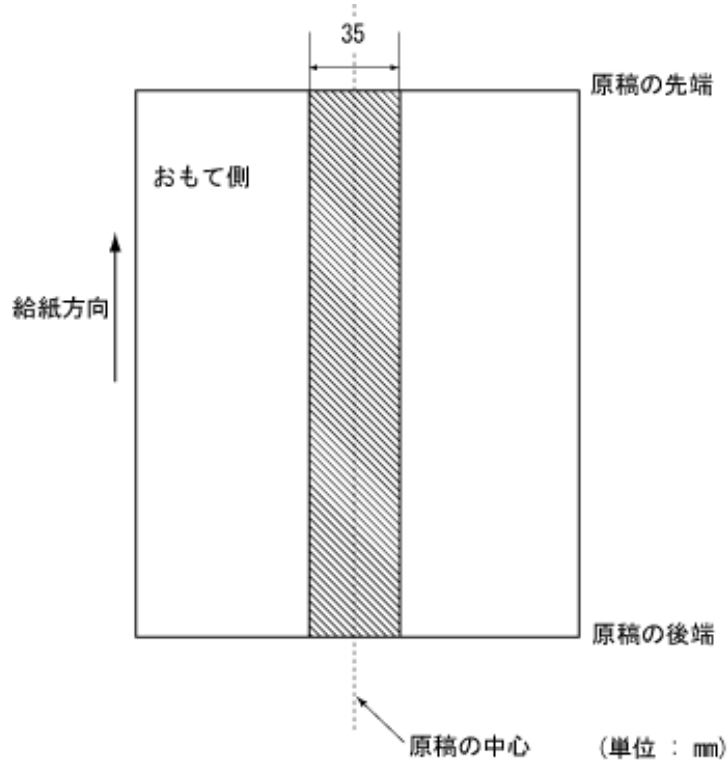
PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

7.4 穴をあけてはいけない領域

[前ページ](#) [次ページ](#)

ADFを使用する場合、以下の図の斜線の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。このような原稿を読まなければいけない時は、フラットベッド(fi-5220Cの場合)を使ってください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

7.5 マルチフィードの検出条件(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



マルチフィードの検出には原稿の厚さ、原稿の長さ、または原稿の厚さと長さの両方をチェックします。検出を正しくおこなうには以下の条件が必要です。

■ 原稿の重なりを検出する場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。)

原稿の厚さ：0.065 mm ~ 0.15 mm

原稿の中心線を挟む35 mm の領域には穴あけをしてはいけません。

原稿の中心を挟む35 mmの領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。

■ 原稿の長さを検出する場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。)

原稿の長さのばらつき：1%、またはそれ以下

原稿の中心線を挟む35 mm の領域には穴あけをしてはいけません。

■ 原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

(ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さ、および長さは同じものを使用してください。)

原稿の厚さ：0.065 mm ~ 0.15 mm

原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下

原稿の中心線を挟む35 mm の領域には穴あけをしてはいけません。

原稿の中心を挟む35 mmの領域には、のりなどで他の原稿を貼り付けてはいけません。

注記



原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を使用すると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。

このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

7.5 マルチフィードの検出条件(2)

[前ページ](#)

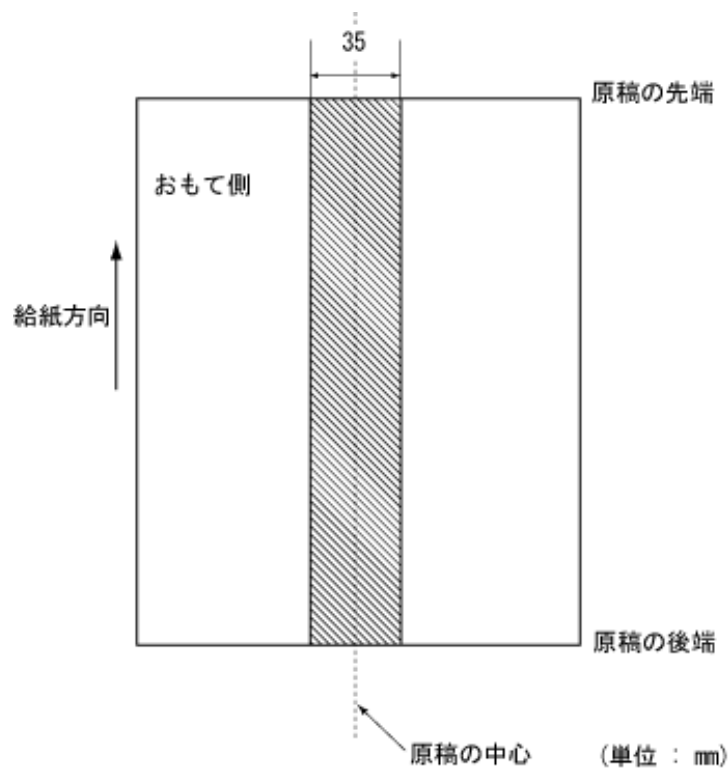
[次ページ](#)



ヒント

原稿や原稿の条件によってはマルチフィードの検出率が落ちる場合もあります。

マルチフィード検出を行う領域



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

第8章 スキャナの仕様

[前ページ](#)

[次ページ](#)

この章では、スキャナの仕様について説明します。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

8.1 装置基本仕様

[前ページ](#) [次ページ](#)

No.	項目		仕様		備考	
1	スキャナタイプ		fi-5120C	fi-5220C		
			ADF(自動給紙部)	ADF+フラットベッド		
2	イメージセンサー		fi-5120C	fi-5220C	fi-5120C	fi-5220C
			CCD x 2	CCD x 3	表/裏	表/裏/フラットベッド
3	光源		白色冷陰極蛍光放電管: x2 (fi-5120C) x3 (fi-5220C)		fi-5120C	fi-5220C
					表/裏	表/裏/フラットベッド
4	読み取り範囲	最小	A8 縦 (*1)		ADF 127 g/m ²	
		最大	ADF:A4 または リーガル 長尺 読み取り時: 216x864mm フラットベッド(fi-5220C):216x297mm		(*2)	
5	原稿の厚さ		52 g/m ² ~ 127 g/m ²		(*3)	
6	読み取り速度 (A4, 縦) (*4)	バイナリ (2値白黒)	片面25枚/分、 両面50面/分		200 dpi	
		カラー	片面30枚/分、 両面60面/分		150 dpi	
7	原稿搭載容量		50 枚		A4, 80 g/m ² (*5)	
8	光学解像度		600 dpi		-	
9	出力解像度	バイナリ (2値白黒)	50 ~ 600 dpi		1 dpiごとに変倍可能	
		グレー スケール	50 ~ 600 dpi		1 dpiごとに変倍可能	
		カラー	50 ~ 600 dpi		1 dpiごとに変倍可能	
10	読み取り階調		各色8ビット		内部10ビット	
11	出力モード (中間調)		ディザ/誤差拡散		-	
12	インターフェース (*6)		Ultra SCSI		シールド型50ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ	
			USB2.0 / 1.1 (*7)		Bタイプ	
13	その他の機能		JPEG圧縮		-	
			インプリンタ対応(fi-5120C用)(*8)		-	

*1 読み取り範囲の最小A8は、ADFを使用して読み取る場合です。フラットベッド(fi-5220Cの場合)を使用して読み取る場合の読み取り範囲には、事実上制限はありません。

*2 長尺帳票読み取り時に、自動用紙サイズ検出機能を有効にすると、最大読み取り長さは、オーバースキャン分だけ短くなります。(自動用紙サイズ検出機能は、原稿をオーバースキャン[一回り大きなサイズで読み取ること]しておいて、原稿のサイズで切り取って出力するためです。)

*3 記載している原稿の厚さは、ADFを使用して読み取る場合です。フラットベッド(fi-5220C)を使用して読み取る場合の原稿の厚さには、制限はありません。詳細は"第7章 ADFにセットする原稿について"を参照してください。

- *4 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
- *5 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。["第7章 ADFにセットする原稿について"](#)を参照してください。
- *6 SCSI-2 とUSB2.0/1.1のインターフェースは同時には使うことはできません。
- *7 USB 2.0 で接続する場合、USBポートおよび、ハブが USB 2.0に対応している必要があります。また、USB 1.1で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。
- *8 読取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷することができます。このインプリンタを使用することにより、読取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理することができます。

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

8.2 設置諸元(1)

[前ページ](#) [次ページ](#)



項目		仕様		
外形寸法 (fi-51120C: ADF給紙シュートとスタッカー除く)		奥行き	幅	高さ
		fi-5120C: 168 mm fi-5220C: 569 mm	fi-5120C: 301 mm fi-5220C: 302 mm	fi-5120C: 158 mm fi-5220C: 229 mm
設置スペース		奥行き	幅	高さ
		fi-5120C: 700 mm fi-5220C: 800 mm	fi-5120C: 400 mm fi-5220C: 400 mm	fi-5120C: 380 mm fi-5220C: 450 mm
重さ		fi-5120C: 3.8 kg fi-5220C: 8.4 kg		
入力電源	電圧範囲	AC100V ~ 120V, ± 10% AC220V ~ 240V, ± 10%		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60 ± 3 Hz		
消費電力		fi-5120C: 33 W以下 fi-5220C: 38 W以下		

**注記**

設置スペースの値は、A4原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

8.2 設置諸元(2)

[前ページ](#) [次ページ](#)



項目		仕様	
動作環境	装置状態	動作中	非使用時
	温度	5 ~ 35	- 20 ~ 60
	湿度	20 ~ 80 %	8 ~ 95 %
発熱量		fi-5120C: 28.38 kcal/H以下 fi-5220C: 32.78 kcal/H以下	
出荷時重量		fi-5120C: 5.3 kg fi-5220C: 11.9 kg	
サポート期間		5年または50万枚	

**注記**

本装置の寿命は、お買い上げ後5年、またはご使用枚数50万枚のいずれか早い方となります。
 ご使用枚数については、"5.1 消耗品の番号と交換周期" を参照してください。
 お客様の清掃、消耗品の交換周期、お使いの原稿など、当社が推奨する条件を満たしていない場合は、装置寿命50万枚を下回る場合があります。
 寿命を超えてご使用された場合は、装置の故障または読み取り性能に支障が出る場合があります。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

[TOP](#)

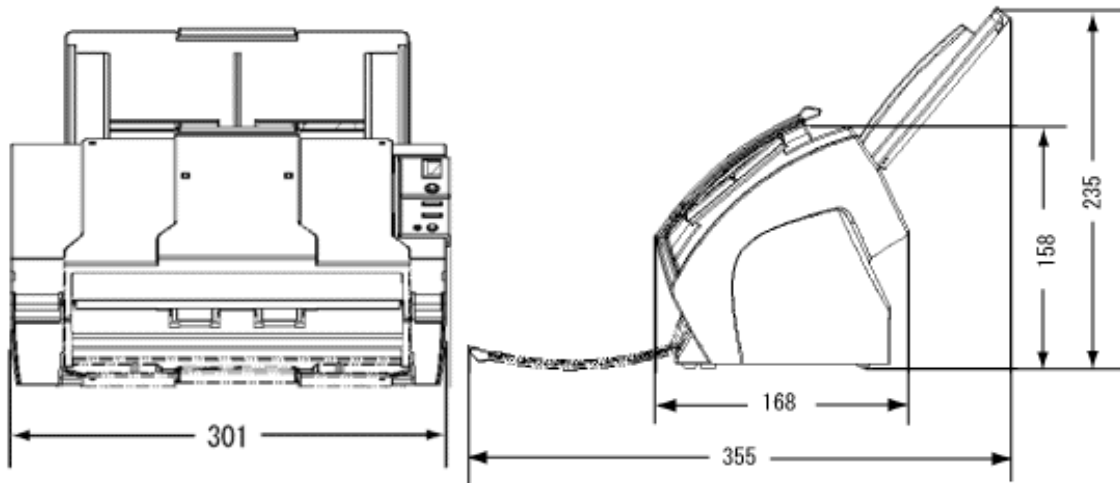
8.3 外形寸法

[前ページ](#)

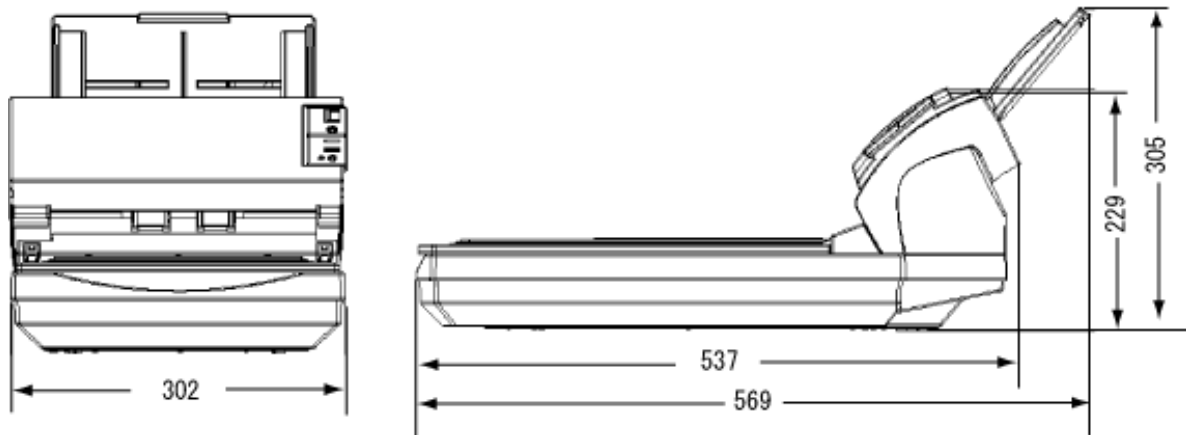
[次ページ](#)

外形寸法は以下のとおりです

fi-5120C



fi-5220C



(単位：mm)

All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED

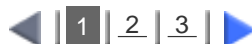


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

付録1 [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンを使う前に(1)

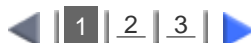
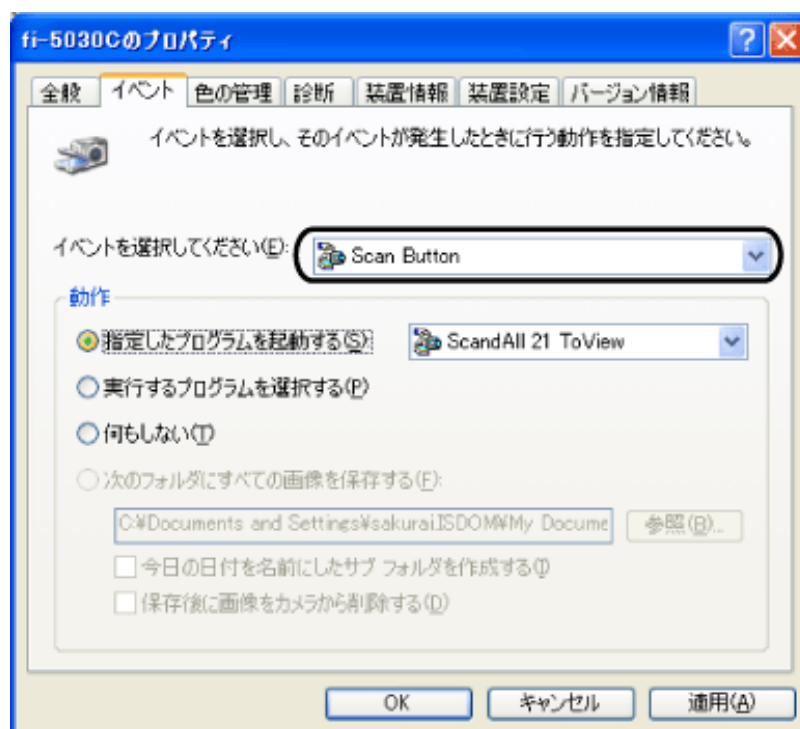
[前ページ](#)
[次ページ](#)



あらかじめ [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンにアプリケーションの関連付けを設定しておくことで、ボタンを押すと設定したアプリケーションをすることができます。

■ Windows 98, Windows Me, Windows 2000, Windows XPの場合

1. [スタート] から [コントロールパネル] を選択します。
2. [スキャナとカメラ] より [プロパティ] を選択します。
3. [イベント] タブを選択します。
4. イベントを選択します。Windows XPの場合は、「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



All Rights Reserved Copyright 2006 © PFULIMITED



PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) [TOP](#)
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

付録1 [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンを使う前に(2)

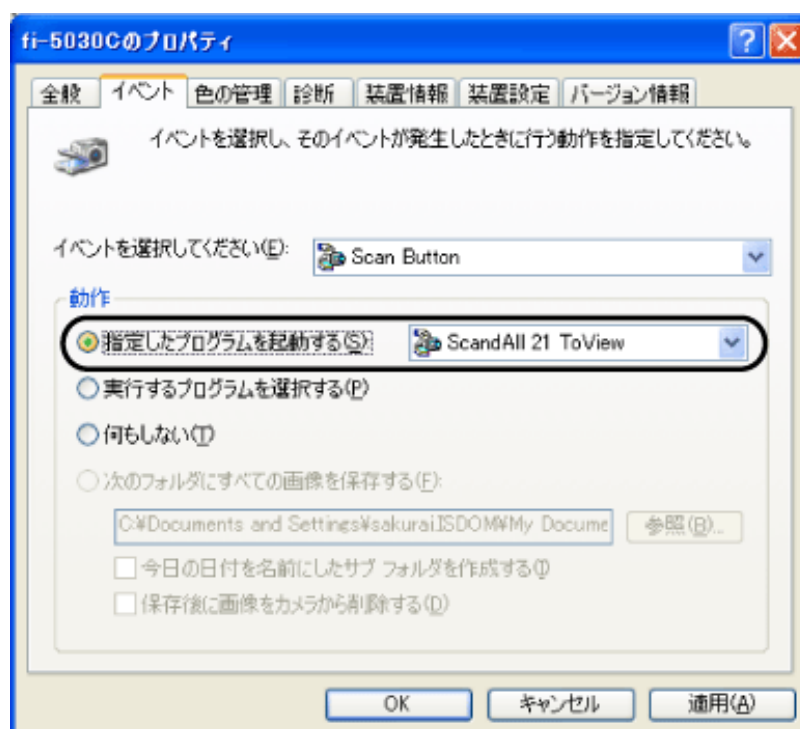
[前ページ](#) [次ページ](#)



本機能では、以下のイベントを選択できます。

- Scan button (Scanボタンを押したとき)
- Send to 1-9 (Send toボタンを押したとき)

5. イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。Windows XPの場合は、[動作] の下の [指定したプログラムを起動する] を選択して、右のメニューからアプリケーションと処理を選択します。



6. [OK] をクリックします。



ヒント

お使いのOSによって表示される画面および操作が異なります。



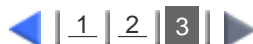


PREFACE	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 4
CHAPTER 5	CHAPTER 6	CHAPTER 7	CHAPTER 8	APPENDIX

[トラブルシューティング](#) TOP
[コンテンツマップ](#)
[修理・お問い合わせ](#)

付録1 [Scan] ボタンおよび [Send to] ボタンを使う前に(3)

[前ページ](#) [次ページ](#)



Windows 95, WindowsNT 4.0の場合

1. タスクトレイ上の [FUJITSU Scanner Control Center] を右クリックして、 [オプション] を選択します。
2. 「イベント」メニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、以下のイベントを選択できます。

- Start/Scan (Scanボタンを押したとき)
- Send to 1-9 (Functionボタンで番号を切り替え、 Send toボタンを押したとき)

3. 「パス」の右の [...] ボタンで起動するアプリケーションを選択します。
4. [OK] をクリックします。

